

小学5年生、中学2年生の保護者

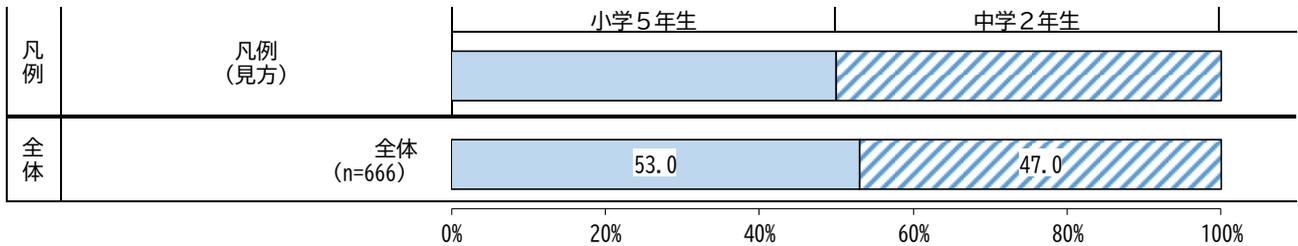
(1) 保護者の方について

※内容は未定稿段階のものです

子どもの学年（ひとつだけ○）

【全体】
○ 子どもの学年について、「小学5年生」が53.0%、「中学2年生」が47.0%となっています。

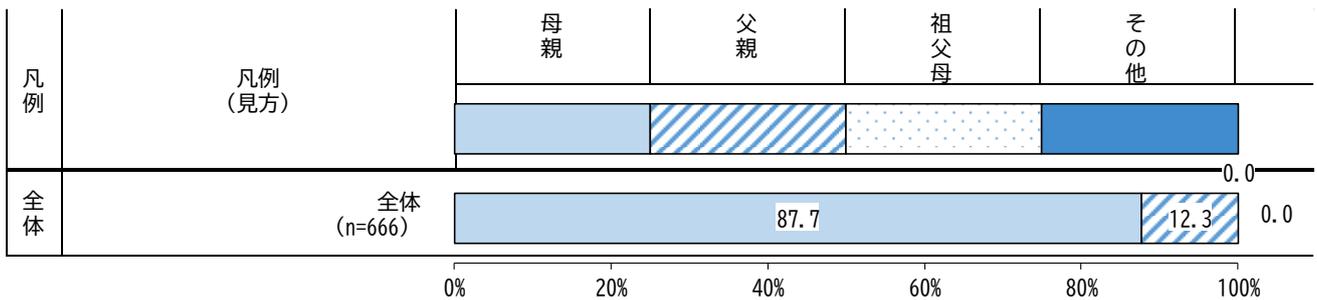
【子どもの学年】



問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（ひとつだけ○）

【全体】
○ 回答者と子どもの続柄について、「母親」が87.7%で最も多く、次いで「父親」が12.3%となっています。

【回答者と子どもの続柄】

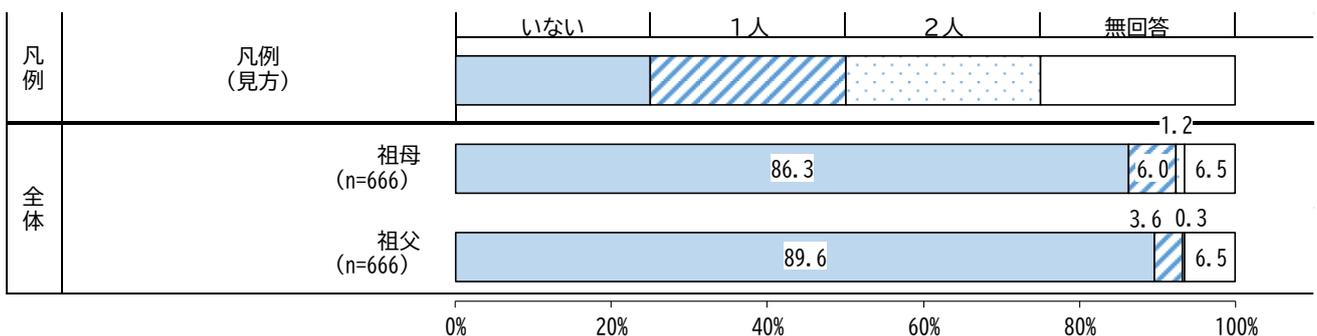


問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めてください。（ひとつだけ○）

(1) 祖母、(2) 祖父

【全体】
○ 祖母について、「いない」が86.3%で最も多く、次いで「1人」が6.0%、「2人」が1.2%となっています。
○ 祖父について、「いない」が89.6%で最も多く、次いで「1人」が3.6%、「2人」が0.3%となっています。

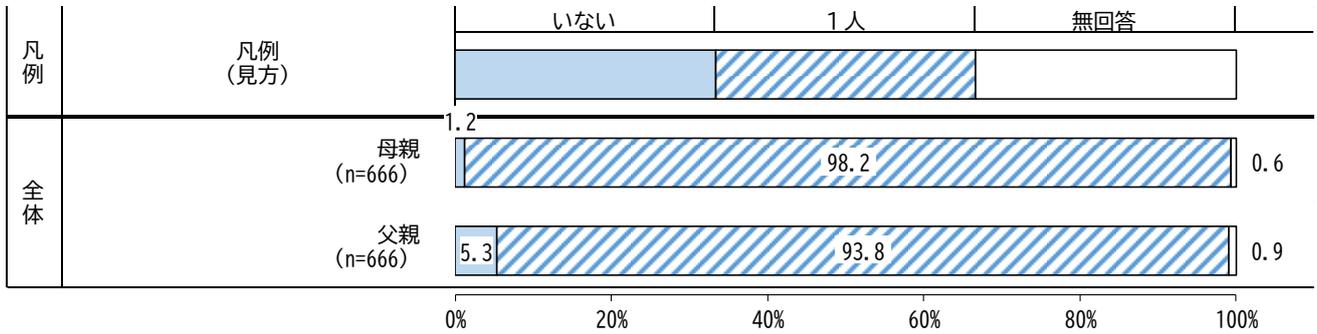
【同居者(祖母、祖父)】



問2 (3) 母親、(4) 父親

【全体】
 ○ 母親について、「いない」が1.2%、「1人」が98.2%となっています。
 ○ 父親について、「いない」が5.3%、「1人」が93.8%となっています。

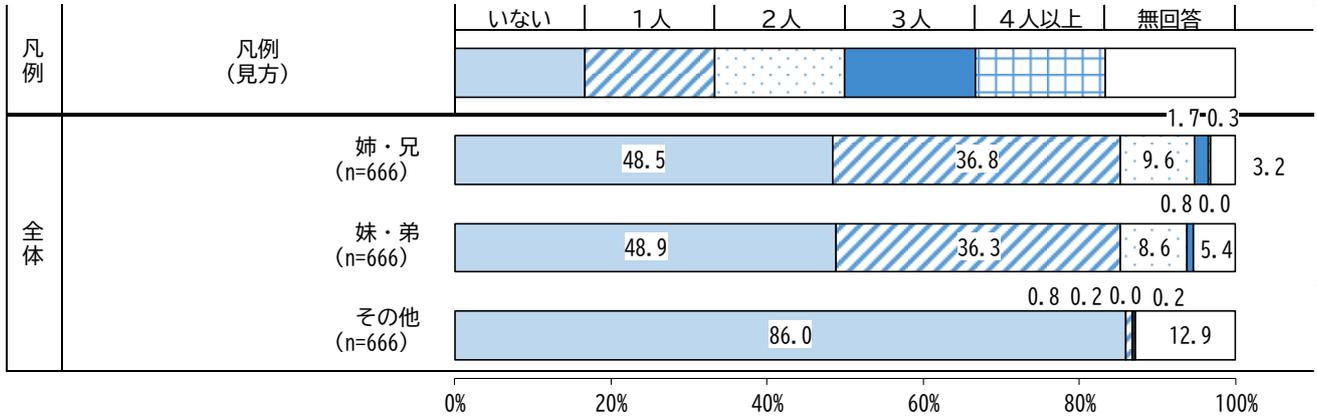
【同居者(母親、父親)】



問2 (5) 姉・兄

【全体】
 ○ 姉・兄について、「いない」が48.5%で最も多く、次いで「1人」が36.8%、「2人」が9.6%となっています。
 ○ 妹・弟について、「いない」が48.9%で最も多く、次いで「1人」が36.3%、「2人」が8.6%となっています。
 ○ その他について、「いない」が86.0%で最も多く、次いで「1人」が0.8%、「2人」「4人以上」が0.2%となっています。

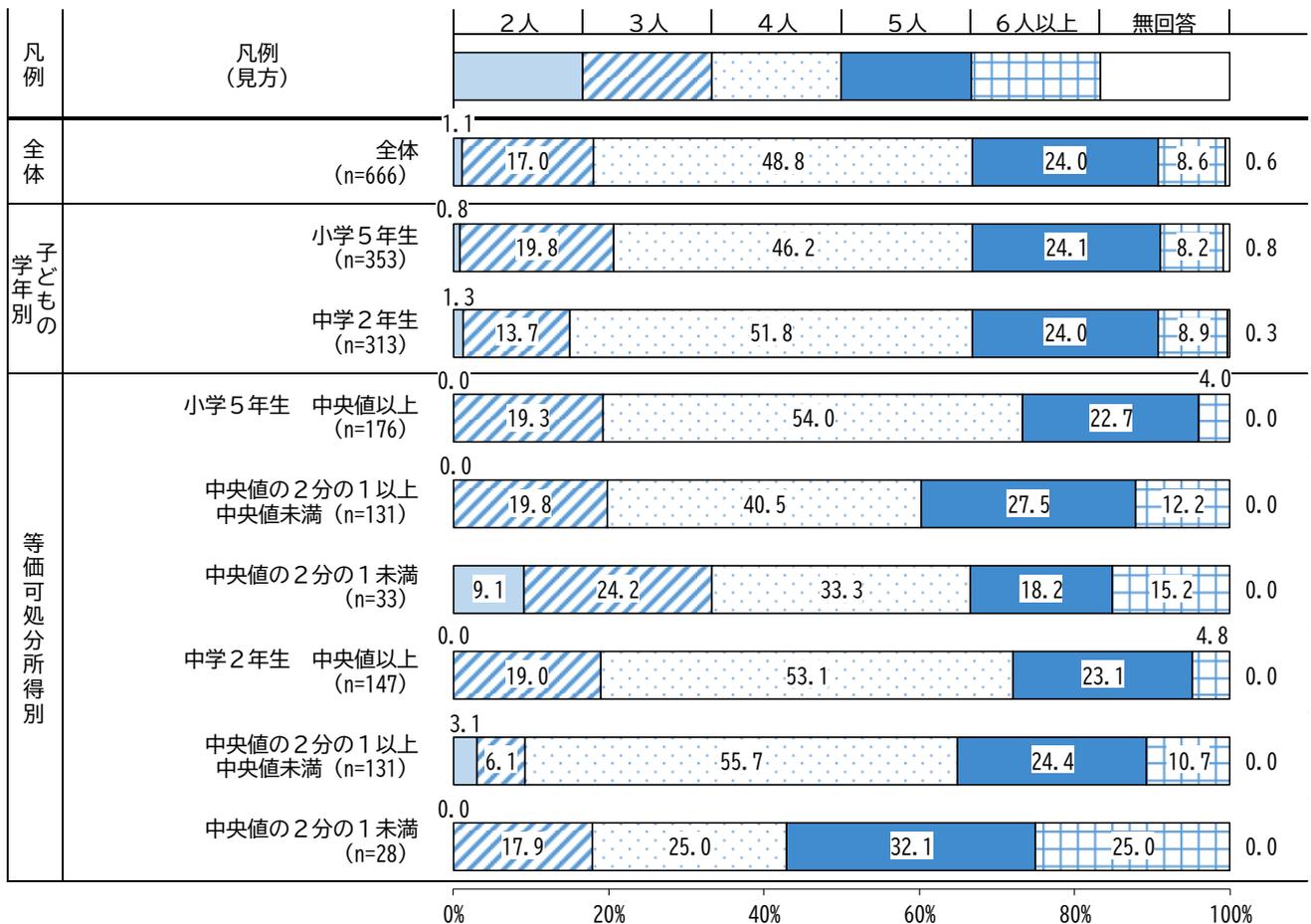
【同居者(姉・兄、妹・弟、その他)】



問2 世帯人数（ひとつだけ○）

- 【全体】
- 世帯人数について、「4人」が 48.8%で最も多く、次いで「5人」が 24.0%、「3人」が 17.0%となっています。
- 【等価可処分所得別】
- 「2人」は小学5年生 中央値の2分の1未満が 9.1%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「5人」は中学2年生 中央値の2分の1未満が 32.1%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「6人以上」は中学2年生 中央値の2分の1未満が 25.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯人数】

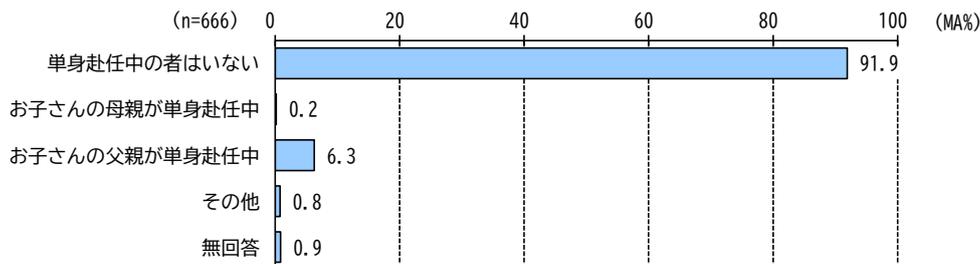


※等価可処分所得については18ページを参照のこと。

問3 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(いくつでも○)

- 【全体】
- 単身赴任の状況について、「単身赴任中の者はいない」が91.9%で最も多く、次いで「お子さんの父親が単身赴任中」が6.3%となっています。
- 【子どもの学年別】
- 大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】
- 「お子さんの父親が単身赴任中」は小学5年生 中央値以上が10.2%、中学2年生 中央値以上が7.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【単身赴任の状況】



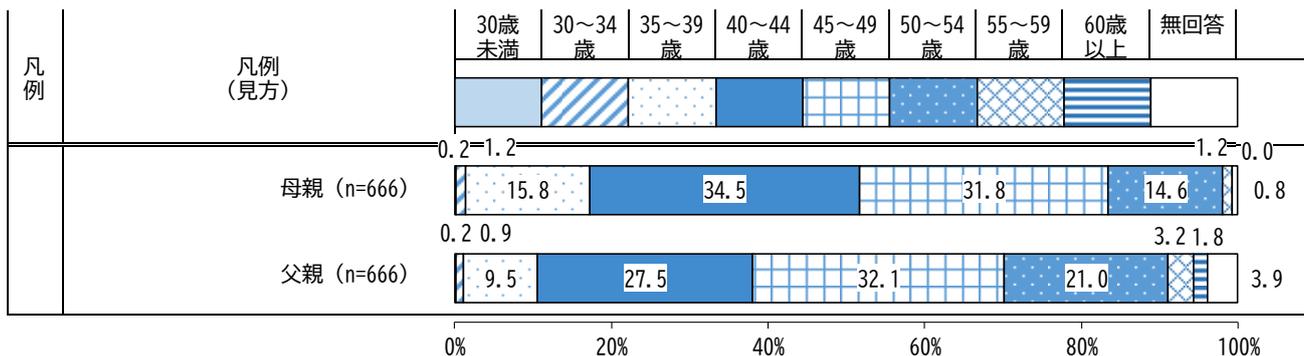
単位：%

学年	等価可処分所得別	母数 (n)	単身赴任の状況				
			単身赴任中の者はいない	単身赴任中のお子さんの母親	単身赴任中のお子さんの父親	その他	無回答
全体		666	91.9	0.2	6.3	0.8	0.9
小学5年生	中央値以上	353	90.9	-	7.1	0.3	1.7
	中央値の2分の1以上中央値未満	313	93.0	0.3	5.4	1.3	-
中学2年生	中央値以上	176	87.5	-	10.2	0.6	1.7
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	93.9	-	4.6	-	1.5
	中央値の2分の1未満	33	93.9	-	3.0	-	3.0
	中央値未満	147	91.2	-	7.5	1.4	-
小学5年生	中央値以上	131	94.7	0.8	3.1	1.5	-
	中央値の2分の1以上中央値未満	28	96.4	-	3.6	-	-

問4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。(ひとつだけ○)

- 【全体】
- 母親の年齢について、「40～44歳」が34.5%で最も多く、次いで「45～49歳」が31.8%、「35～39歳」が15.8%となっています。
 - 父親の年齢について、「45～49歳」が32.1%で最も多く、次いで「40～44歳」が27.5%、「50～54歳」が21.0%となっています。

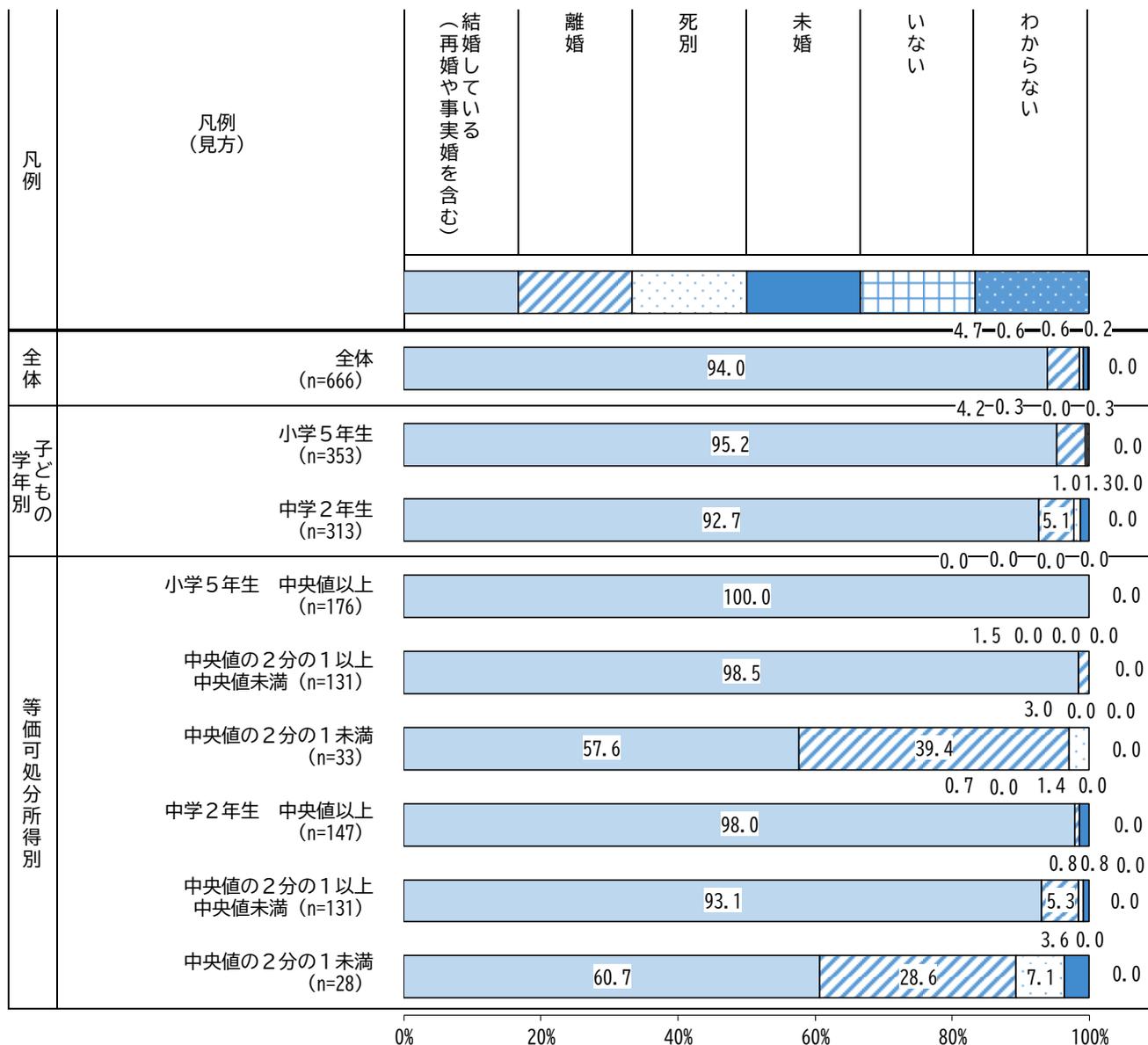
【親の年齢】



問5 お子さんの親の婚姻状況を教えてください。(ひとつだけ○)

【全体】
 ○ 親の婚姻状況について、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が 94.0%で最も多く、次いで「離婚」が4.7%、「死別」「未婚」が0.6%となっています。
【等価可処分所得別】
 ○ 小学生5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「離婚」「死別」が多くなっています。

【親の婚姻状況】

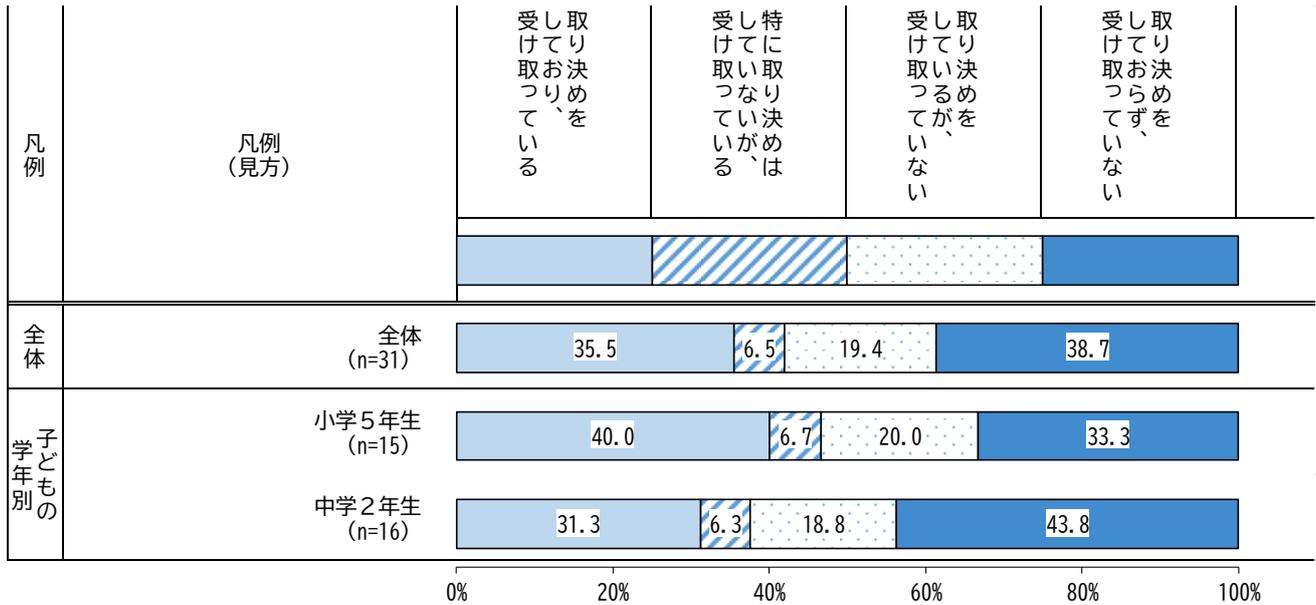


問5-1 問5で「2. 離婚」と答えた方にお聞きします。

離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(ひとつだけ○)

【全体】
 ○ 離婚相手からの養育費の状況について、「取り決めをしているが、受け取っていない」「取り決めをしておらず、受け取っていない」の“受け取っていない人”は58.1%となっています。
 【こどもの学年別】
 ○ 母数が少ないため参考値とします。

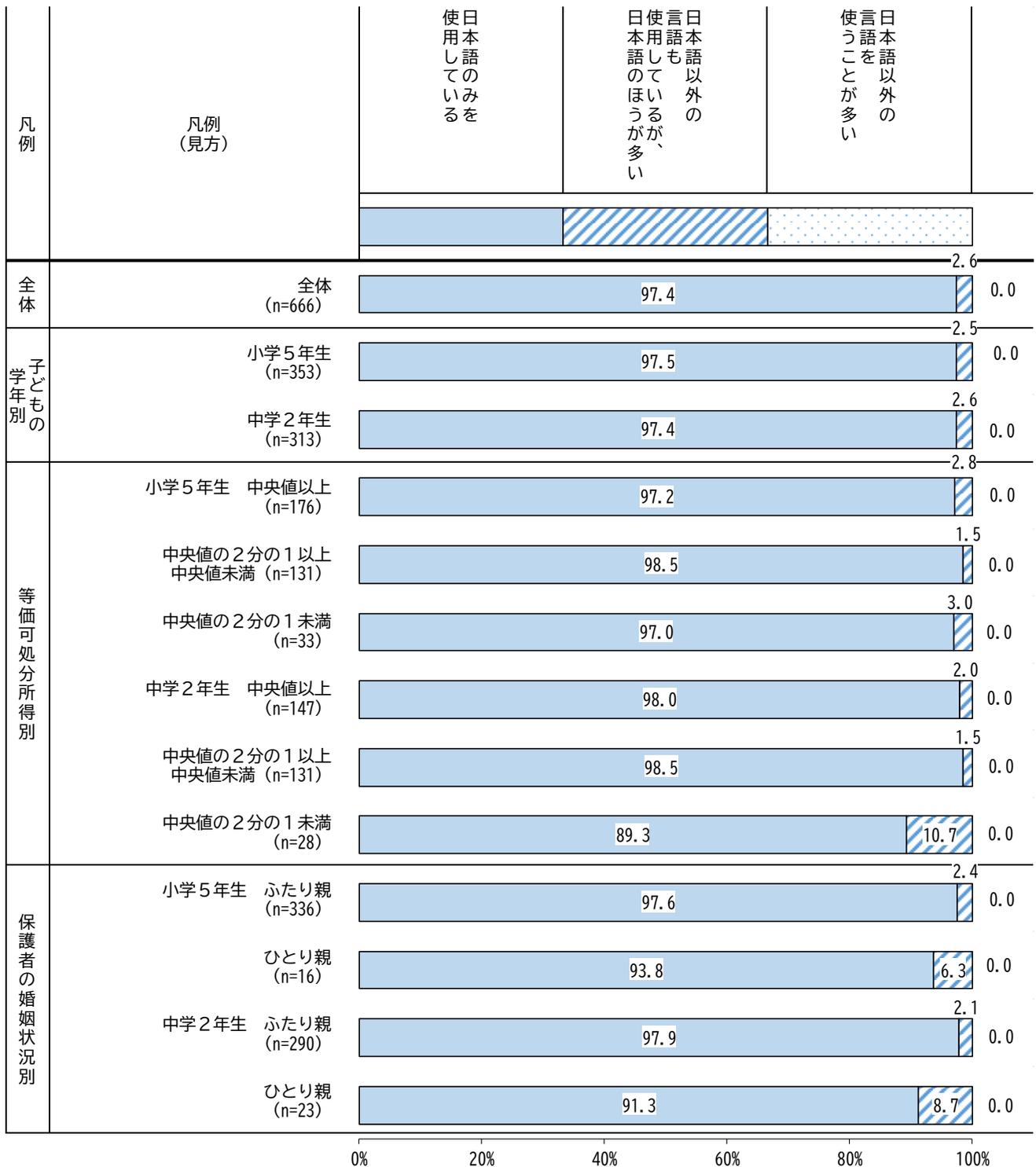
【離婚相手からの養育費の状況】



問6 ご家庭ではどのくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(ひとつだけ○)

- 【全体】**
 ○ 日本語以外の言語の使用状況について、「日本語のみを使用している」が97.4%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語のほうが多い」が2.6%となっています。
- 【等価可処分所得別】**
 ○ 「日本語以外の言語も使用しているが、日本語のほうが多い」は中学2年生 中央値の2分の1未満が10.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【保護者の婚姻状況別】**
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに「ひとり親」は母数が少ないため参考値とし、結果の文章は記載しません。(※以降同様)

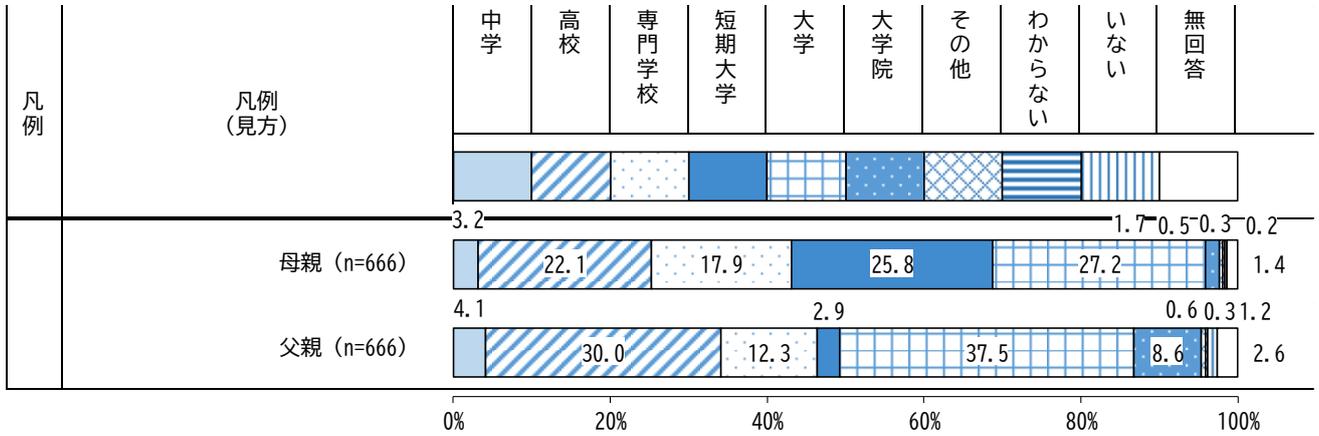
【日本語以外の言語の使用状況】



問7 お子さんの親の最終学歴（最終の卒業した学校）をお答えください。（ひとつだけ○）

【全体】
 ○ 「短期大学」は母親が 25.8%と父親の 2.9%より多くなっている一方、「大学院」は父親が 8.6%と母親の 1.7%より多くなっています。

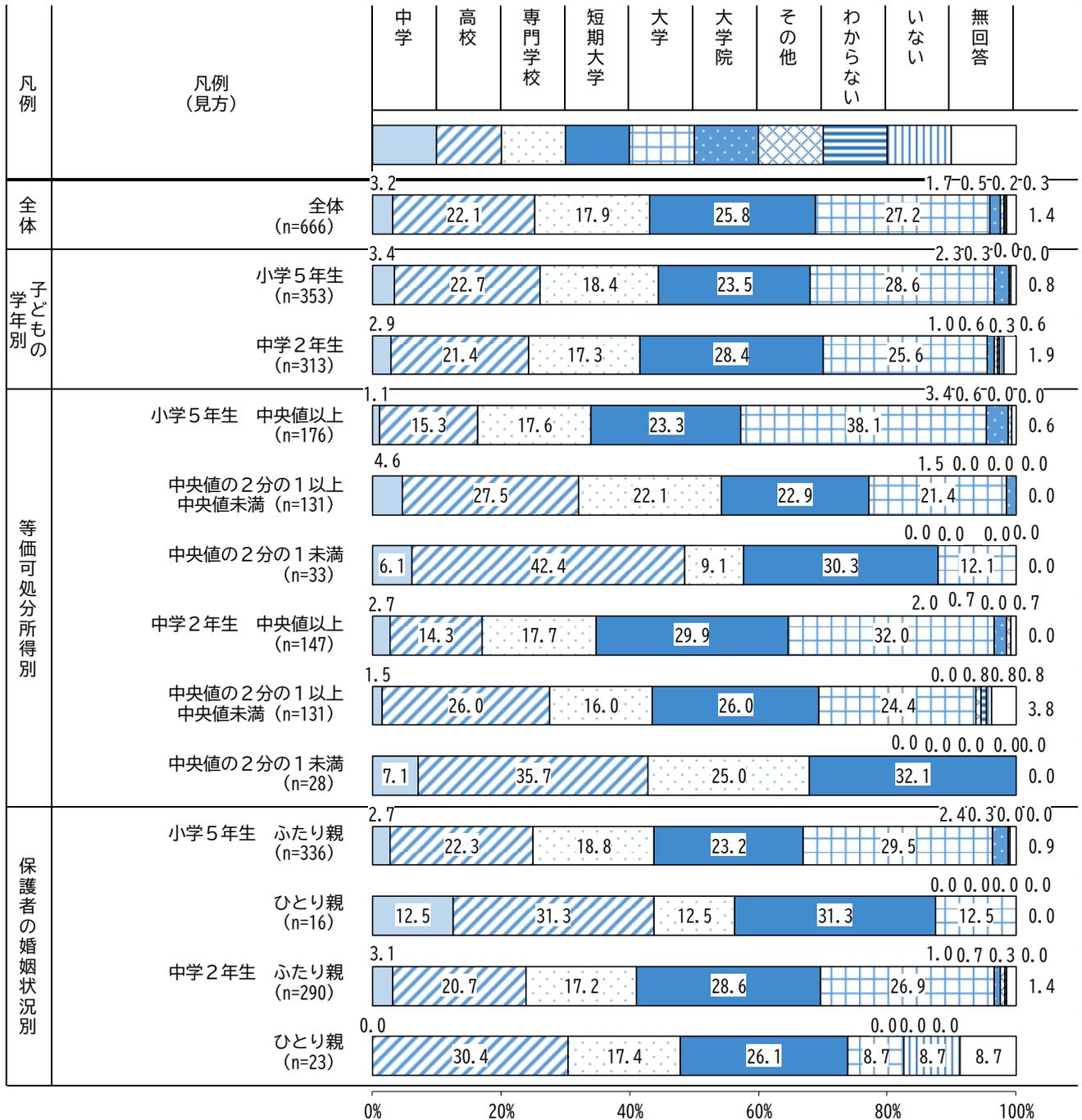
【親の最終学歴】



問7 (1) 母親

- 【全体】**
 ○ 母親の最終学歴について、「大学」が 27.2%で最も多く、次いで「短期大学」が 25.8%、「高校」が 22.1%となっています。
- 【等価可処分所得別】**
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「高校」が多く、「大学」が少なくなる傾向がみられます。

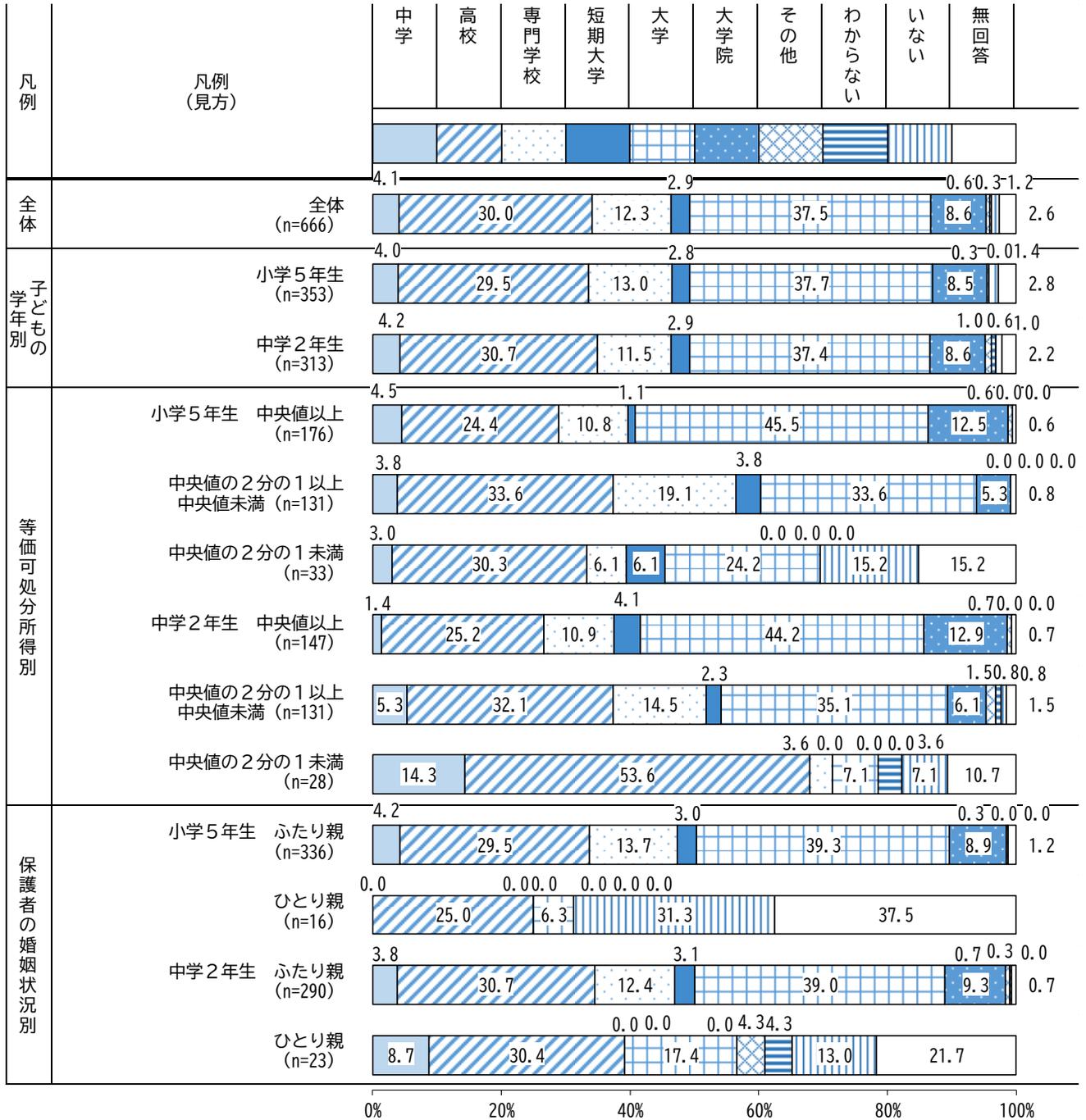
【母親の最終学歴】



問7 (2) 父親

- 【全体】**
 ○ 父親の最終学歴について、「大学」が37.5%で最も多く、次いで「高校」が30.0%、「専門学校」が12.3%となっています。
- 【等価可処分所得別】**
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「大学」が少なくなる傾向がみられます。
 ○ 中学2年生は等価可処分所得が低いほど「高校」が多くなる傾向がみられます。

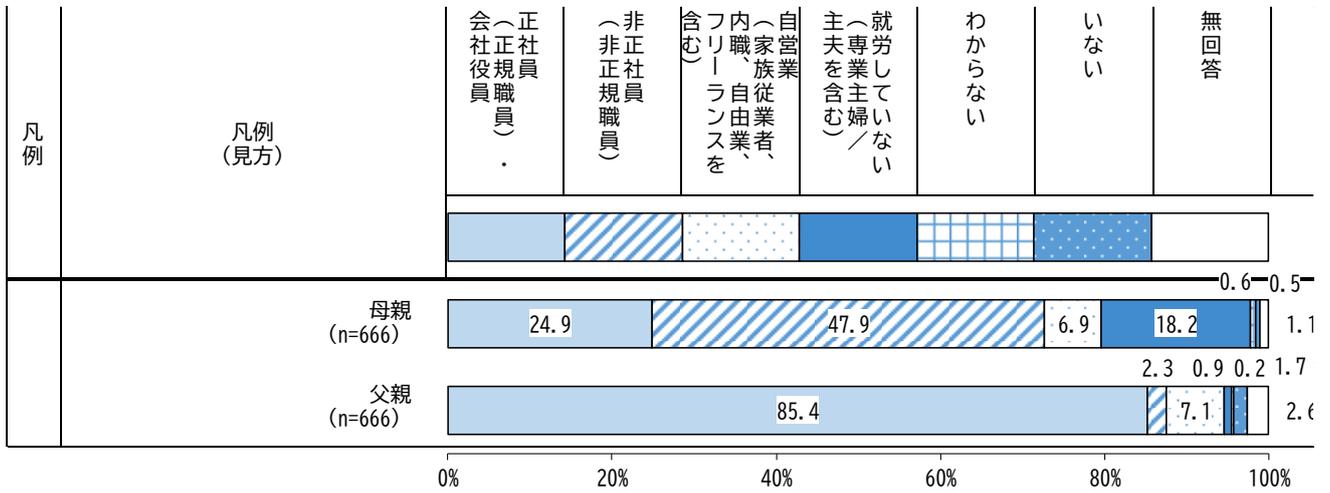
【父親の最終学歴】



問8 お子さんの親の就労状況（就労形態）について、あてはまるものをお答えください。
（ひとつだけ○）

【全体】
○ 母親は「非正社員（非正規職員）」が 47.9%で最も多く、父親は「正社員（正規職員）・会社役員」が 85.4%で最も多くなっています。

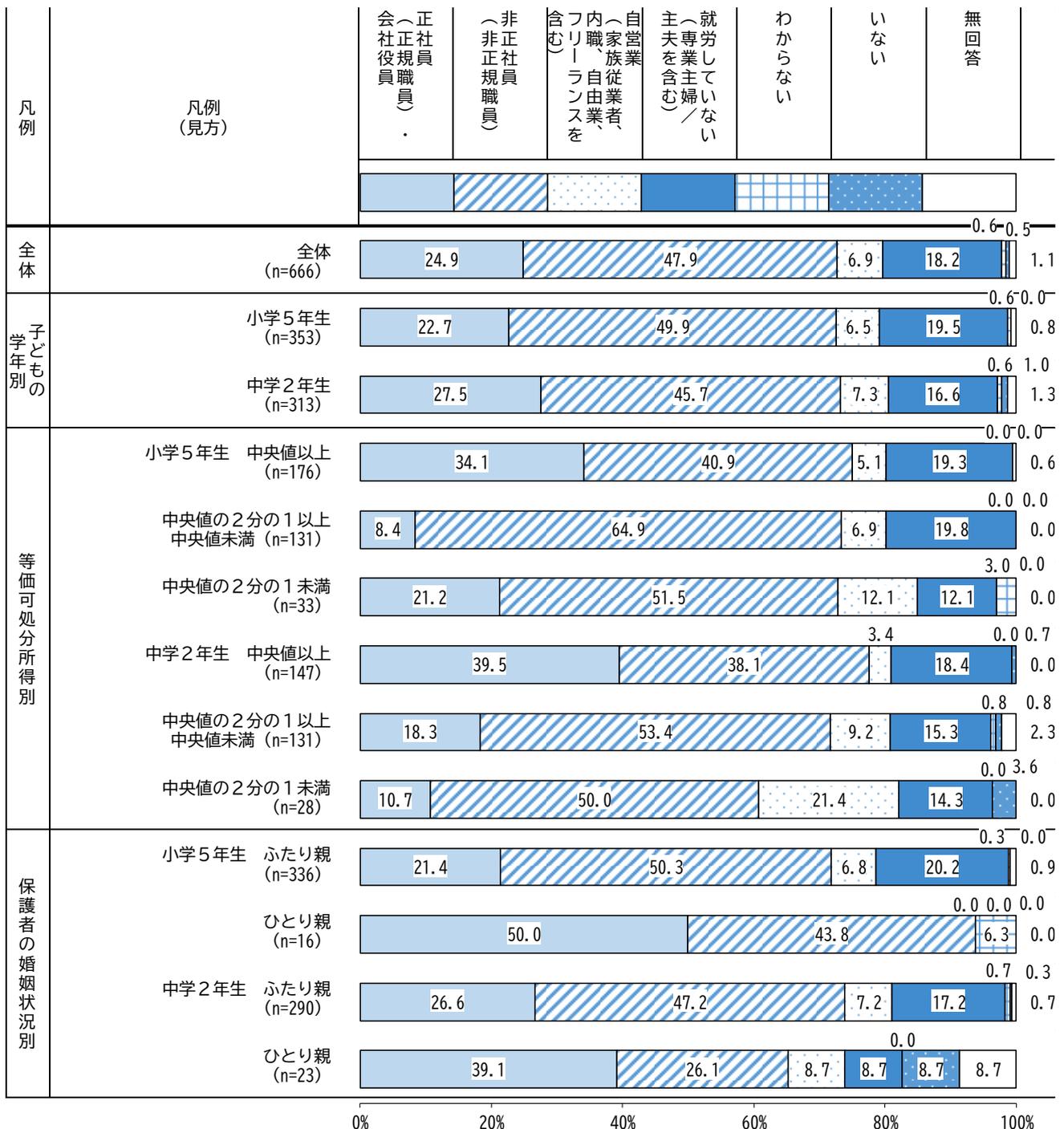
【親の就労状況】



問8 (1) 母親

- 【全体】**
 ○ 母親の就労状況について、「非正社員（非正規職員）」が 47.9%で最も多く、次いで「正社員（正規職員）・会社役員」が 24.9%、「就労していない（専業主婦／主夫を含む）」が 18.2%となっています。
- 【子どもの学年別】**
 ○ 「正社員（正規職員）・会社役員」は中学2年生が 27.5%と小学5年生の 22.7%よりやや多くなっている一方、「非正社員（非正規職員）」は小学5年生が 49.9%と中学2年生の 45.7%よりやや多くなっています。
- 【等価可処分所得別】**
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値以上は「正社員（正規職員）・会社役員」が30%を超え、他の区分に比べて多くなっています。

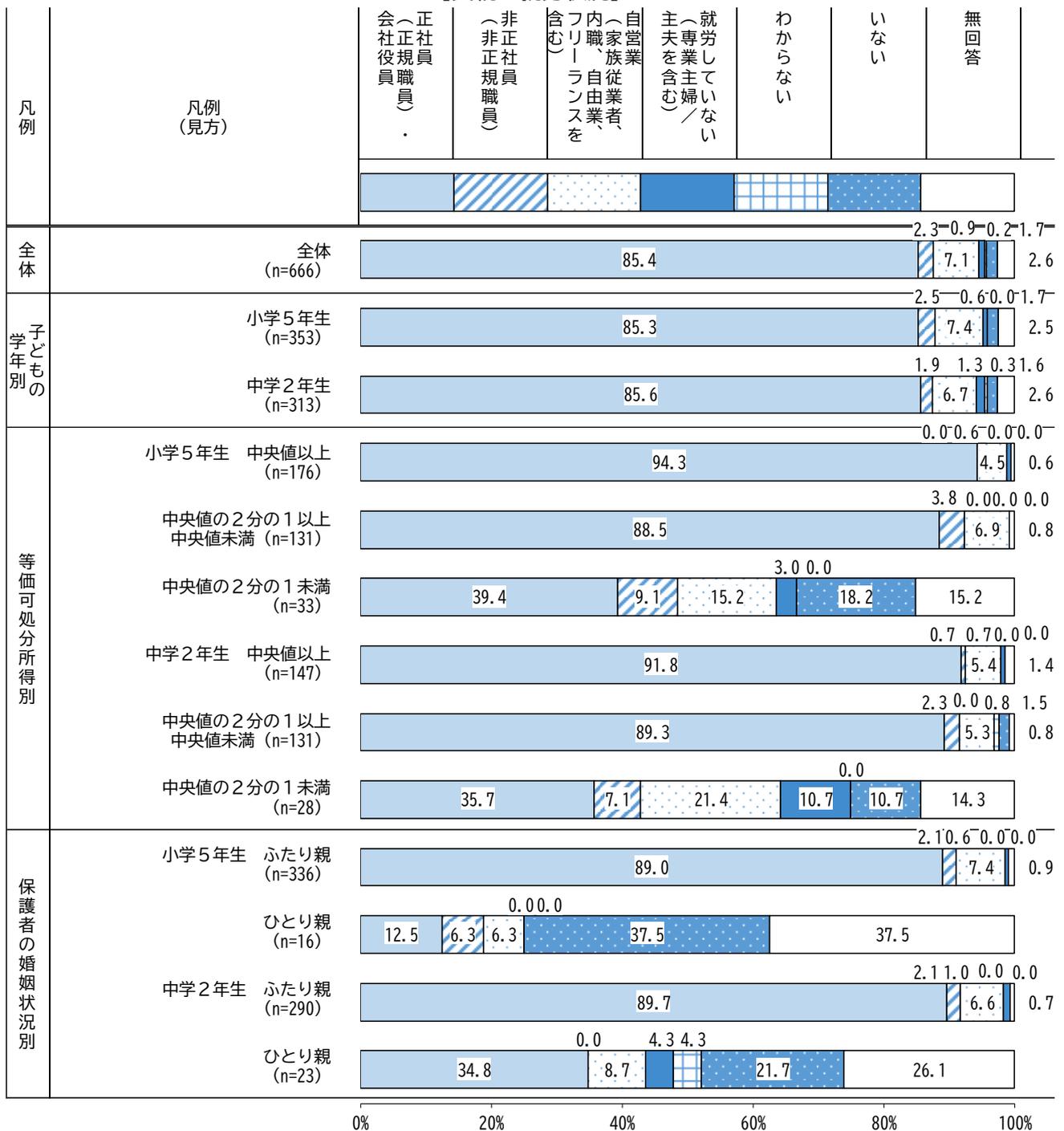
【母親の就労状況】



問8 (2) 父親

- 【全体】**
 ○ 父親の就労状況について、「正社員（正規職員）・会社役員」が 85.4%で最も多く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」が7.1%、「非正社員（非正規職員）」が 2.3%となっています。
- 【子どもの学年別】**
 ○ 大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】**
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「正社員（正規職員）・会社役員」が他の区分に比べて少なくなっている一方、「非正規社員」「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」「就労していない（専業主婦／主夫を含む）」が他の区分に比べて多くなっています。

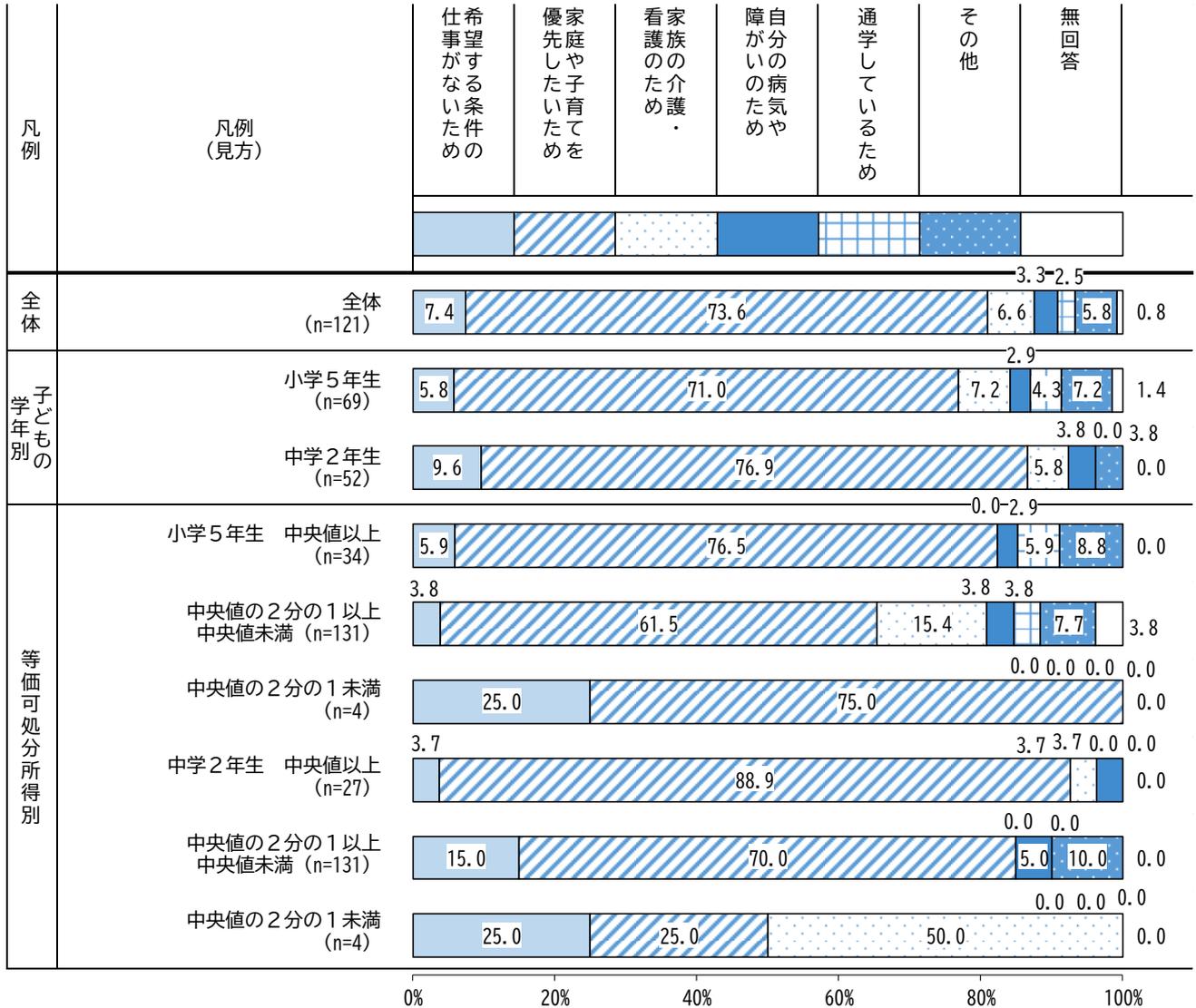
【父親の就労状況】



問8-1 (1) 母親【就労していない最も主な理由】

- 【全体】
 ○ 母親が就労していない理由について、「家庭や子育てを優先したいため」が73.6%で最も多く、次いで「希望する条件の仕事がないため」が7.4%、「家族の介護・看護のため」が6.6%となっています。
- 【子どもの学年別】
 ○ 中学2年生は小学5年生より「希望する条件の仕事がないため」「家庭や子育てを優先したいため」「自分の病気や障がいのため」が多くなっています。
- 【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は母数が少ないため参考値とします。

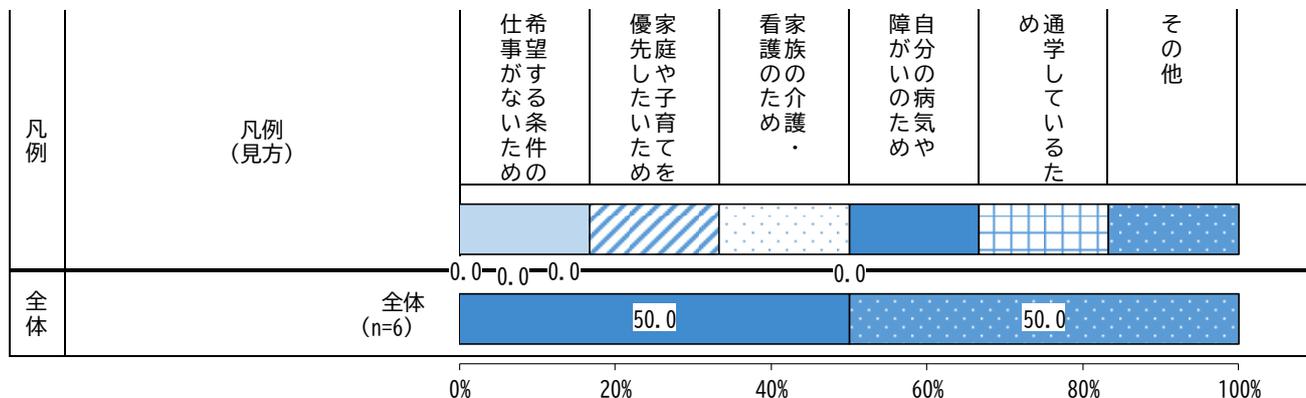
【母親が就労していない理由】



問8-1 (2) 父親【就労していない最も主な理由】

【全体】
 ○ 父親が就労していない理由について、「自分の病気や障がいのため」「その他」が 50.0%となっています。

【父親が就労していない理由】



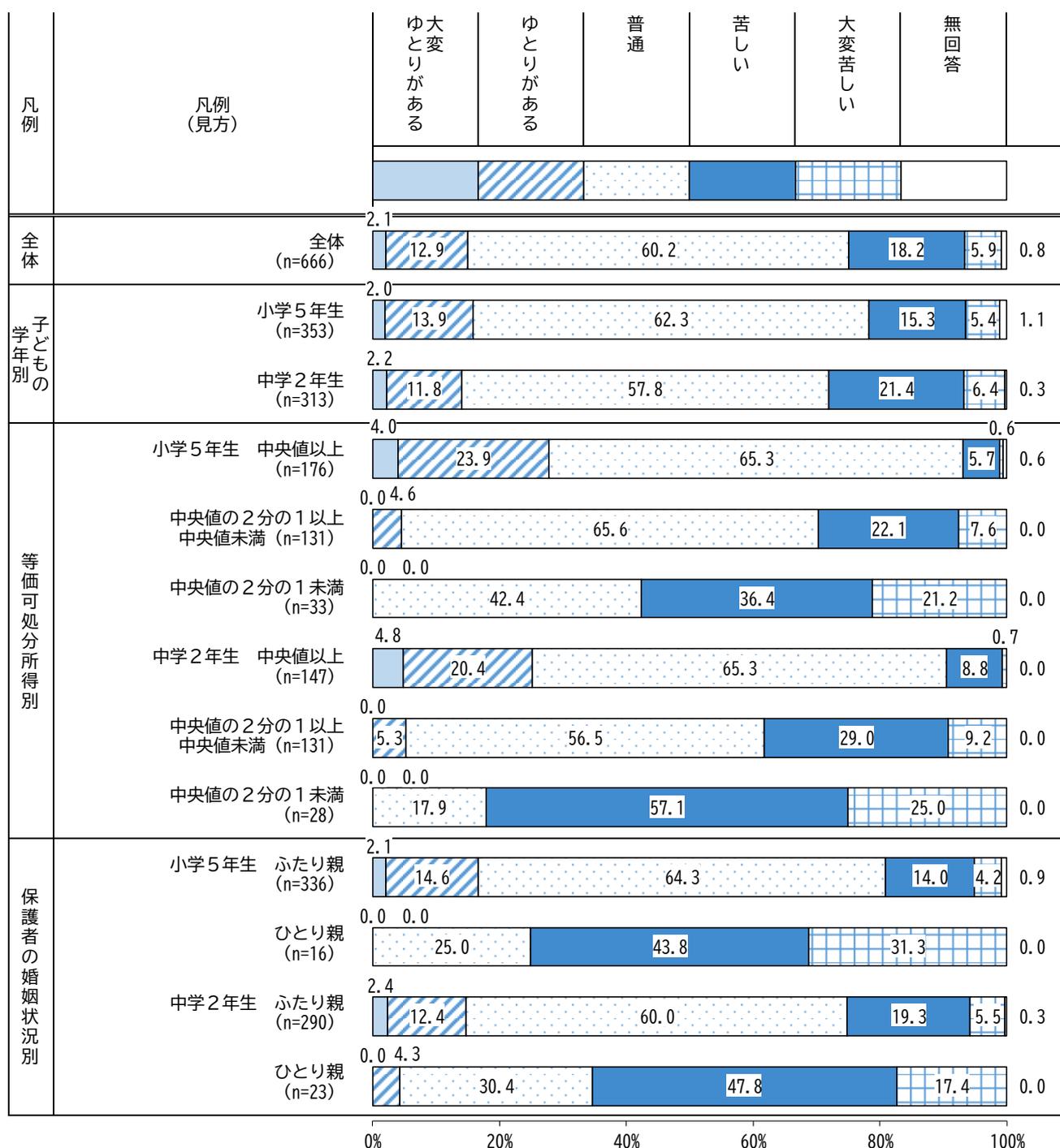
※母数が少ないため、子どもの学年別、等価可処分所得別、保護者の婚姻状況別の結果は掲載しません。

(2) 経済状況について

問9 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(ひとつだけ○)

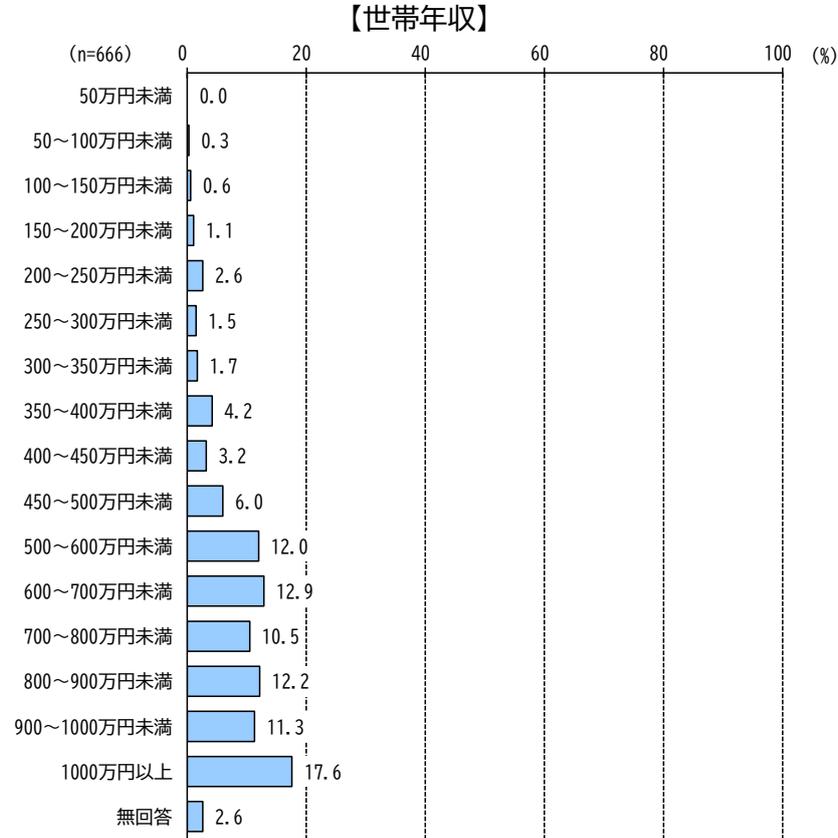
<p>【全体】 ○ 暮らしの状況について、「大変ゆとりがある」「ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある人”は15.0%となっており、「苦しい」「大変苦しい」をあわせた“苦しい人”は24.1%となっています。</p> <p>【子どもの学年別】 ○ “苦しい人”は中学2年生が27.8%と小学5年生の20.7%より多くなっています。</p> <p>【等価可処分所得別】 ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど“苦しい人”が多くなる傾向がみられます。</p>

【暮らしの状況】



問10 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（ひとつだけ○）

- 【全体】
 ○ 世帯年収について、「1000万円以上」が17.6%で最も多く、次いで「600～700万円未満」が12.9%、「800～900万円未満」が12.2%となっています。
- 【子どもの学年別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに「1000万円以上」が最も多く、次いで小学5年生は「800～900万円未満」、中学2年生は「600～700万円未満」となっています。



単位：%

状況別	学年	母数 (n)	世帯年収									
			50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～450万円未満	450～500万円未満
全体		666	-	0.3	0.6	1.1	2.6	1.5	1.7	4.2	3.2	
子ども	小学5年生	353	-	0.3	0.3	1.4	2.8	1.4	2.0	4.0	3.1	
	中学2年生	313	-	0.3	1.0	0.6	2.2	1.6	1.3	4.5	3.2	
保護者の状況別	小学5年生	336	-	-	0.3	0.6	1.2	0.9	1.5	3.9	3.3	
	ひとり親	16	-	6.3	-	△ 18.8	△ 37.5	△ 12.5	△ 12.5	6.3	-	
	中学2年生	290	-	-	0.3	0.3	1.0	0.3	1.0	4.1	3.4	
	ひとり親	23	-	4.3	8.7	4.3	△ 17.4	△ 17.4	4.3	8.7	-	

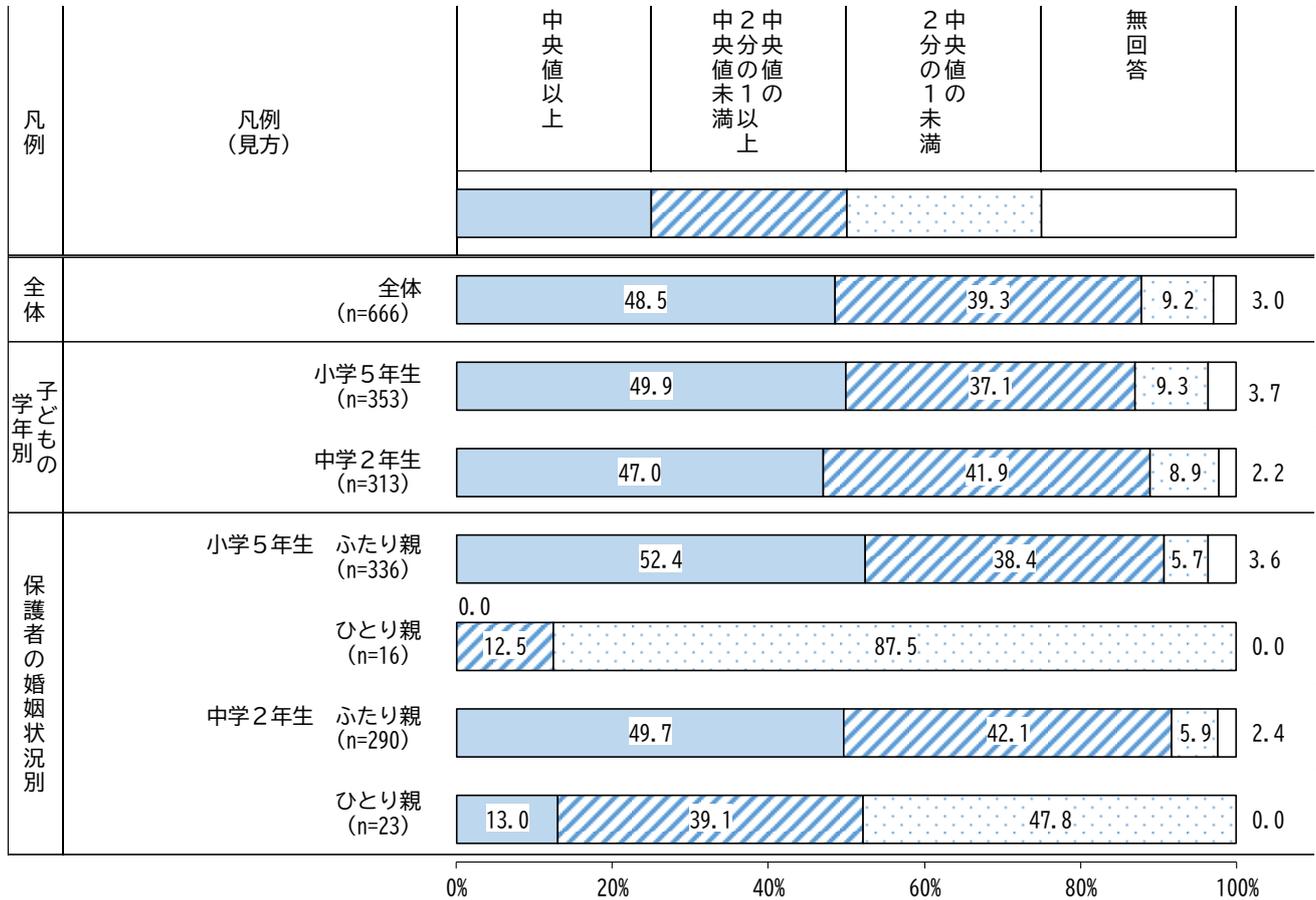
単位：%

状況別	学年	母数 (n)	世帯年収							無回答
			50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	
全体		666	6.0	12.0	12.9	10.5	12.2	11.3	17.6	2.6
子ども	小学5年生	353	5.1	12.7	11.0	11.6	15.0	10.5	15.6	3.1
	中学2年生	313	7.0	11.2	15.0	9.3	8.9	12.1	19.8	1.9
保護者の状況別	小学5年生	336	4.8	13.4	11.6	12.2	15.8	11.0	16.4	3.3
	ひとり親	16	6.3	-	-	-	-	-	-	-
	中学2年生	290	7.2	11.7	15.2	10.0	9.3	12.4	21.4	2.1
	ひとり親	23	4.3	4.3	13.0	-	4.3	8.7	-	-

等価可処分所得（ひとつだけ○）

【全体】
 ○ 暮らしの状況について、「中央値以上」が48.5%で最も多く、次いで「中央値の2分の1以上中央値未満」が39.3%、「中央値の2分の1未満」が9.2%となっています。
 【子どもの学年別】
 ○ 大きな差はみられません。

【暮らしの状況】



【世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得】

世帯の収入はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要がある。最も簡単なのは「世帯の収入÷世帯人員数」とすることであるが、生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要があり、このため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いている。

本調査では内閣府調査（令和3年）と同様の方法で「等価可処分所得」を算出し、「中央値以上」「中央値の2分の1以上中央値未満」「中央値の2分の1未満」の3区分に分類した。

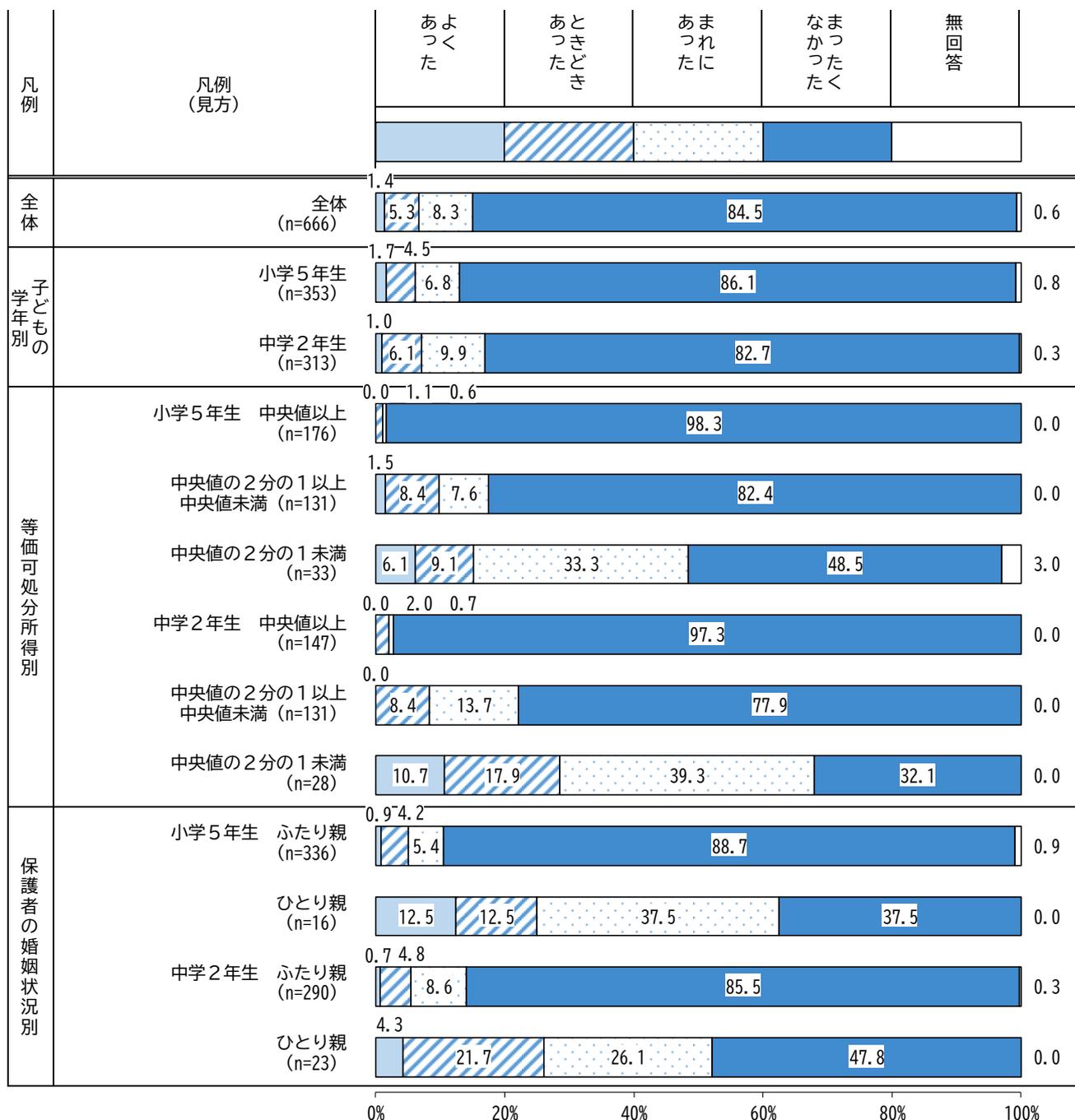
等価可処分所得の算出方法

- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1000万円以上」は1050万円とする。）
- 上記の値を家族の人数の平方根をとったもので割る。
- 上記の方法で算出した値（等価可処分所得）の中央値を求め、さらに、その50%未満であるか否かで分類する。

問11 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(ひとつだけ○)

- 【全体】**
- 経済的理由で食料を買えなかったことについて、「まったくなかった」が84.5%で最も多く、次いで「まれにあった」が8.3%、「ときどきあった」が5.3%となっています。
 - 「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」をあわせた“あった人”は15.0%となっています。
- 【子どもの学年別】**
- “あった人”は中学2年生が17.0%と小学5年生の13.0%よりやや多くなっています。
- 【等価可処分所得別】**
- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど“あった人”が多くなる傾向がみられます。
 - 「よくあった」は小学5年生 中央値の2分の1未満は6.1%、中学2年生 中央値の2分の1未満は10.7%となっています。

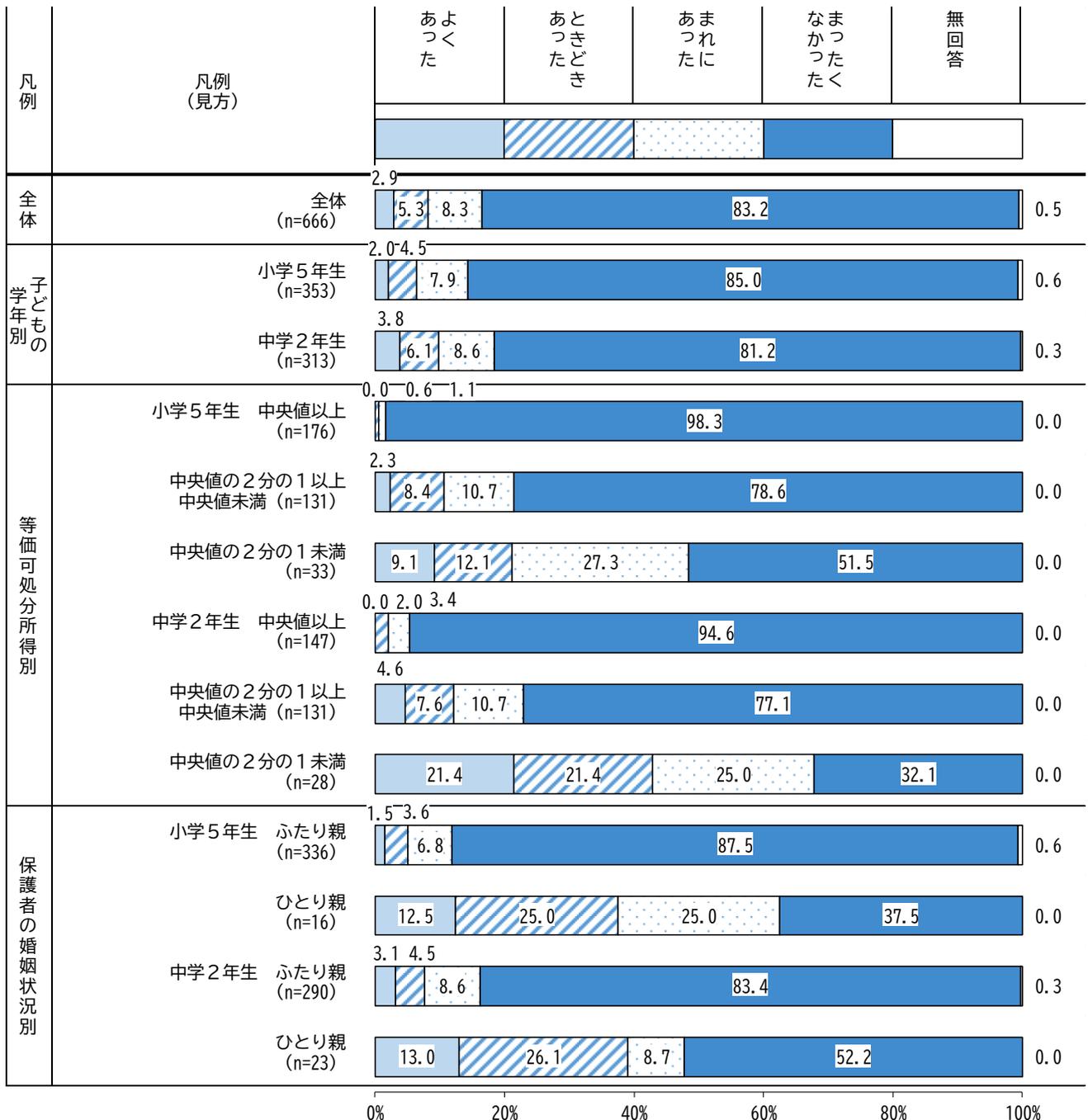
【経済的理由で食料を買えなかったこと】



問12 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(ひとつだけ○)

- 【全体】**
- 経済的理由で衣服を買えなかったことについて、「まったくなかった」が83.2%で最も多く、次いで「まれにあった」が8.3%、「ときどきあった」が5.3%となっています。
 - 「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」をあわせた“あった人”は16.5%となっています。
- 【子どもの学年別】**
- “あった人”は中学2年生が18.5%と小学5年生の14.4%よりやや多くなっています。
- 【等価可処分所得別】**
- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど“あった人”が多くなる傾向がみられます。
 - 「よくあった」は中学2年生 中央値の2分の1未満は21.4%と他の区分に比べて多くなっています。

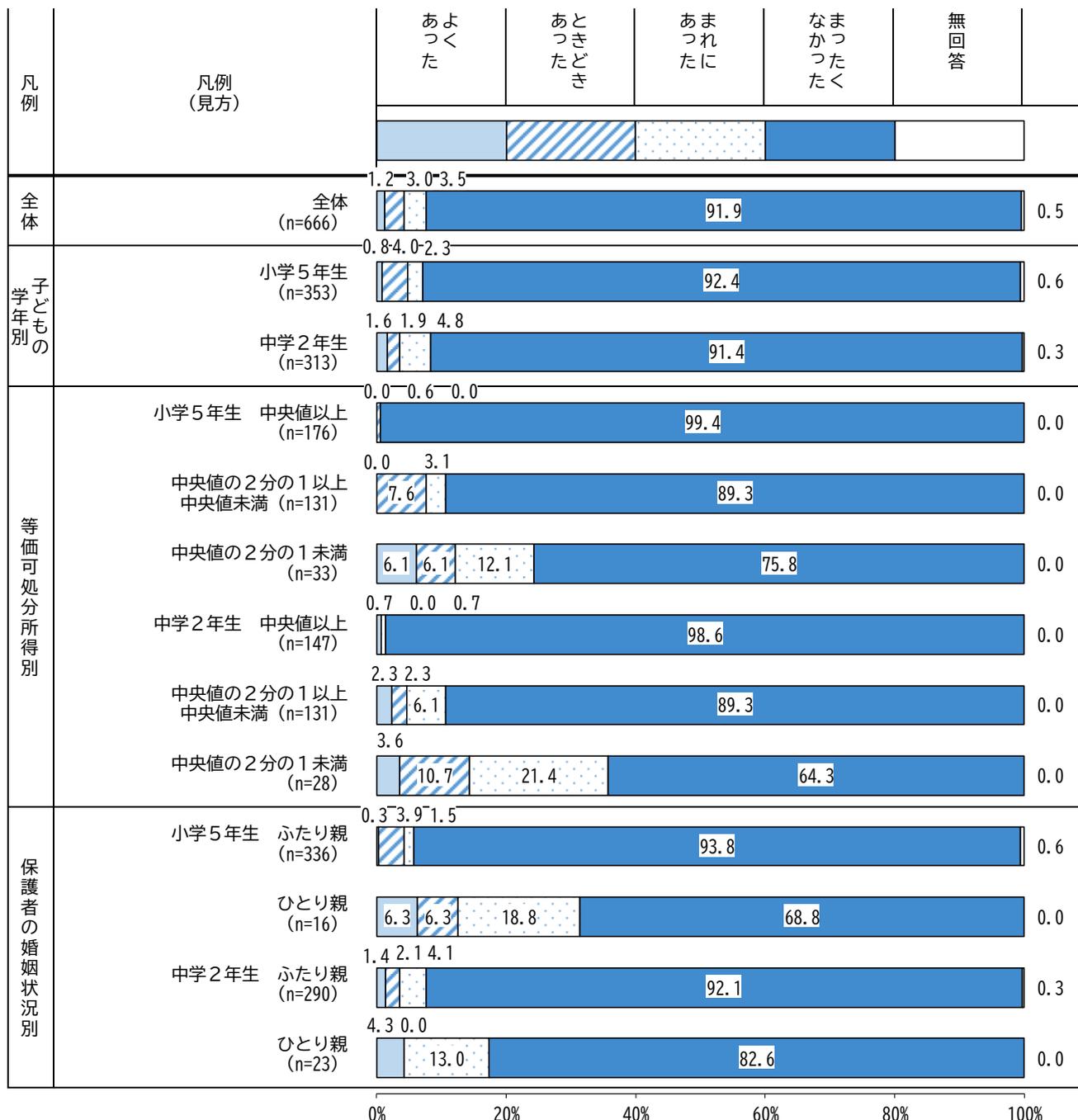
【経済的理由で衣服を買えなかったこと】



問13 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、医療を受診しないことがありましたか。ただし、保険証が使える範囲について回答してください。(ひとつだけ○)

- 【全体】**
- 経済的理由で医療を受診しなかったことについて、「まったくなかった」が91.9%で最も多く、次いで「まれにあった」が3.5%、「ときどきあった」が3.0%となっています。
 - 「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」をあわせた“あった人”は7.7%となっています。
- 【子どもの学年別】**
- 大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】**
- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど“あった人”が多くなる傾向がみられます。

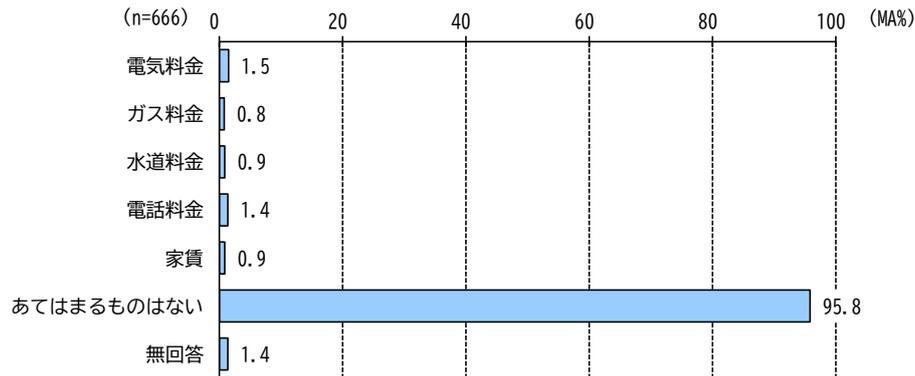
【経済的理由で医療を受診しなかったこと】



問14 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(いくつでも○)

- 【全体】
 ○ 経済的な理由で未払いになったことについて、「あてはまるものはない」が95.8%で最も多く、次いで「電気料金」が1.5%、「電話料金」が1.4%となっています。
- 【子どもの学年別】
 ○ 大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】
 ○ 等価可処分所得が低いほど「あてはまるものはない」が少なく、小学5年生 中央値の2分の1未満は84.8%、中学2年生 中央値の2分の1未満は75.0%となっています。

【経済的な理由で未払いになったこと】



単位：%

		母数 (n)	経済的な理由で未払いになったこと						
			電気料金	ガス料金	水道料金	電話料金	家賃	もあてはまるものはない	無回答
全体		666	1.5	0.8	0.9	1.4	0.9	95.8	1.4
別	小学5年生	353	1.1	0.6	0.6	2.0	0.8	95.8	1.4
	中学2年生	313	1.9	1.0	1.3	0.6	1.0	95.8	1.3
等価可処分所得別	小学5年生 中央値以上	176	-	-	-	-	-	98.3	1.7
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	0.8	0.8	-	1.5	0.8	95.4	1.5
	中央値の2分の1未満	33	6.1	3.0	3.0	△ 12.1	3.0	▼ 84.8	-
	中学2年生 中央値以上	147	-	-	-	-	-	100.0	-
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	1.5	0.8	1.5	0.8	0.8	95.4	2.3
	中央値の2分の1未満	28	△ 14.3	7.1	7.1	3.6	7.1	▼ 75.0	3.6
状況別	小学5年生 ふたり親	336	0.3	0.3	-	0.9	0.3	97.0	1.5
	ひとり親	16	△ 12.5	6.3	6.3	△ 18.8	6.3	▼ 75.0	-
	中学2年生 ふたり親	290	1.4	0.7	1.4	0.7	1.0	96.2	1.4
	ひとり親	23	8.7	4.3	-	-	-	91.3	-

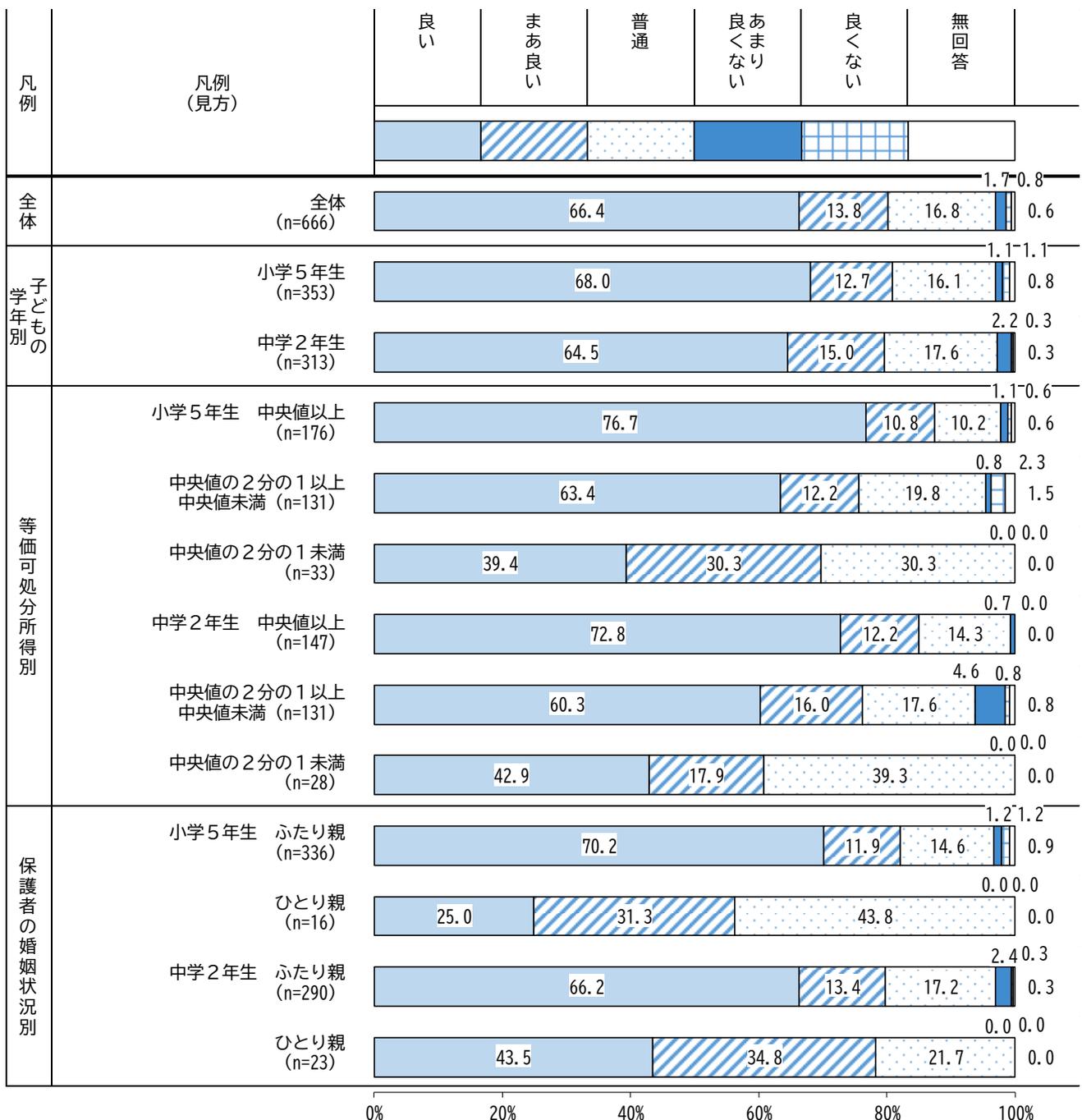
(3) 健康状態と子どもとの関わり方について

問15 お子さんとあなたの健康状態は次のうちどれにあてはまりますか。(ひとつだけ○)

(1) お子さん

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの健康状態について、「良い」が66.4%で最も多く、次いで「普通」が16.8%、「まあ良い」が13.8%となっています。 ○ 「良い」「まあ良い」をあわせた“良い人”は80.2%、「あまり良くない」「良くない」をあわせた“良くない人”は2.5%となっています。 <p>【子どもの学年別】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな差はみられません。 <p>【等価可処分所得別】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「良い」が少なくなる傾向がみられます。

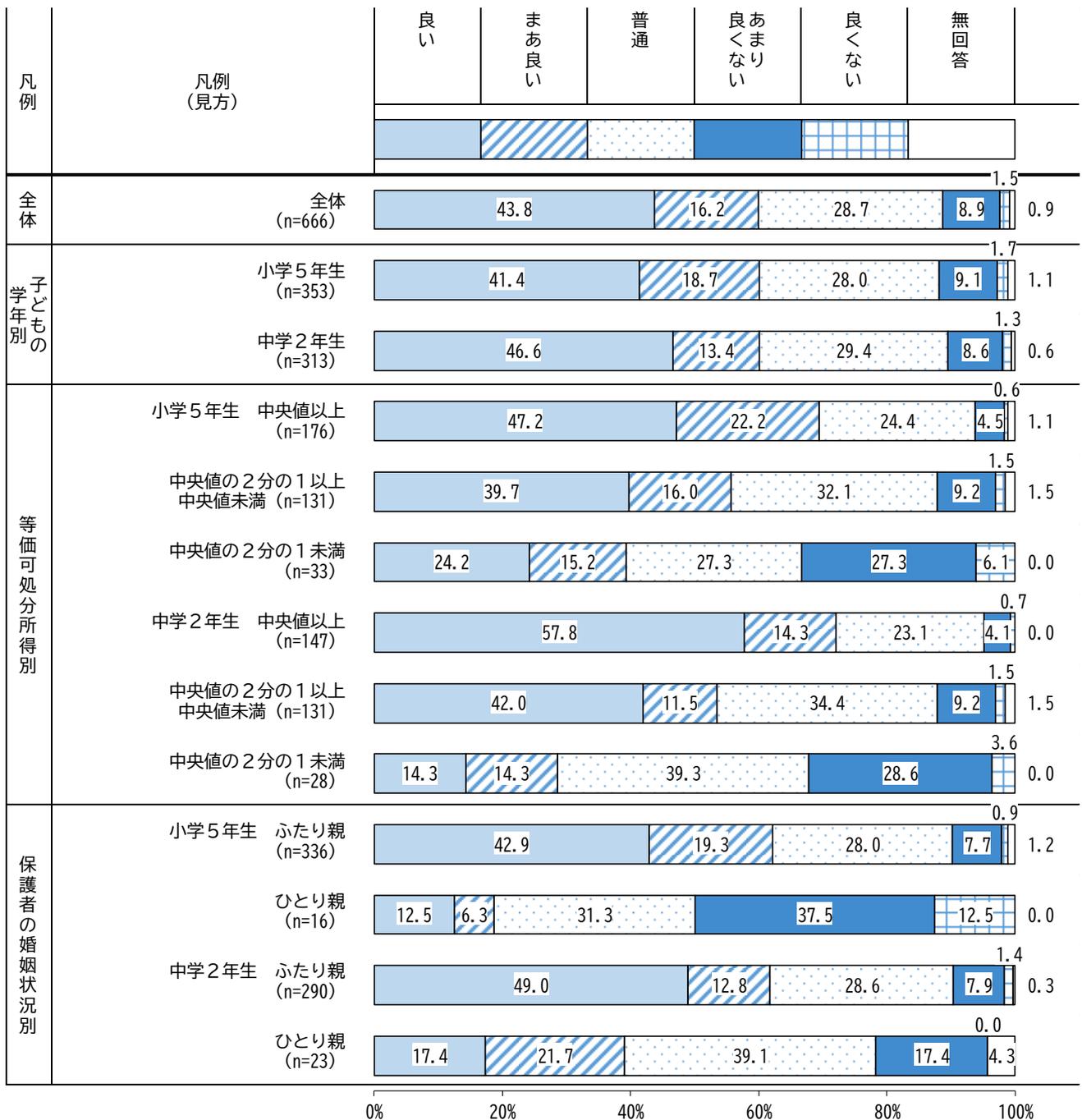
【子どもの健康状態】



問15 (2) あなた

- 【全体】**
- 回答者の健康状態について、「良い」が43.8%で最も多く、次いで「普通」が28.7%、「まあ良い」が16.2%となっています。
 - 「良い」「まあ良い」をあわせた“良い人”は60.0%、「あまり良くない」「良くない」をあわせた“良くない人”は10.4%となっています。
- 【子どもの学年別】**
- “良い人”は大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】**
- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「良い」が少なく、中学2年生中央値の2分の1未満は14.3%となっています。

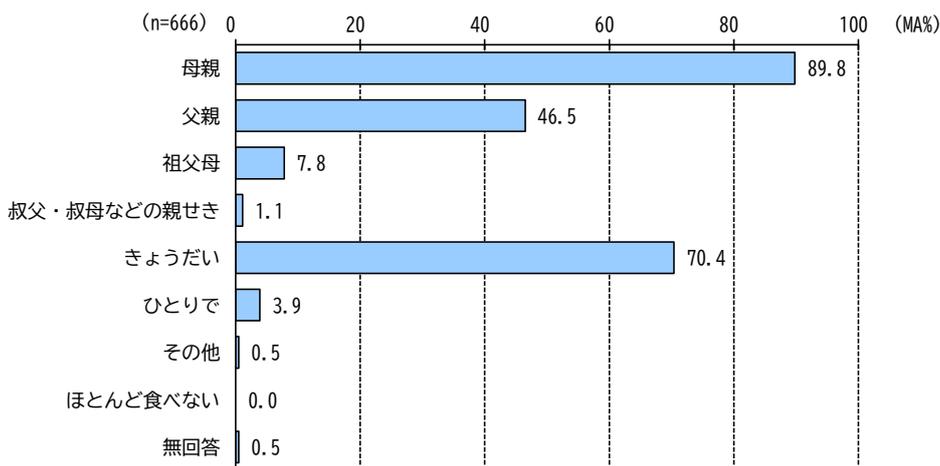
【回答者の健康状態】



問16 お子さんは、夕食を誰と食べることが多いですか。(いくつでも○)

- 【全体】
 ○ 子どもが夕食を誰と食べるが多いかについて、「母親」が 89.8%で最も多く、次いで「きょうだい」が 70.4%、「父親」が 46.5%となっています。
- 【子どもの学年別】
 ○ 「ひとりで」は中学2年生が 6.7%と小学5年生の 1.4%より多くなっています。
- 【等価可処分所得別】
 ○ 「ひとりで」は中学2年生 中央値の2分の1未満は 10.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【子どもが夕食を共食する相手】



単位：%

	母数 (n)	子どもが夕食を誰と食べるが多いか								
		母親	父親	祖父母	親叔叔 せ母父 きな・ どの	き ょう だ い	ひ と り で	そ の 他	食 ほ と ん ど い な い	無 回 答
全体	666	89.8	46.5	7.8	1.1	70.4	3.9	0.5	-	0.5
学も子 年のど	小学5年生	92.4	46.7	8.8	2.0	70.5	1.4	0.6	-	0.6
	中学2年生	86.9	46.3	6.7	-	70.3	6.7	0.3	-	0.3
等 価 可 処 分 別	小学5年生 中央値以上	95.5	48.9	6.8	1.1	71.0	0.6	-	-	0.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	90.1	49.6	6.9	74.0	2.3	-	-	0.8
	中央値の2分の1未満	33	90.9	▼ 21.2	△ 30.3	6.1	▼ 54.5	-	-	-
	中学2年生 中央値以上	147	89.8	48.3	6.1	-	65.3	5.4	-	-
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	84.0	43.5	6.9	-	74.8	7.6	0.8	-
	中央値の2分の1未満	28	85.7	50.0	10.7	-	75.0	10.7	-	-
保 護 者 の 状 況 別	小学5年生 ふたり親	336	92.6	49.1	7.4	1.2	71.7	1.5	0.6	-
	ひとり親	16	93.8	-	△ 37.5	△ 18.8	▼ 43.8	-	-	-
	中学2年生 ふたり親	290	89.3	48.3	5.2	-	72.1	5.5	0.3	-
ひとり親	23	▼ 56.5	▼ 21.7	△ 26.1	-	▼ 47.8	△ 21.7	-	-	

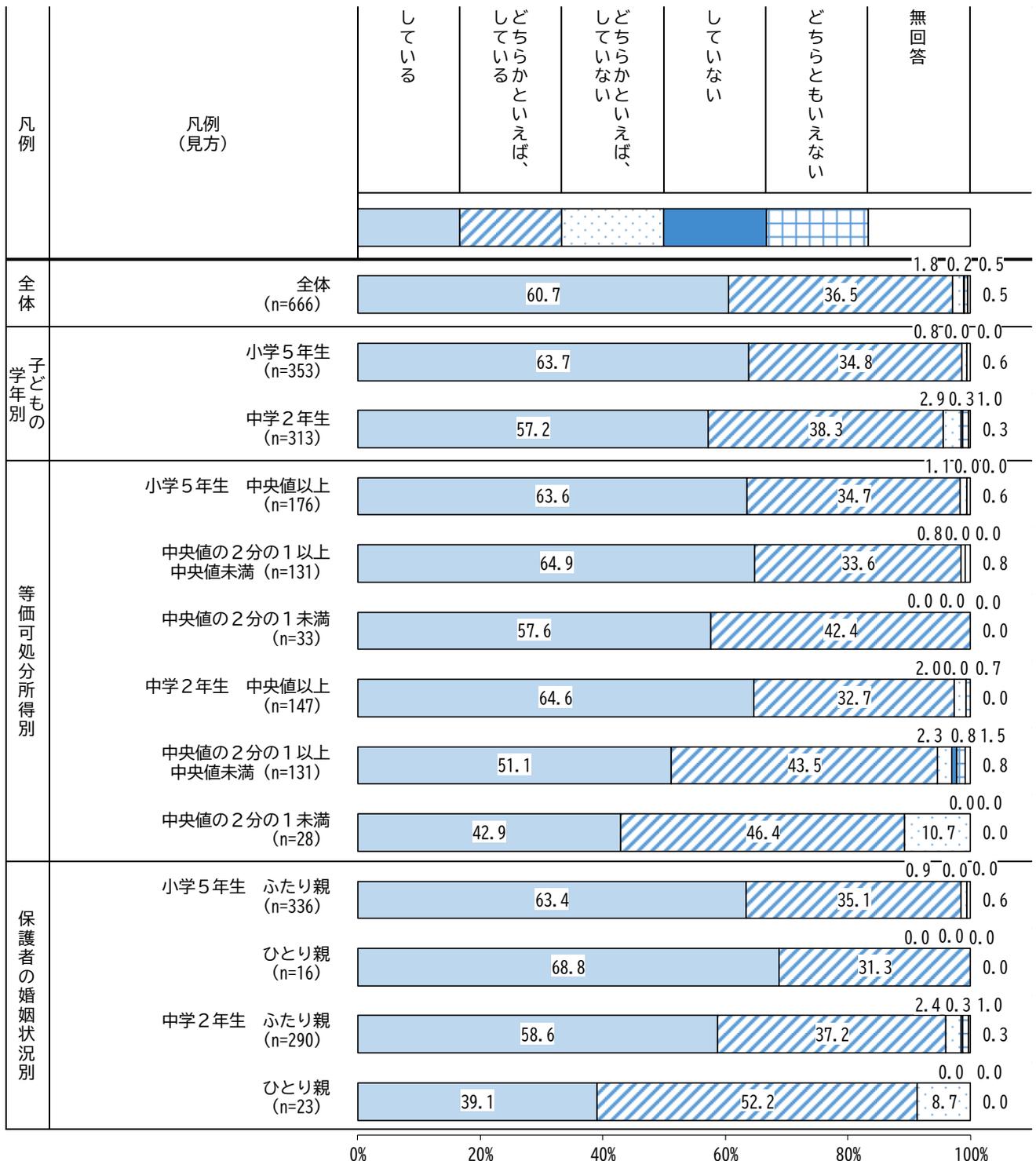
問17 あなたは、お子さんとよく会話をしますか。(ひとつだけ○)

【全体】
 ○ 子どもとの会話について、「している」が60.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば、している」が36.5%、「どちらかといえば、していない」が1.8%となっています。
 ○ 「している」「どちらかといえば、している」をあわせた“している人”は97.2%となっており、「どちらかといえば、していない」「していない」をあわせた“していない人”は2.0%となっています。

【子どもの学年別】
 ○ 「している」は小学5年生が63.7%と中学2年生の57.2%より多くなっています。

【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「している」が同じ学年の他の区分に比べて少なくなっています。

【子どもとの会話】

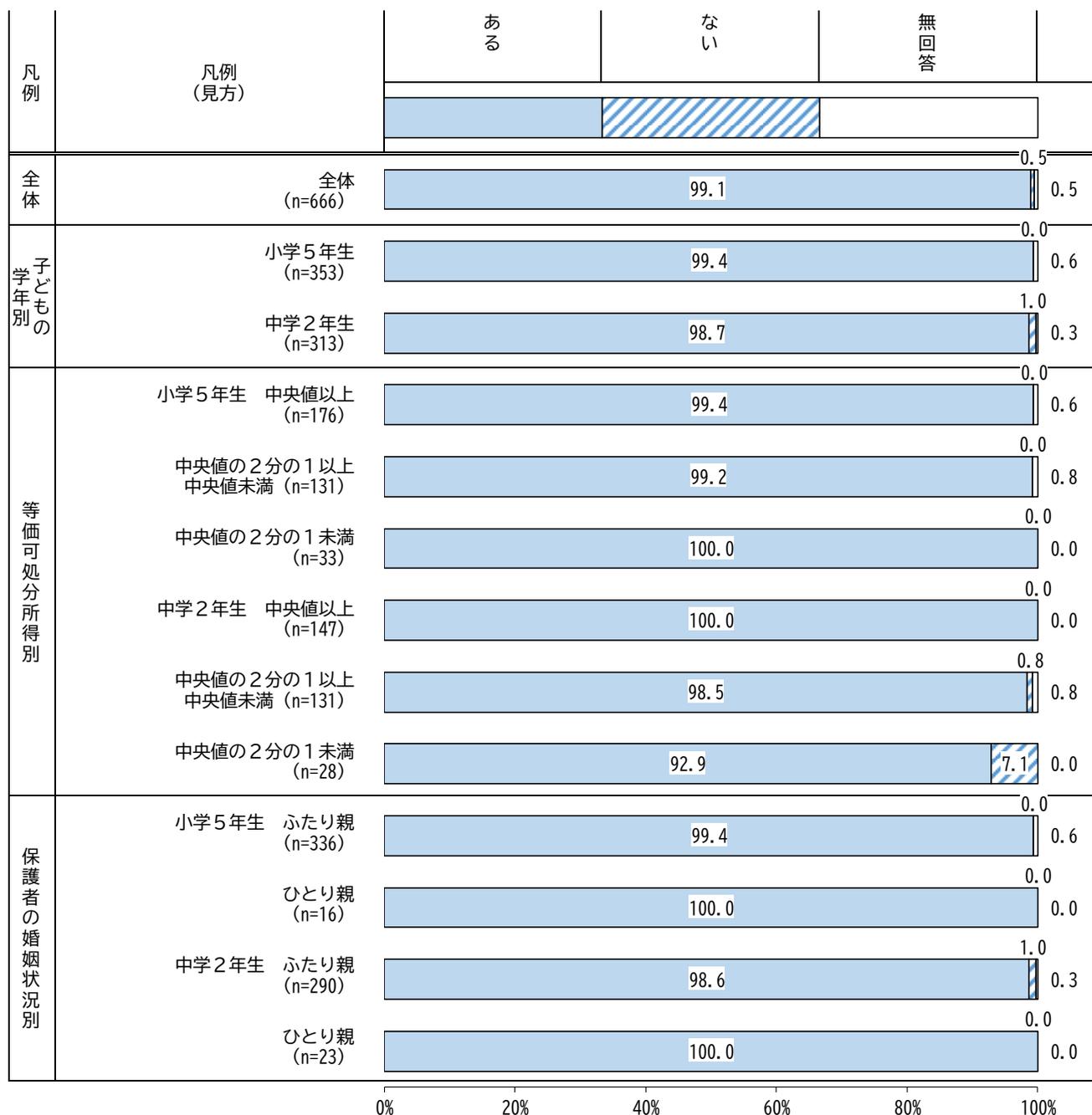


(4) 子どもの体験機会について

問18 (1) お誕生日のお祝いをする (ひとつだけ○)

【全体】
 ○ 誕生日のお祝いについて、「ある」が99.1%、「ない」が0.5%となっています。
 【子どもの学年別】
 ○ 大きな差はみられません。
 【等価可処分所得別】
 ○ 「ない」は中学2年生 中央値の2分の1未満が7.1%と他の区分に比べて多くなっています。

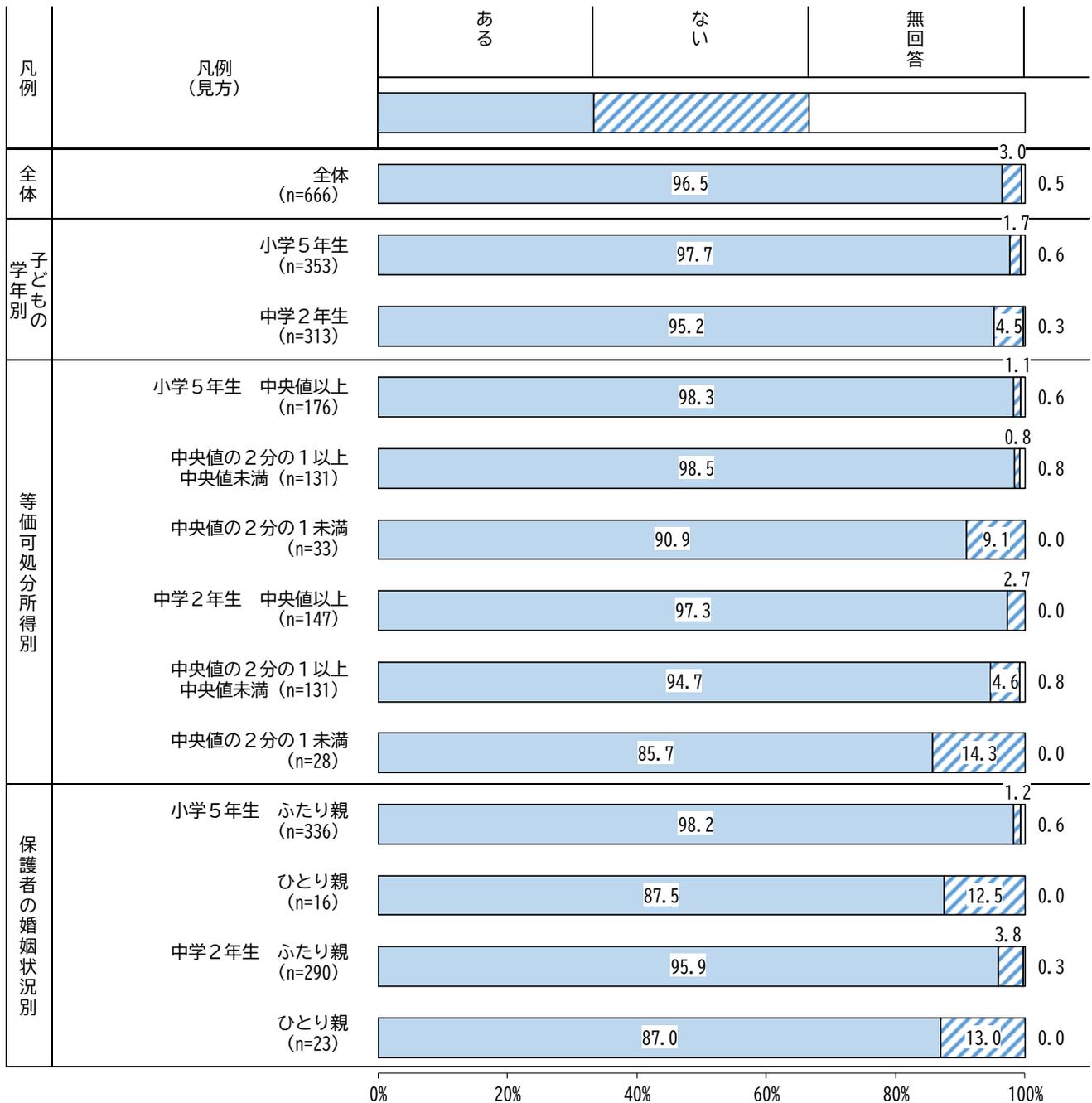
【誕生日のお祝い】



問18 (2) クリスマスプレゼントやお年玉をあげる (ひとつだけ○)

【全体】
 ○ クリスマスプレゼントやお年玉について、「ある」が 96.5%、「ない」が 3.0%となっています。
 【子どもの学年別】
 ○ 「ない」は中学2年生が 4.5%と小学5年生の 1.7%よりやや多くなっています。
 【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「ない」が同じ学年の他の区分に比べて多く、中学2年生 中央値の2分の1未満は 14.3%となっています。

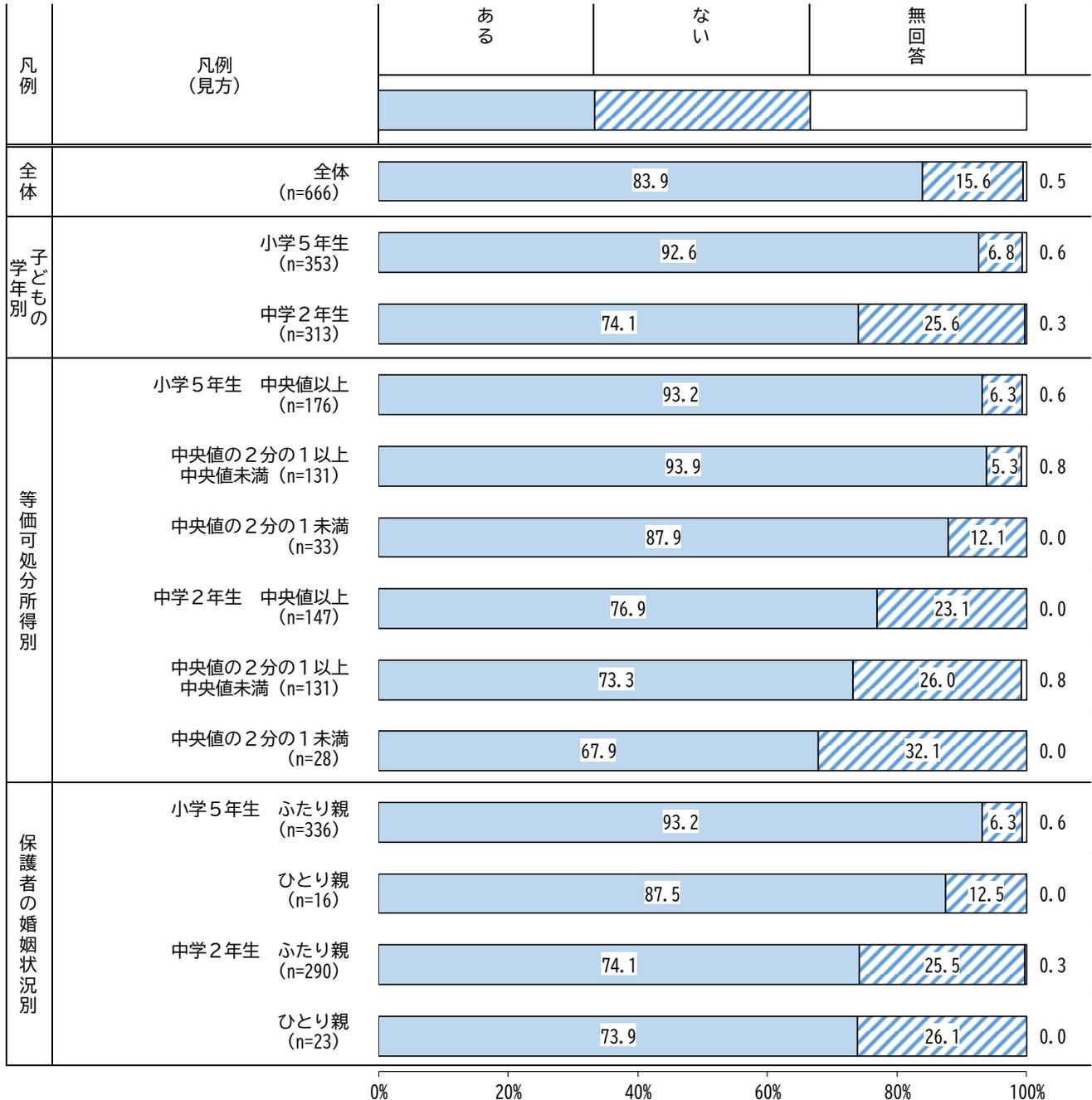
【クリスマスプレゼントやお年玉】



問18 (3) 地域の行事、お祭り、イベントに参加する(ひとつだけ○)

【全体】
 ○ 地域行事等への参加について、「ある」が83.9%、「ない」が15.6%となっています。
 【子どもの学年別】
 ○ 「ない」は中学2年生が25.6%と小学5年生の6.8%より多くなっています。
 【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「ない」が同じ学年の他の区分に比べて多く、中学2年生 中央値の2分の1未満は32.1%となっています。

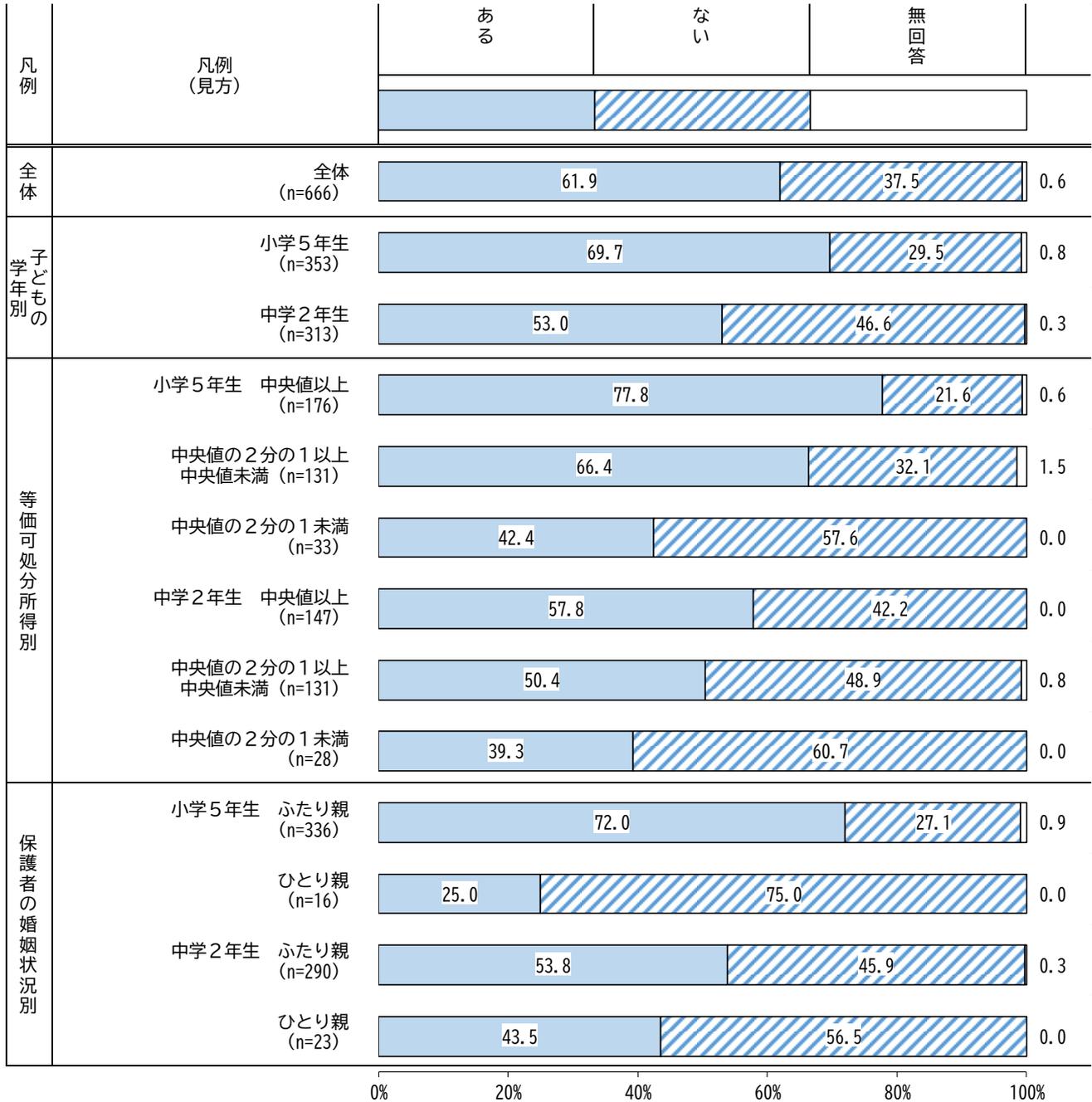
【地域行事等への参加】



問18 (4) キャンプ、登山、海水浴などの自然体験をする(ひとつだけ○)

【全体】
 ○ 自然体験について、「ある」が61.9%、「ない」が37.5%となっています。
 【子どもの学年別】
 ○ 「ない」は中学2年生が46.6%と小学5年生の29.5%より多くなっています。
 【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「ある」が少なく、「ない」が多くなる傾向がみられます。

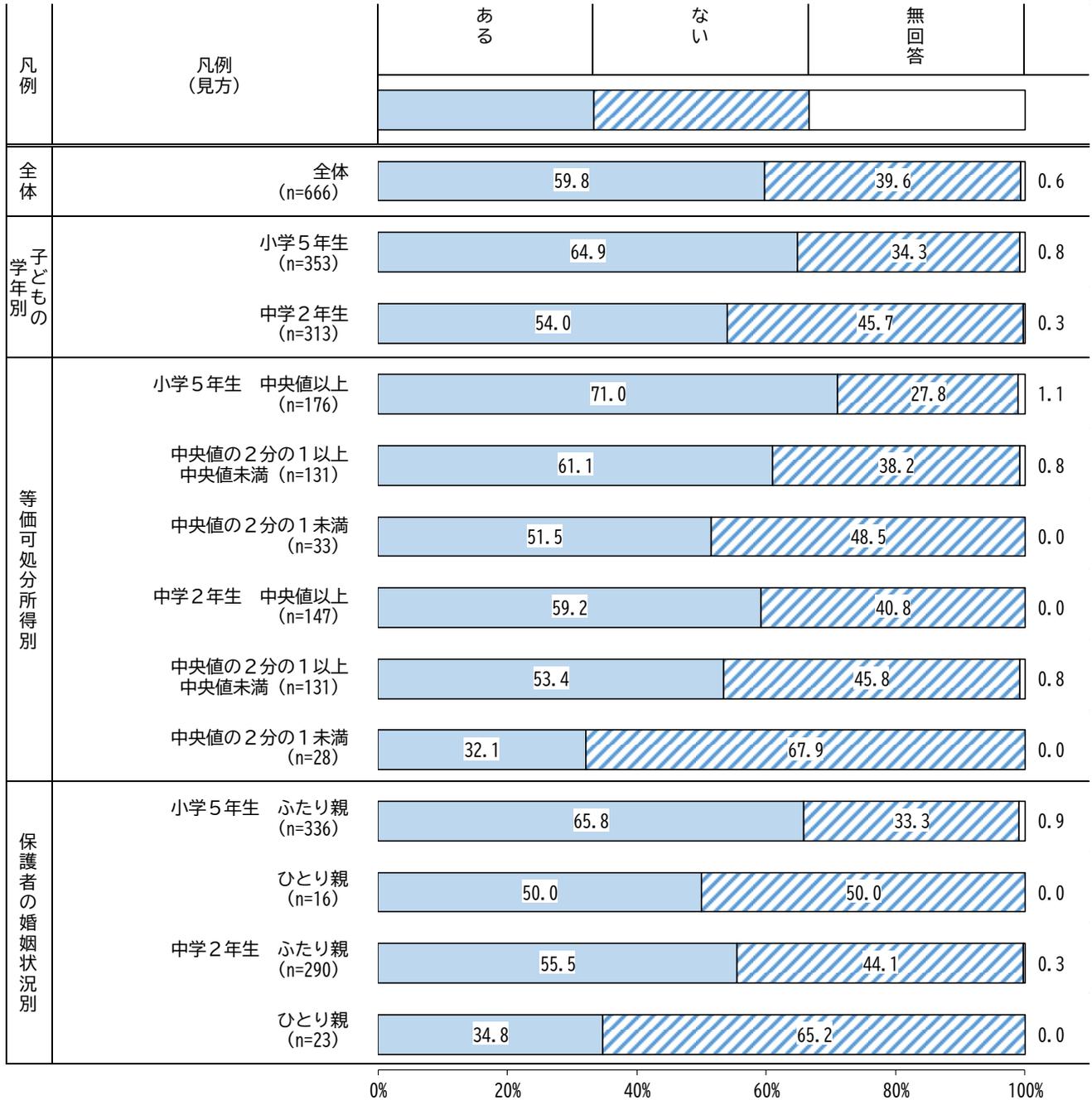
【自然体験】



問18 (5) スポーツの観戦や体験をする(ひとつだけ○)

【全体】
 ○ スポーツ観戦や体験について、「ある」が59.8%、「ない」が39.6%となっています。
 【子どもの学年別】
 ○ 「ない」は中学2年生が45.7%と小学5年生の34.3%より多くなっています。
 【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「ある」が少なく、「ない」が多くなる傾向がみられます。

【スポーツ観戦や体験】



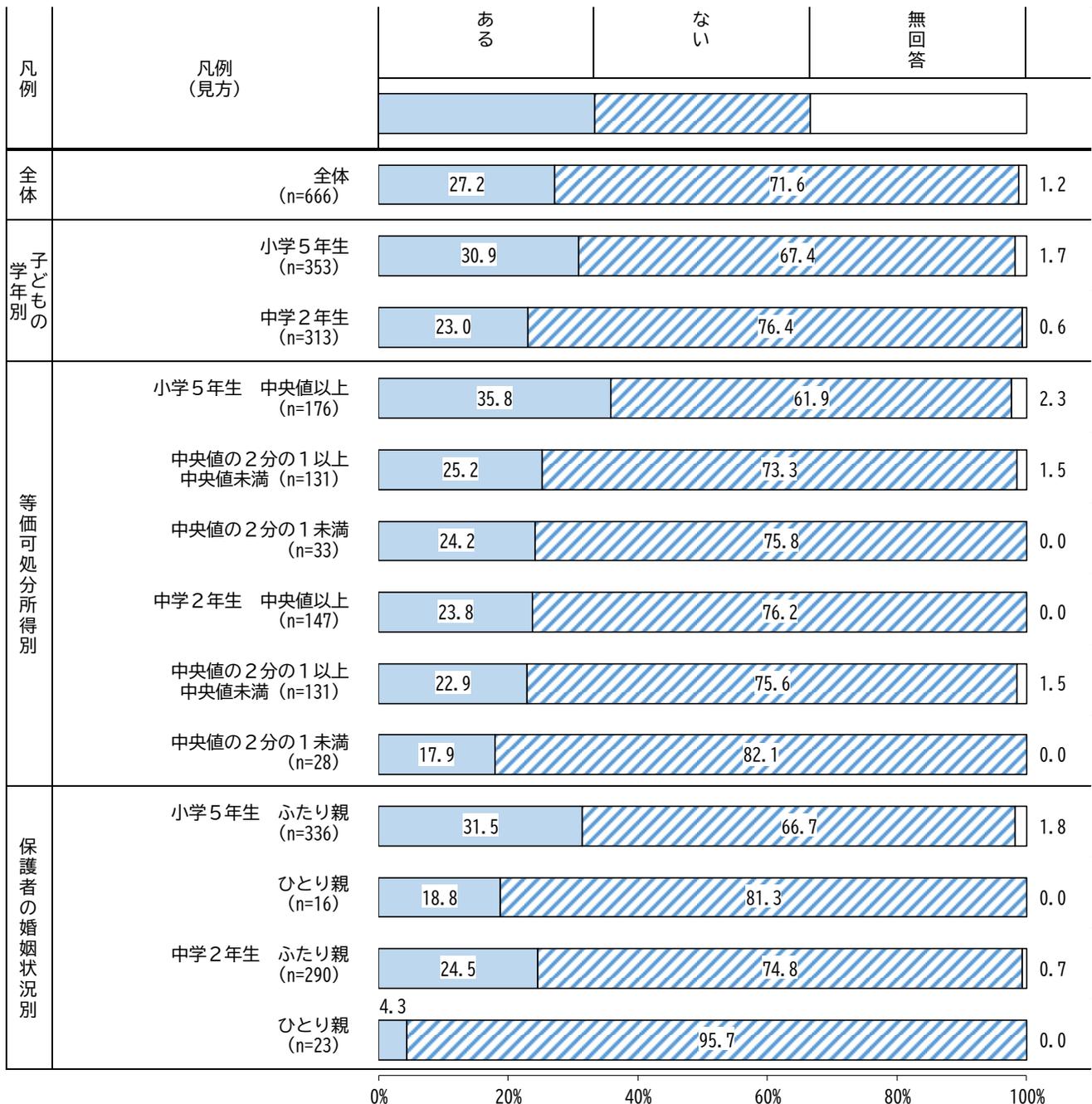
問18 (6) 農業体験や職業体験、ボランティアなどの社会体験をする(ひとつだけ○)

【全体】
 ○ 農業体験や職業体験、ボランティアなどについて、「ある」が27.2%、「ない」が71.6%となっています。

【子どもの学年別】
 ○ 「ない」は中学2年生が76.4%と小学5年生の67.4%より多くなっています。

【等価可処分所得別】
 ○ 「ある」は中学2年生中央値の2分の1未満が17.9%と他の区分に比べて少なくなっています。
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「ある」が少なくなる傾向がみられます。

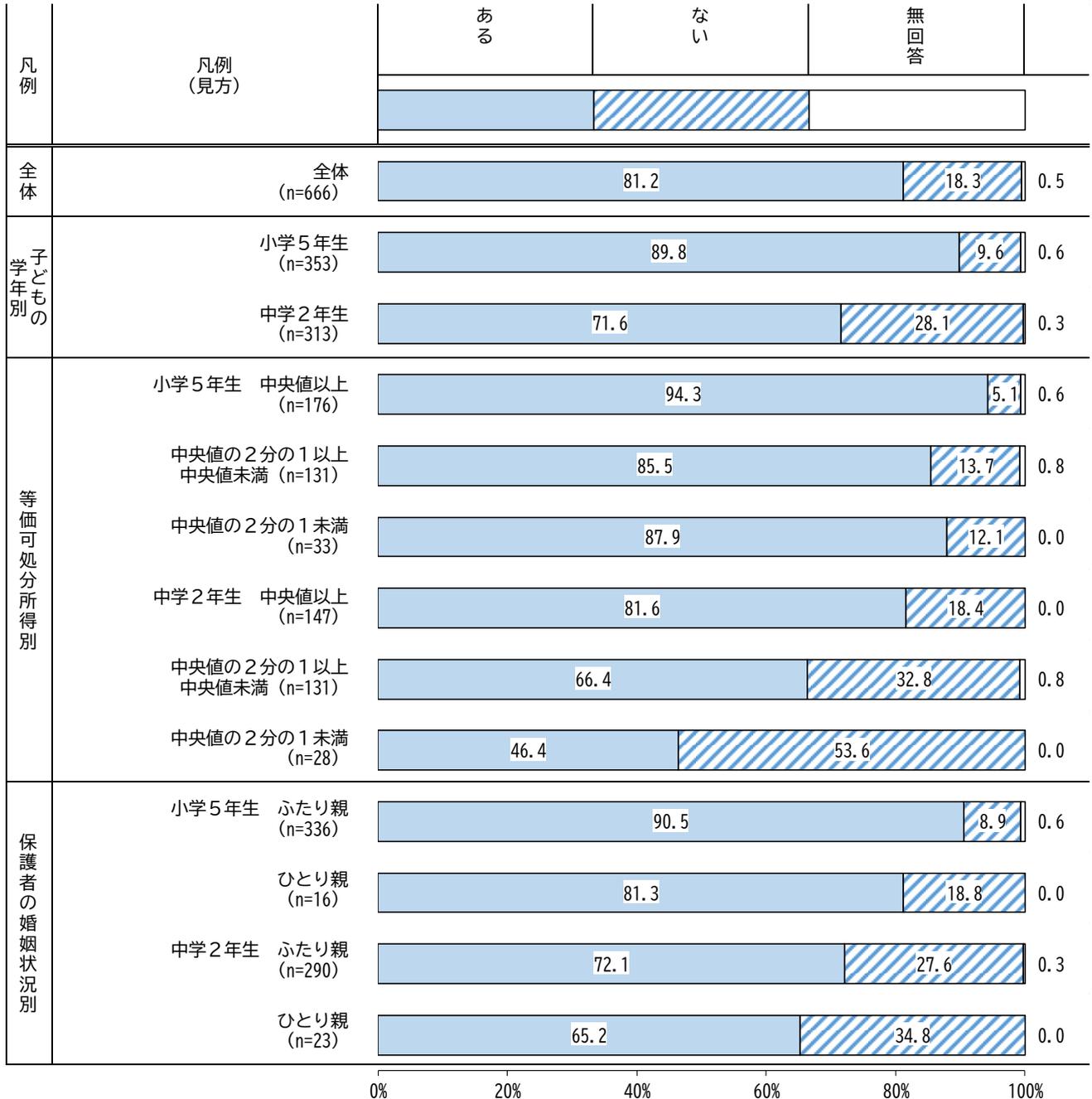
【農業体験や職業体験、ボランティアなど】



問18 (7) 動物園、水族館、博物館、美術館に行く (ひとつだけ○)

【全体】
 ○ 動物園、博物館等への訪問について、「ある」が81.2%、「ない」が18.3%となっています。
 【子どもの学年別】
 ○ 「ない」は中学2年生が28.1%と小学5年生の9.6%より多くなっています。
 【等価可処分所得別】
 ○ 「ある」は中学2年生 中央値の2分の1未満が46.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

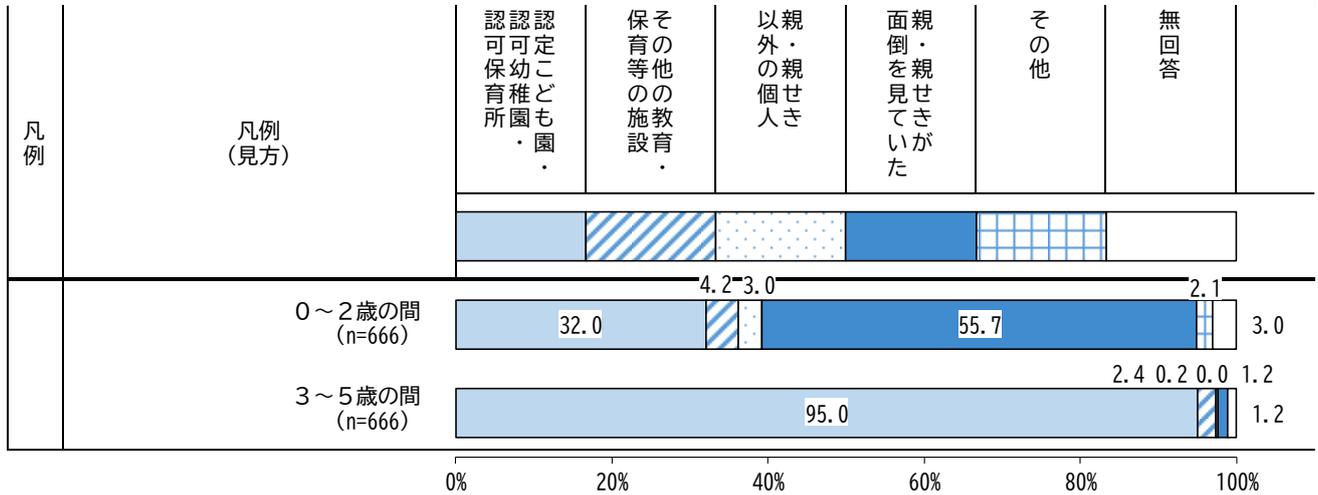
【動物園、博物館等への訪問】



問19 お子さんが0～2歳の間と3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものの（期間が長いもの）をお答えください。

【全体】
 ○ 0～2歳の間は「親・親戚が面倒を見ていた」が55.7%で最も多く、3～5歳の間は「認定こども園・認可幼稚園・認可保育所」が95.0%で最も多くなっています。

【教育・保育施設等】



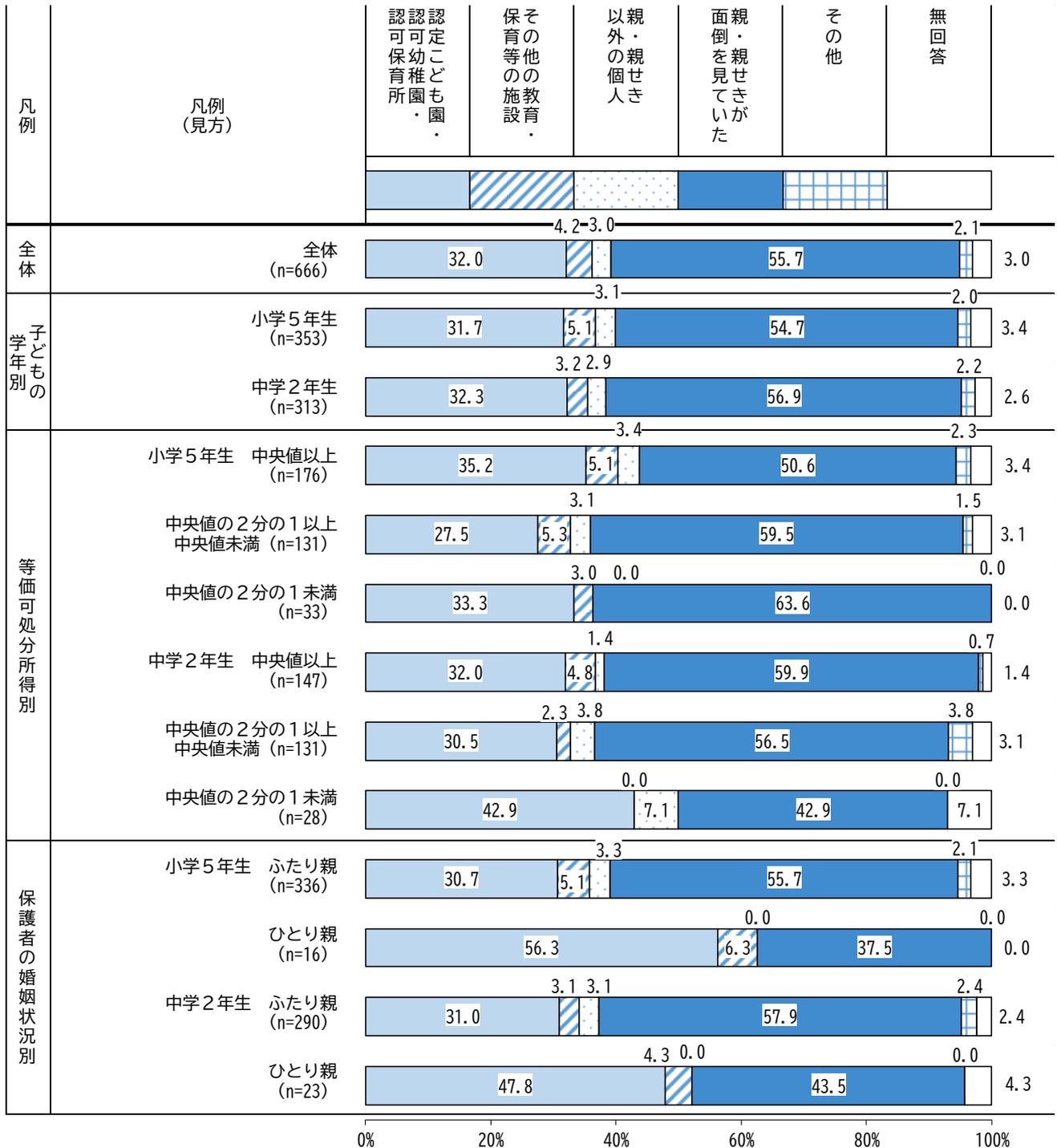
問19 (1) 0～2歳の間

【全体】
 ○ 0～2歳の教育・保育施設等について、「親・親せきが面倒を見ていた」が55.7%で最も多く、次いで「認定こども園・認可幼稚園・認可保育所」が32.0%、「その他の教育・保育等の施設」が4.2%となっています。

【子どもの学年別】
 ○ 大きな差はみられません。

【等価可処分所得別】
 ○ 「認定こども園・認可幼稚園・認可保育所」は中学2年生 中央値の2分の1未満が42.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【0～2歳の教育・保育施設等】



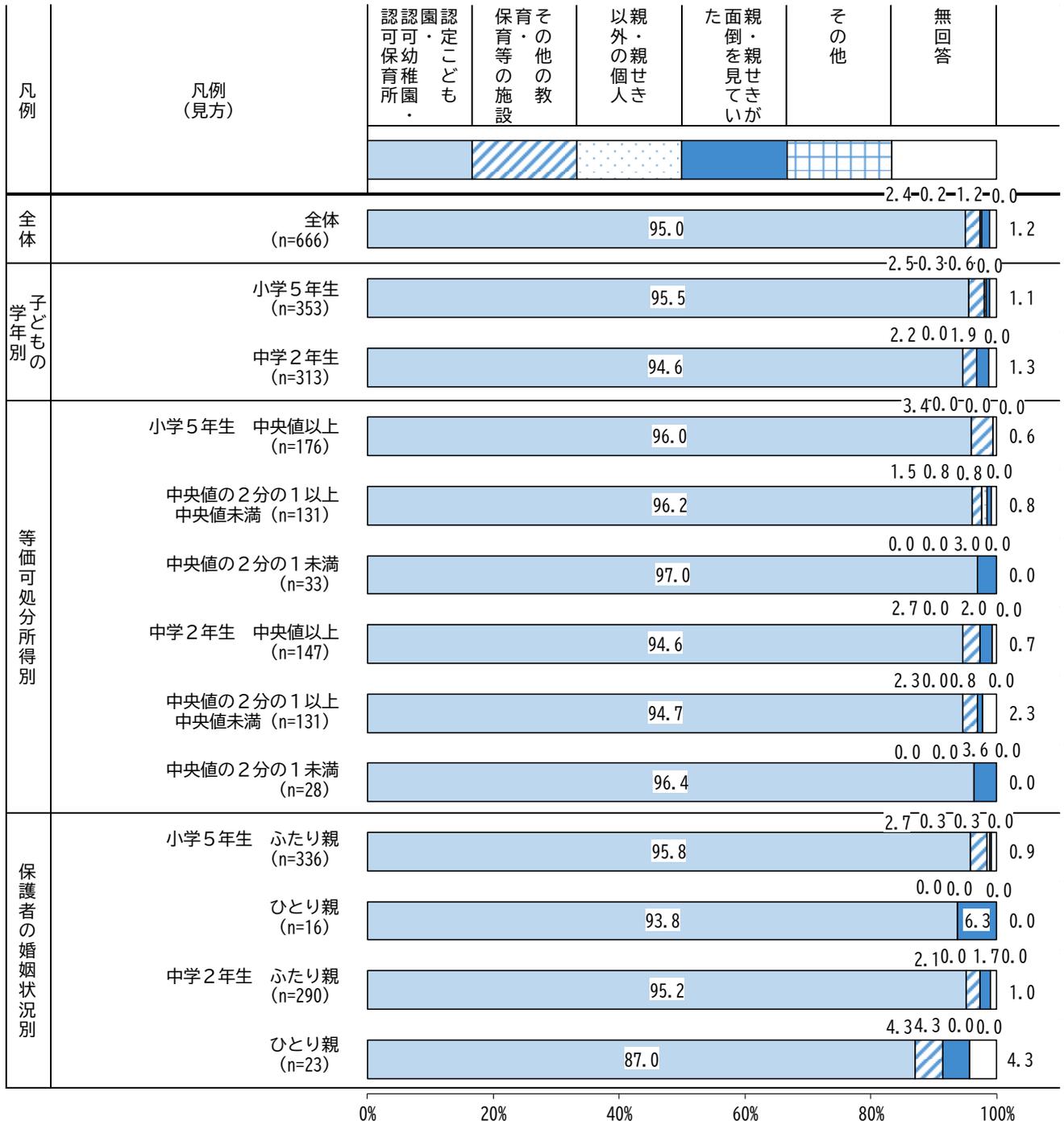
問19 (2) 3～5歳の間(ひとつだけ○)

【全体】
 ○ 3～5歳の教育・保育施設等について、「認定こども園・認可幼稚園・認可保育所」が95.0%で最も多く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が2.4%、「親・親せきが面倒を見ていた」が1.2%となっています。

【子どもの学年別】
 ○ 大きな差はみられません。

【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「親・親戚が面倒を見ていた」が他の区分に比べてやや多くなっています。

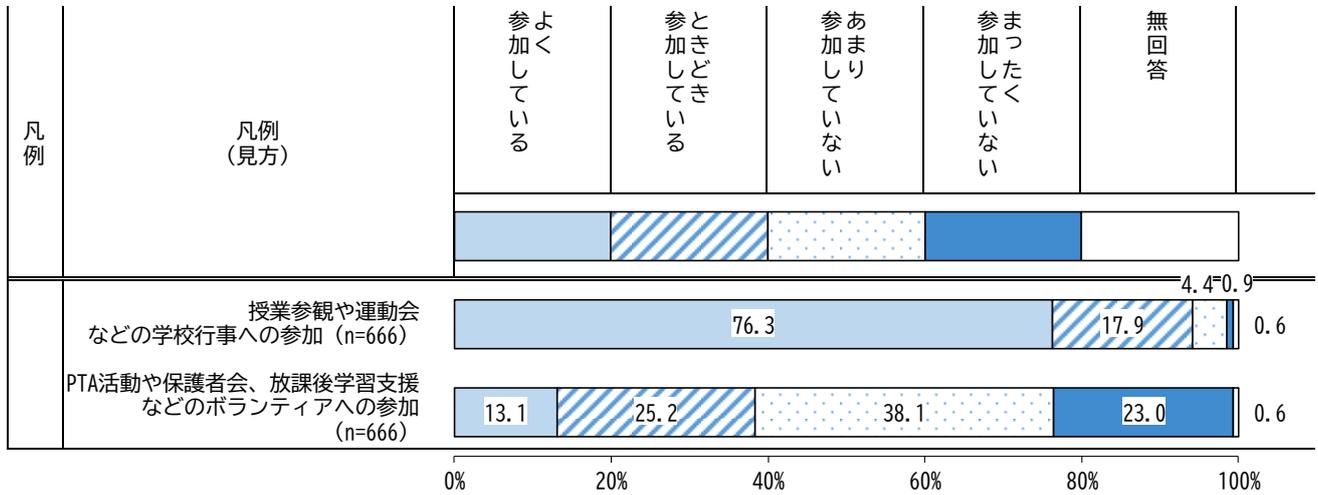
【3～5歳の教育・保育施設等】



問20 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

【全体】
 ○ 授業参観や運動会などの学校行事への参加は「よく参加している」が 76.3%と最も多く、PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアへの参加は「あまり参加していない」が 38.1%と最も多くなっています。

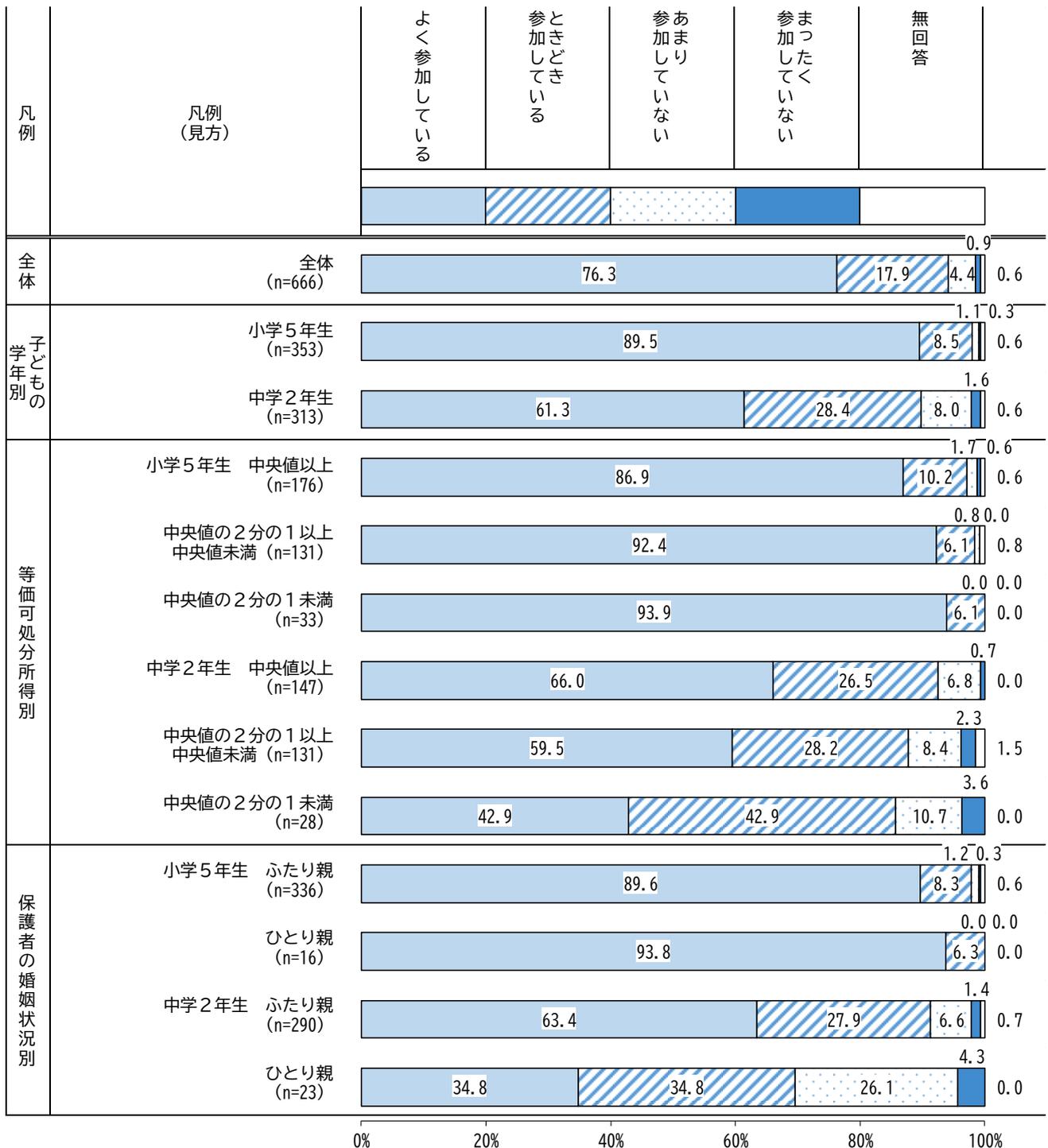
【参加状況】



問20 (1) 授業参観や運動会などの学校行事への参加 (ひとつだけ○)

- 【全体】**
 ○ 学校行事への参加について、「よく参加している」「ときどき参加している」をあわせた“参加している人”は94.2%となっており、「あまり参加していない」「まったく参加していない」をあわせた“参加していない人”は5.3%となっています。
- 【子どもの学年別】**
 ○ 「よく参加している」は小学5年生が89.5%と中学2年生の61.3%より多くなっています。
- 【等価可処分所得別】**
 ○ 「よく参加している」は小学5年生では等価可処分所得が低いほど多く、中学2年生では等価可処分所得が低いほど少なくなる傾向がみられます。

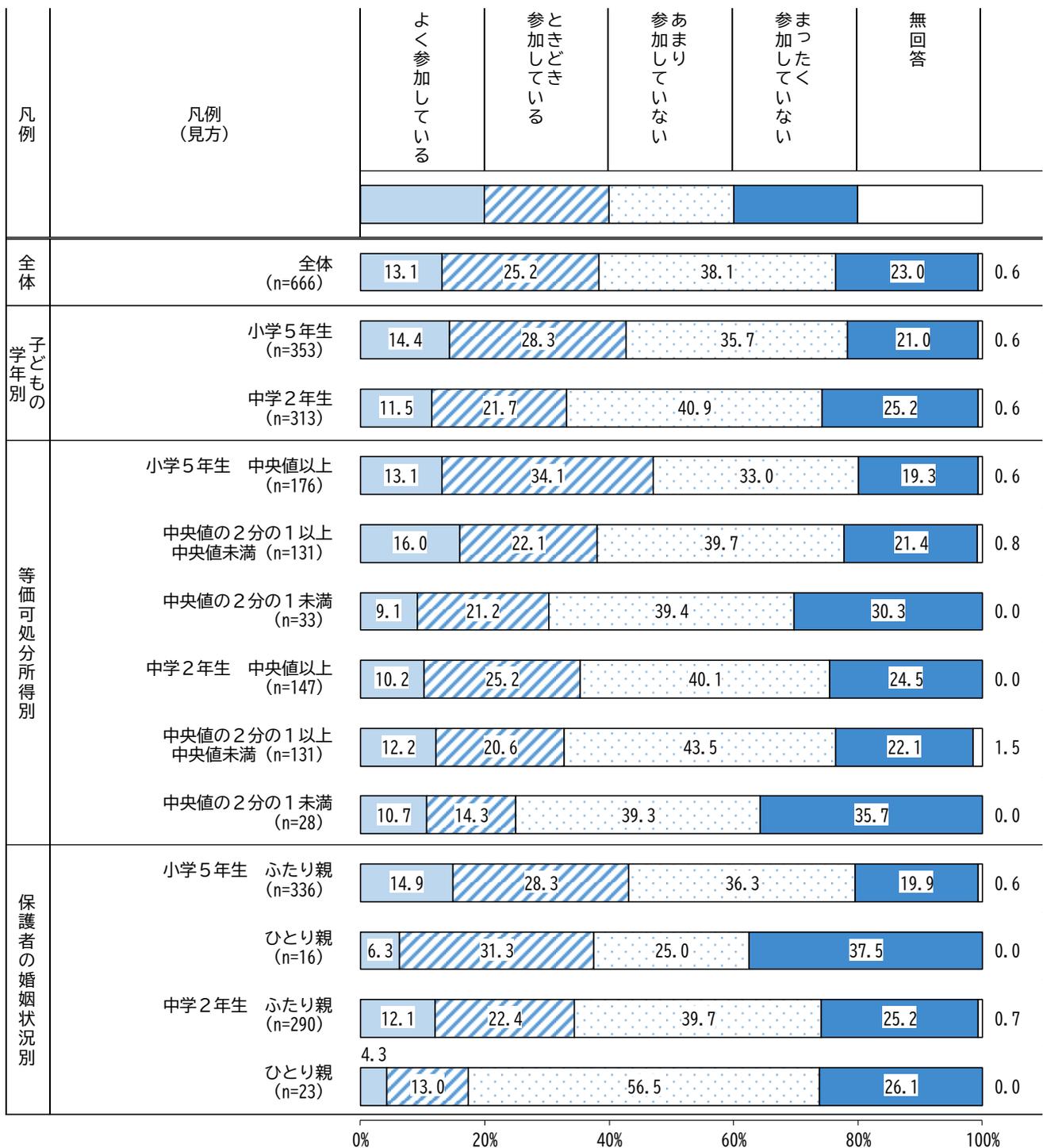
【学校行事への参加】



問20 (2) PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアへの参加 (ひとつだけ○)

【全体】
 ○ PTA 活動等への参加について、「あまり参加していない」が 38.1%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が 25.2%、「まったく参加していない」が 23.0%となっています。
 ○ 「よく参加している」「ときどき参加している」をあわせた“参加している人”は 38.3%となっており、「あまり参加していない」「まったく参加していない」をあわせた“参加していない人”は 61.1%となっています。
【子どもの学年別】
 ○ “参加している”は小学5年生が 42.7%と中学2年生の 33.2%より多くなっています。
【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「全く参加していない」が 30%を超え、多くなっています。

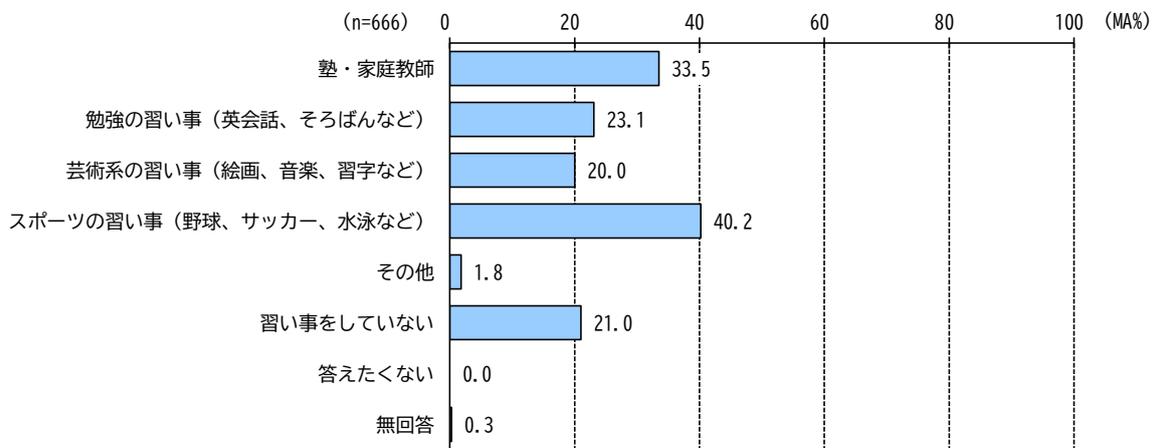
【APTA 活動等への参加】



問21 お子さんは現在、習い事をしていますか。(いくつでも○)

- 【全体】
- お子さんの習い事について、「スポーツの習い事（野球、サッカー、水泳など）」が 40.2% で最も多く、次いで「塾・家庭教師」が 33.5%、「勉強の習い事（英会話、そろばんなど）」が 23.1%となっています。
- 【子どもの学年別】
- 小学5年生は「スポーツの習い事（野球、サッカー、水泳など）」が57.8%で最も多く、中学2年生は「塾・家庭教師」が46.0%で最も多くなっています。
- 【等価可処分所得別】
- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が高いほど「塾・家庭教師」「勉強の習い事（英会話、そろばんなど）」が多くなっています。
 - 「習い事をしていない」は中学2年生 中央値の2分の1以上中央値未満が 37.4%、中学2年生 中央値の2分の1未満が50.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【お子さんの習い事】



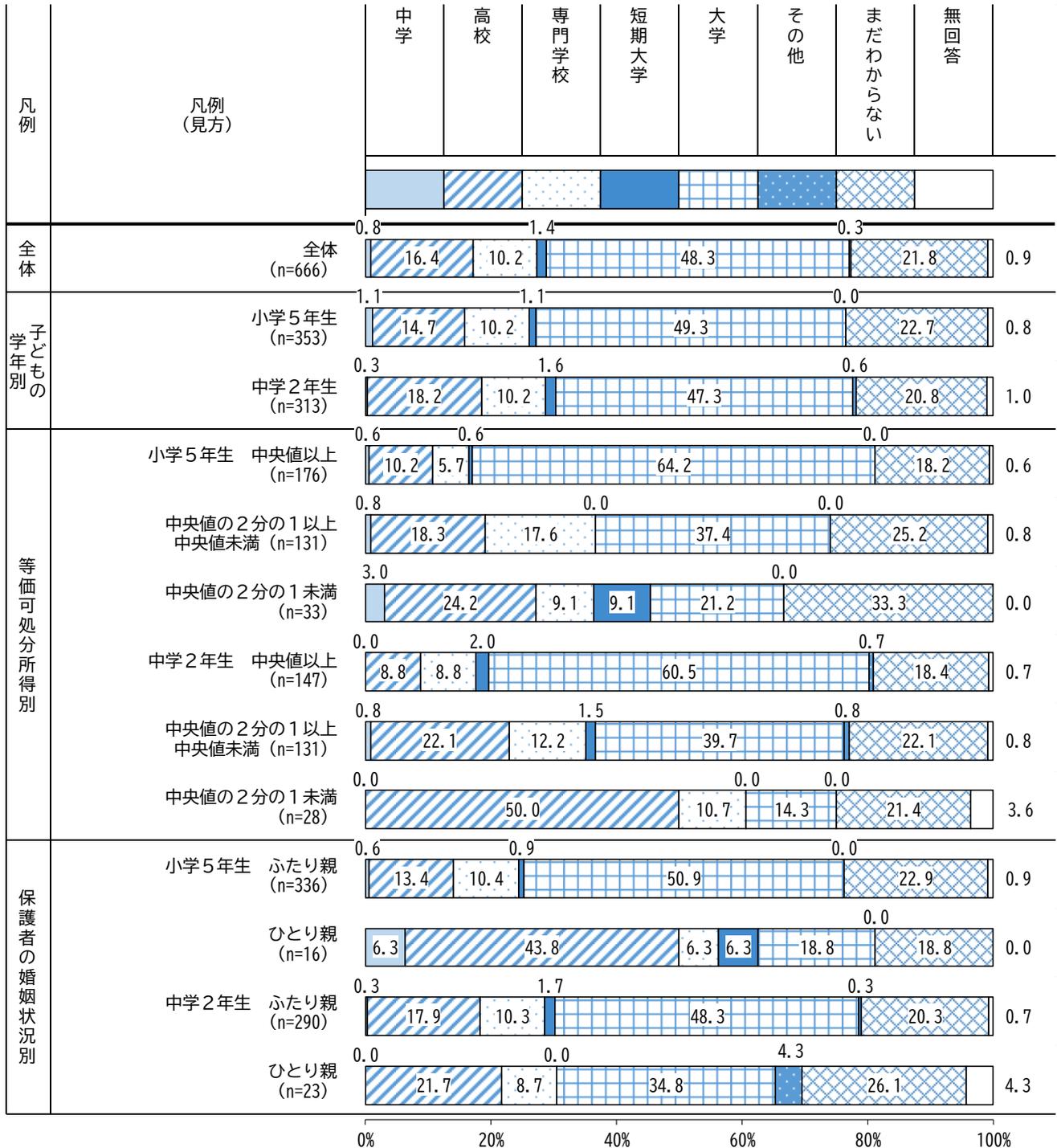
単位：%

別	学年	母数 (n)	お子さんの習い事							
			塾・家庭教師	そろばんなど (英会話、勉強の習い事)	勉強の習い事 (英会話、そろばんなど)	芸術系の習い事 (絵画、音楽、習字など)	水泳など (野球、サッカー、スポーツの習い事)	その他	習い事をしていない	答えたくない
	全体	666	33.5	23.1	20.0	40.2	1.8	21.0	-	0.3
学も子	小学5年生	353	▼ 22.4	▲ 31.4	26.6	▲ 57.8	2.3	13.3	-	-
	中学2年生	313	▲ 46.0	13.7	12.5	▼ 20.4	1.3	▲ 29.7	-	0.6
等価可処分所得別	小学5年生 中央値以上	176	26.7	▲ 33.5	▲ 33.0	▲ 66.5	1.7	▼ 8.0	-	-
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	▼ 18.3	▲ 30.5	20.6	▲ 51.9	2.3	18.3	-	-
	中央値の2分の1未満	33	▼ 9.1	▲ 30.3	24.2	▲ 39.4	6.1	15.2	-	-
	中学2年生 中央値以上	147	▲ 59.2	17.0	17.7	▼ 19.0	2.0	▲ 19.7	-	-
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	▲ 37.4	▼ 11.5	▼ 8.4	▼ 21.4	-	▲ 37.4	-	0.8
	中央値の2分の1未満	28	▼ 14.3	▼ 10.7	▼ 3.6	▼ 17.9	3.6	▲ 50.0	-	3.6
状況別 保護者の	小学5年生 ふたり親	336	▼ 22.9	▲ 32.7	27.4	▲ 58.3	1.8	12.5	-	-
	ひとり親	16	▼ 12.5	▼ 6.3	12.5	50.0	▲ 12.5	▲ 25.0	-	-
	中学2年生 ふたり親	290	▲ 45.9	14.8	12.8	▼ 20.7	1.4	▲ 29.7	-	0.3
	ひとり親	23	▲ 47.8	-	▼ 8.7	▼ 17.4	-	▲ 30.4	-	4.3

問22 お子さんは将来、現実的に見てどの学校まで進学すると思いますか。(ひとつだけ○)

- 【全体】**
 ○ 将来の進学予想について、「大学」が48.3%で最も多く、次いで「まだわからない」が21.8%、「高校」が16.4%となっています。
- 【子どもの学年別】**
 ○ 中学2年生は小学5年生より「高校」などが多く、「中学」「大学」「まだわからない」が少なくなっています。
- 【等価可処分所得別】**
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「高校」が多く、「大学」が少なくなる傾向がみられます。

【将来の進学予想】

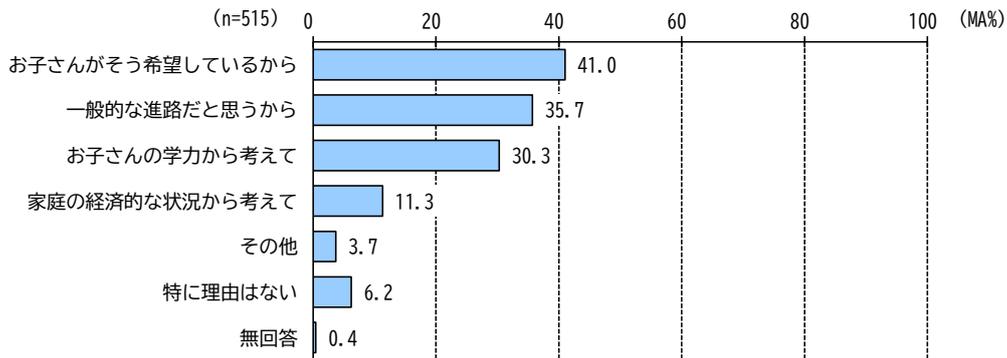


問22-1 問22で「1」～「6」と答えた方にお聞きします。

その理由は何ですか。(いくつでも○)

- 【全体】**
 ○ 進学予想の理由について、「お子さんがそう希望しているから」が41.0%で最も多く、次いで「一般的な進路だと思うから」が35.7%、「お子さんの学力から考えて」が30.3%となっています。
- 【子どもの学年別】**
 ○ 小学5年生は「一般的な進路だと思うから」が40.4%と最も多く、中学2年生は「お子さんがそう希望しているから」が50.6%と最も多くなっています。
- 【等価可処分所得別】**
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「家庭の経済的な状況から考えて」が他の区分に比べて多くなっています。

【進学予想の理由】



単位：%

	母数 (n)	進学予想の理由							
		いそお るう子 か希 さん しが て	思進一 う路般 かだ らとな	学お 力子 か さん 考 え て	状家 況庭 か ら 考 え て な	そ の 他	理特 由に は な い	無 回 答	
全体	515	41.0	35.7	30.3	11.3	3.7	6.2	0.4	
学も子 年のど	小学5年生	270	32.2	40.4	31.5	9.6	4.1	8.5	0.4
	中学2年生	245	50.6	30.6	29.0	13.1	3.3	3.7	0.4
等 所 得 可 別 処 分	小学5年生 中央値以上	143	31.5	△ 50.3	30.8	7.7	1.4	9.1	-
	中央値の2分の1以上中央値未満	97	36.1	32.0	32.0	8.2	6.2	7.2	-
	中央値の2分の1未満	22	▼ 27.3	▼ 9.1	31.8	△ 31.8	13.6	9.1	-
	中学2年生 中央値以上	119	△ 52.9	32.8	37.0	8.4	2.5	2.5	0.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	101	△ 51.5	30.7	22.8	12.9	4.0	4.0	-
中央値の2分の1未満	21	▼ 28.6	▼ 19.0	▼ 19.0	△ 42.9	4.8	9.5	-	
状 況 別 保 護 者 の	小学5年生 ふたり親	256	32.4	42.2	31.6	8.2	3.5	8.6	-
	ひとり親	13	▼ 30.8	▼ 7.7	30.8	△ 38.5	△ 15.4	7.7	-
	中学2年生 ふたり親	229	△ 51.1	31.0	30.1	12.2	3.1	3.1	0.4
	ひとり親	16	43.8	▼ 25.0	▼ 12.5	△ 25.0	6.3	12.5	-

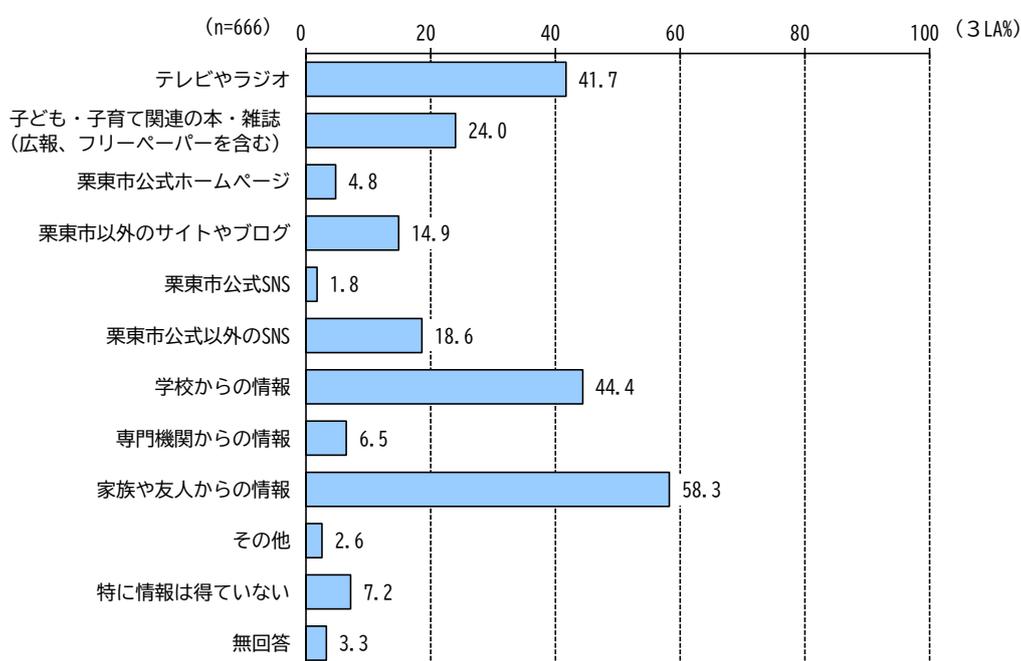
(5) 情報収集と支援制度の利用について

問23 あなたは子どもや子育てに関する様々な情報をどのように得ることが多いですか。

(3つまで○)

<p>【全体】</p> <p>○ 子育て等に関する情報の入所方法について、「家族や友人からの情報」が 58.3%で最も多く、次いで「学校からの情報」が 44.4%、「テレビやラジオ」が 41.7%となっています。</p> <p>【子どもの学年別】</p> <p>○ 「テレビやラジオ」は中学2年生が 45.0%と小学5年生の 38.8%より多くなっています。</p> <p>○ 「栗東市公式以外の SNS」は小学5年生が 21.2%と中学2年生の 15.7%より多くなっています。</p> <p>【等価可処分所得別】</p> <p>○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「テレビやラジオ」が最も多く、同じ学年の他の区分に比べても多くなっています。また、「栗東市公式ホームページ」も同じ学年の他の区分に比べて多くなっています。</p>

【子育て等に関する情報の入所方法】



単位：％

	母数 (n)	子育て等に関する情報の入所方法						
		テレビ やラジオ	子ども ・子育て 関連の フリー ペーパー を含む	公 式 ホ ム ペ ー ジ	サ イ ト や プ ロ グ	栗 東 市 公 式 S N S	S N S 栗 東 市 公 式 以 外 の	
全体	666	41.7	24.0	4.8	14.9	1.8	18.6	
別 学も子 年のど	小学5年生	353	38.8	24.4	4.0	14.4	2.8	21.2
	中学2年生	313	45.0	23.6	5.8	15.3	0.6	15.7
等 価 可 別 処 分	小学5年生 中央値以上	176	36.4	22.7	4.0	21.0	3.4	22.2
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	38.2	26.0	3.1	8.4	3.1	21.4
	中央値の2分の1未満	33	△ 57.6	27.3	9.1	▼ 3.0	-	12.1
	中学2年生 中央値以上	147	48.3	25.9	4.1	15.0	0.7	16.3
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	40.5	23.7	5.3	15.3	0.8	16.0
	中央値の2分の1未満	28	50.0	17.9	△ 17.9	10.7	-	10.7
状 況 別 保 護 者 の 婚 姻	小学5年生 ふたり親	336	38.1	25.0	3.3	14.9	3.0	22.3
	ひとり親	16	△ 56.3	▼ 12.5	△ 18.8	6.3	-	-
	中学2年生 ふたり親	290	45.5	22.4	5.2	15.9	0.7	16.2
	ひとり親	23	39.1	△ 39.1	13.0	8.7	-	8.7

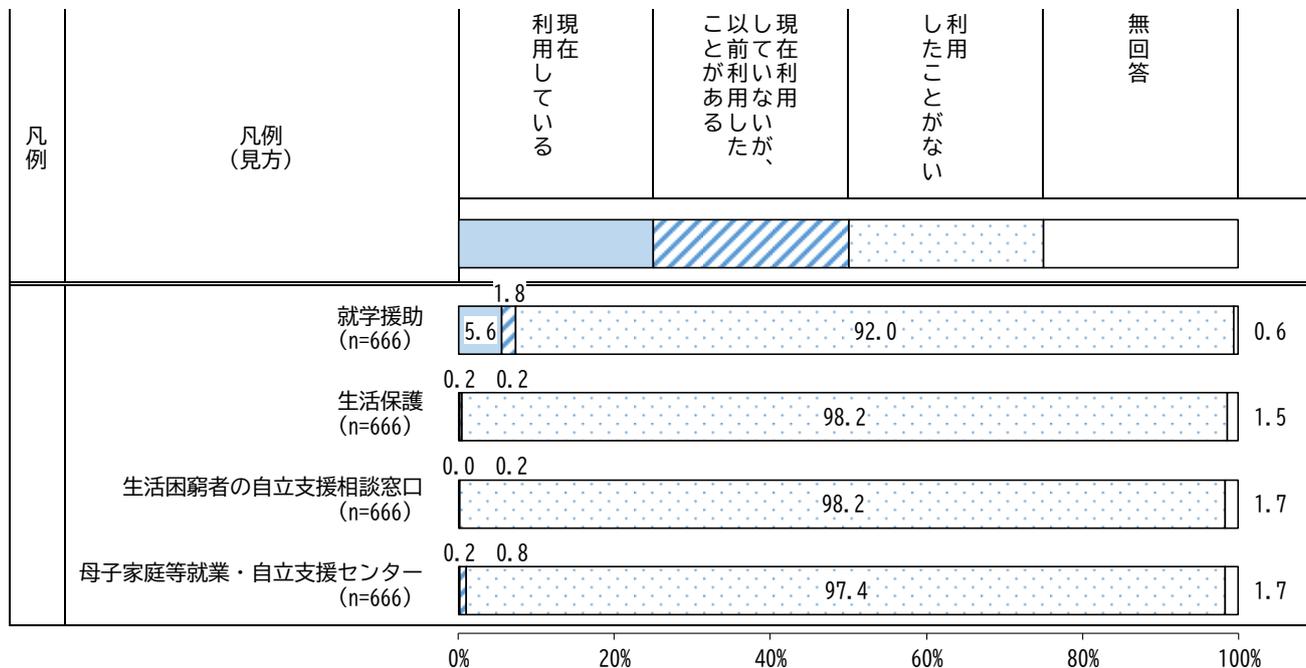
単位：％

	母数 (n)	子育て等に関する情報の入所方法						
		学 校 か ら の 情 報	情 報 機 関 か ら の 専 門 情 報	情 報 家 族 や 友 人 か ら の	そ の 他	得 て い 情 報 は	無 回 答	
全体	666	44.4	6.5	58.3	2.6	7.2	3.3	
別 学も子 年のど	小学5年生	353	44.2	5.4	58.6	3.1	8.2	4.5
	中学2年生	313	44.7	7.7	57.8	1.9	6.1	1.9
等 価 可 別 処 分	小学5年生 中央値以上	176	40.9	6.3	62.5	3.4	6.8	4.5
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	48.1	6.1	54.2	3.1	9.9	4.6
	中央値の2分の1未満	33	48.5	-	54.5	-	6.1	6.1
	中学2年生 中央値以上	147	46.3	8.2	60.5	2.0	5.4	2.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	45.0	7.6	55.7	0.8	8.4	1.5
	中央値の2分の1未満	28	35.7	7.1	▼ 46.4	3.6	-	3.6
状 況 別 保 護 者 の 婚 姻	小学5年生 ふたり親	336	43.2	5.7	59.2	3.3	8.0	4.2
	ひとり親	16	△ 62.5	-	50.0	-	12.5	12.5
	中学2年生 ふたり親	290	45.2	7.6	55.9	2.1	6.6	1.7
	ひとり親	23	39.1	8.7	△ 82.6	-	-	4.3

問24 あなたのご家庭では、次の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「3. 利用したことがない」と答えた場合、その理由は何ですか。

【全体】
○ 就学援助は「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」をあわせた“利用経験がある人”が7.4%で他の支援に比べて多くなっています。

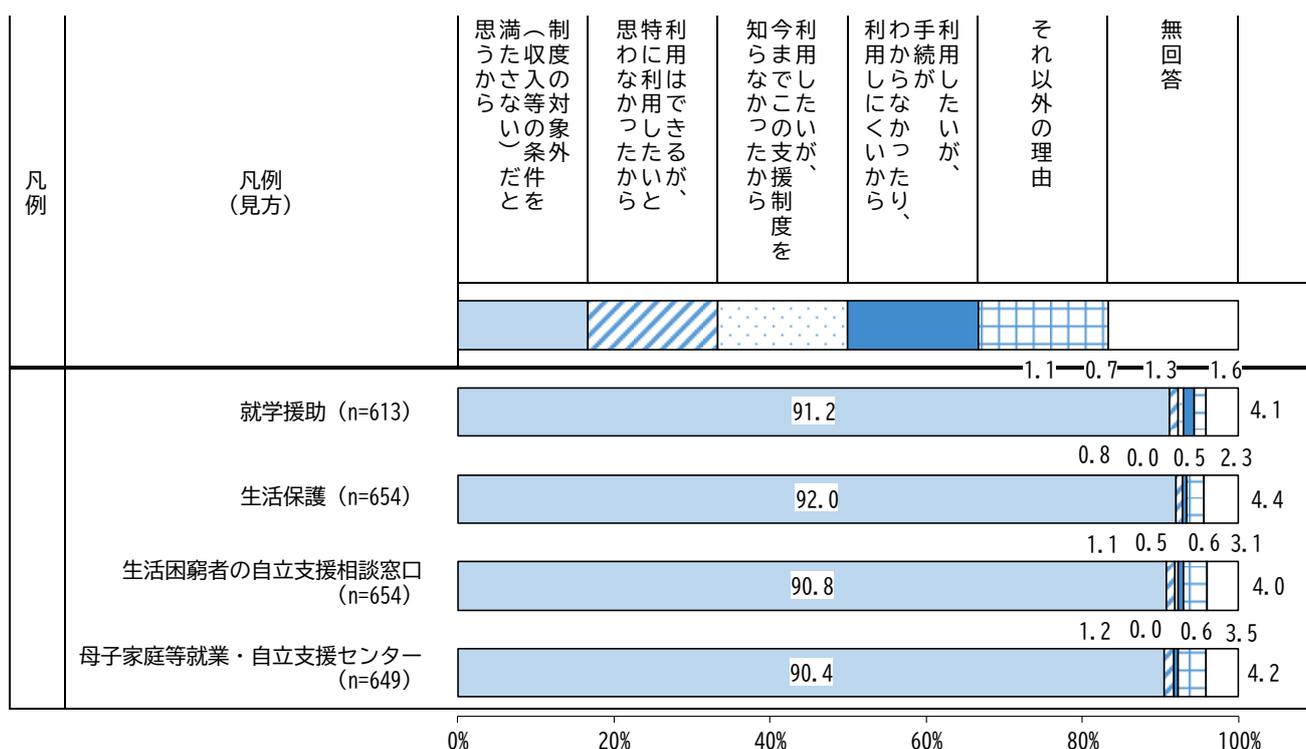
【支援制度の利用状況】



【利用したことがない理由】

【全体】
○ 大きな差はみられません。

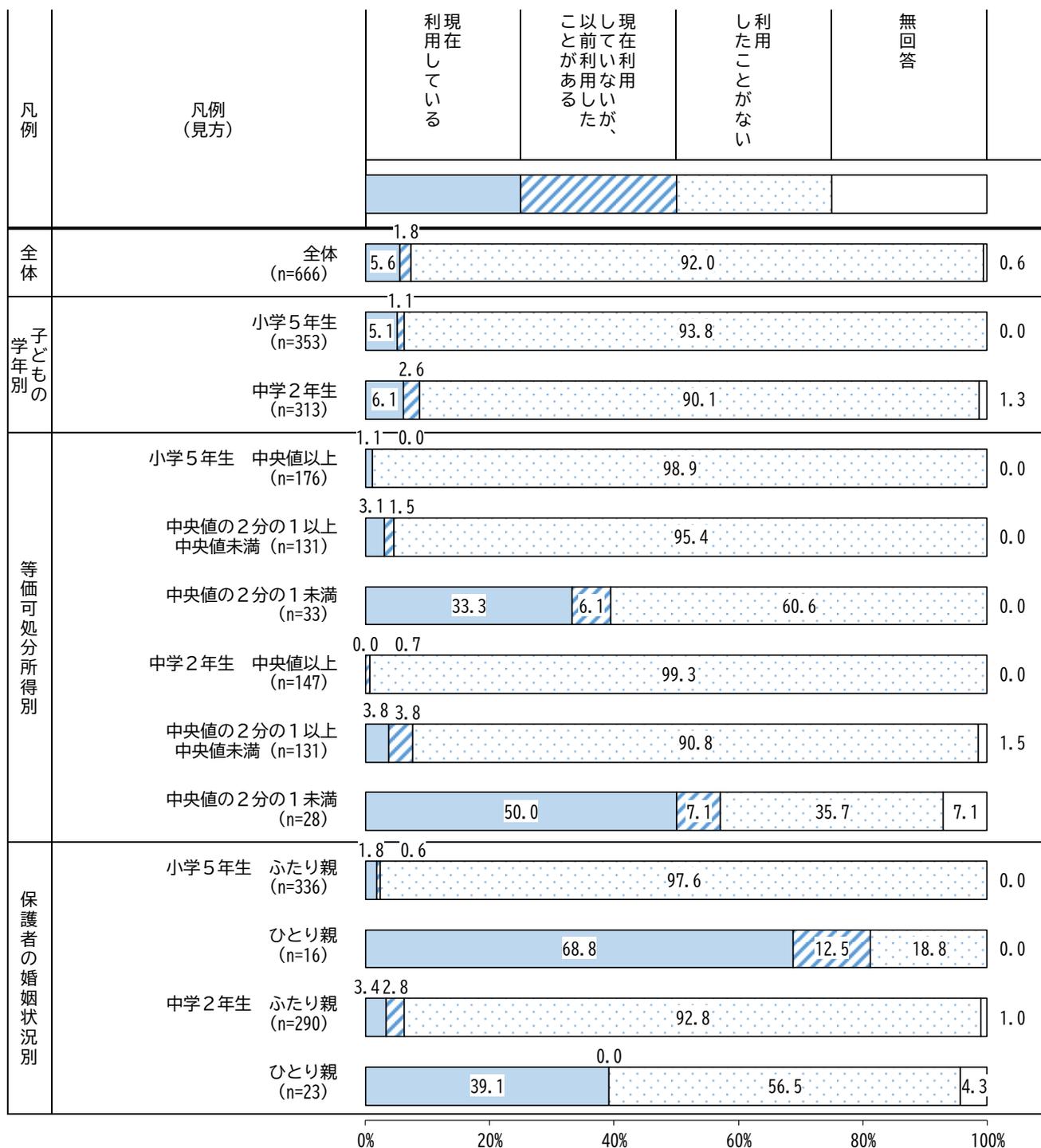
【制度を利用したことがない理由】



問24 (1) 就学援助

- 【全体】**
- 就学援助の利用状況について、「利用したことがない」が92.0%で最も多く、次いで「現在利用している」が5.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.8%となっています。
 - 「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」をあわせた“利用経験がある人”は7.4%となっています。
- 【子どもの学年別】**
- “利用経験がある人”は小学5年生で6.2%、中学2年生で8.7%となっています。
- 【等価可処分所得別】**
- 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」が多くなっています。
 - 中学2年生 中央値の2分の1未満は“利用経験がある人”が57.1%と特に多くなっています。

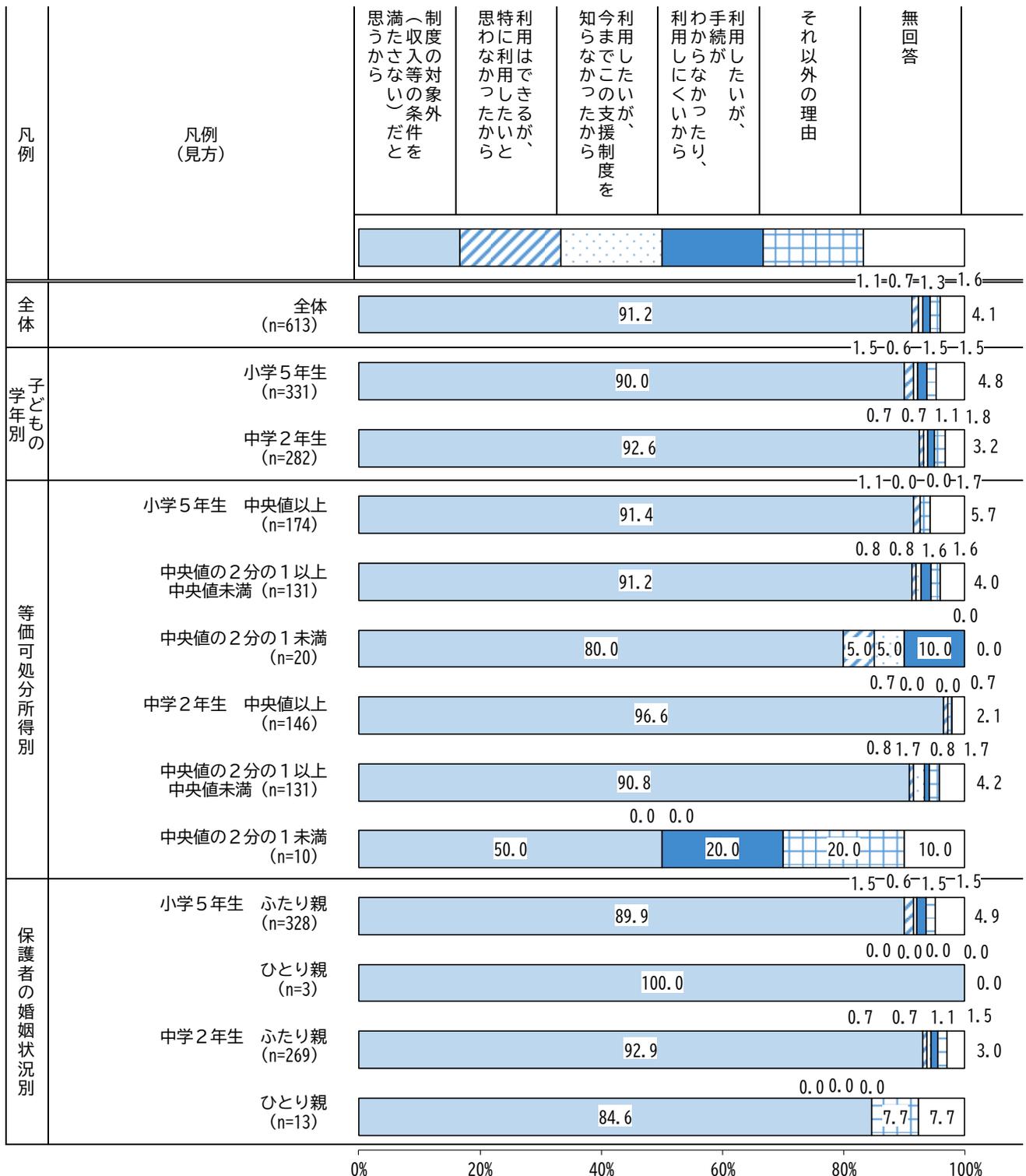
【就学援助の利用状況】



問24 (1) 就学援助【利用したことがない理由】

- 【全体】**
 ○ 就学援助の利用がない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思
 うから」が91.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.6%、「利用したいが、手続
 がわからなかったり、利用しにくいから」が1.3%となっています。
- 【子どもの学年別】**
 ○ 「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」は中学2年生が92.6%と小
 学5年生の90.0%よりやや多くなっています。
- 【等価可処分所得別】**
 ○ 「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」は小学5年生 中央値の
 2分の1未満で10.0%、中学2年生 中央値の2分の1未満が20.0%と他の区分に比べて
 多くなっています。

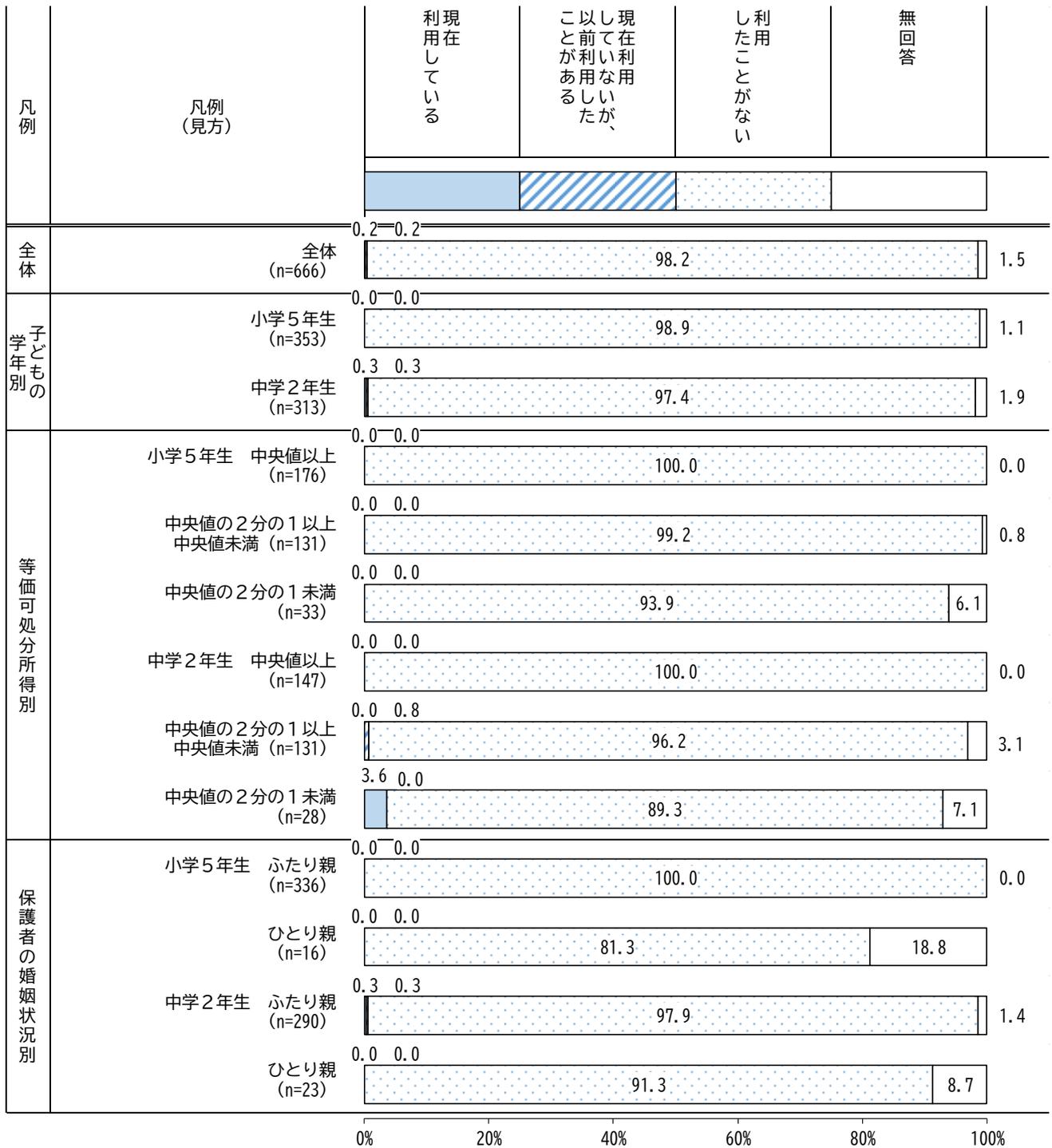
【就学援助の利用がない理由】



問24 (2) 生活保護

- 【全体】
 ○ 生活保護の利用状況について、「利用したことがない」が 98.2%で最も多く、次いで「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.2%となっています。
- 【子どもの学年別】
 ○ 大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】
 ○ 中学2年生 中央値の2分の1未満は「現在利用している」が 3.6%で他の区分に比べて多くなっています。

【生活保護の利用状況】



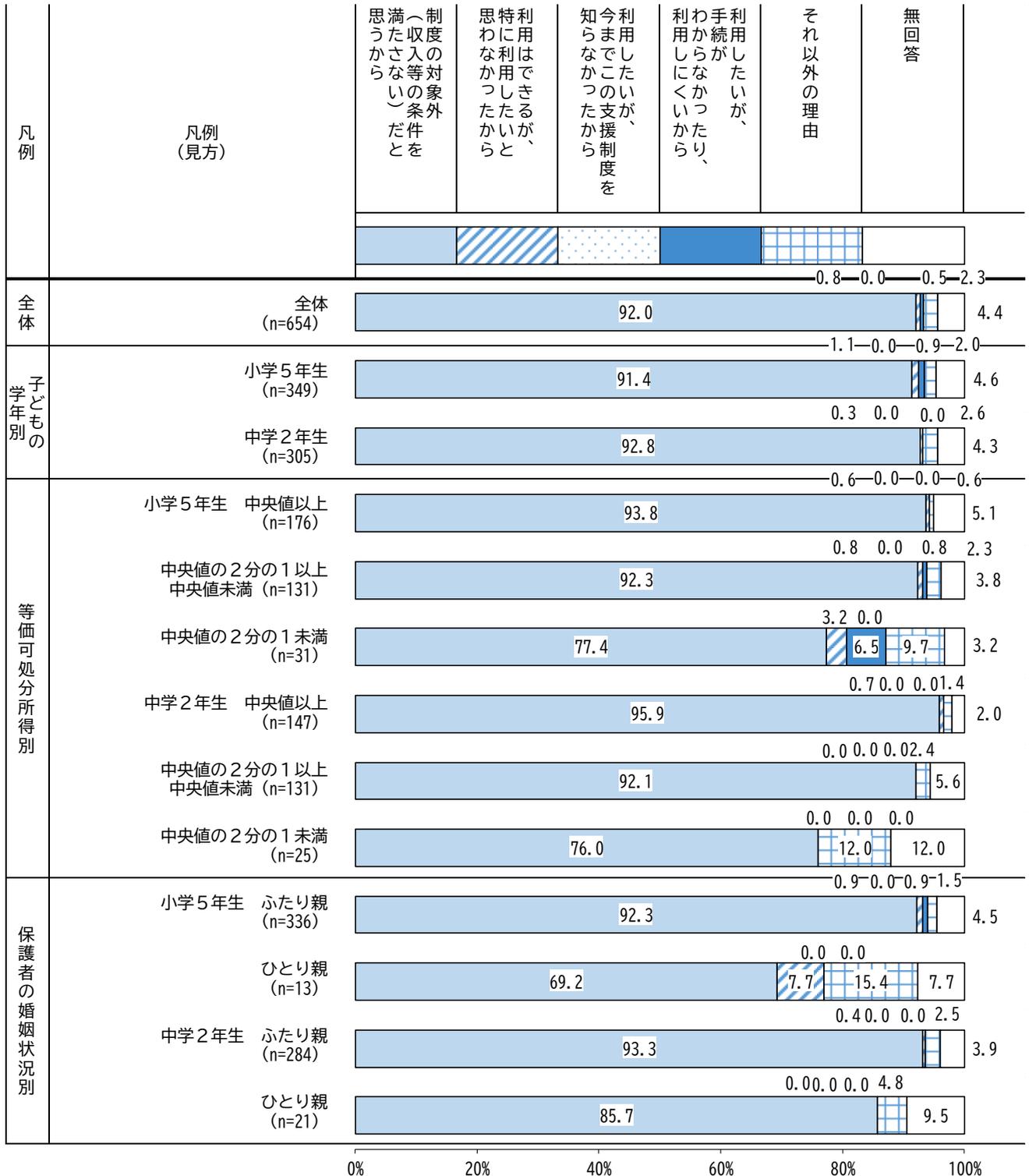
問24 (2) 生活保護【利用したことがない理由】

【全体】
 ○ 生活保護の利用がない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思
 うから」が92.0%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.3%、「利用はできるが、特
 に利用したいと思わなかったから」が0.8%となっています。

【子どもの学年別】
 ○ 大きな差はみられません。

【等価可処分所得別】
 ○ 「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」は小学5年生 中央値の
 2分の1未満で6.5%みられます。

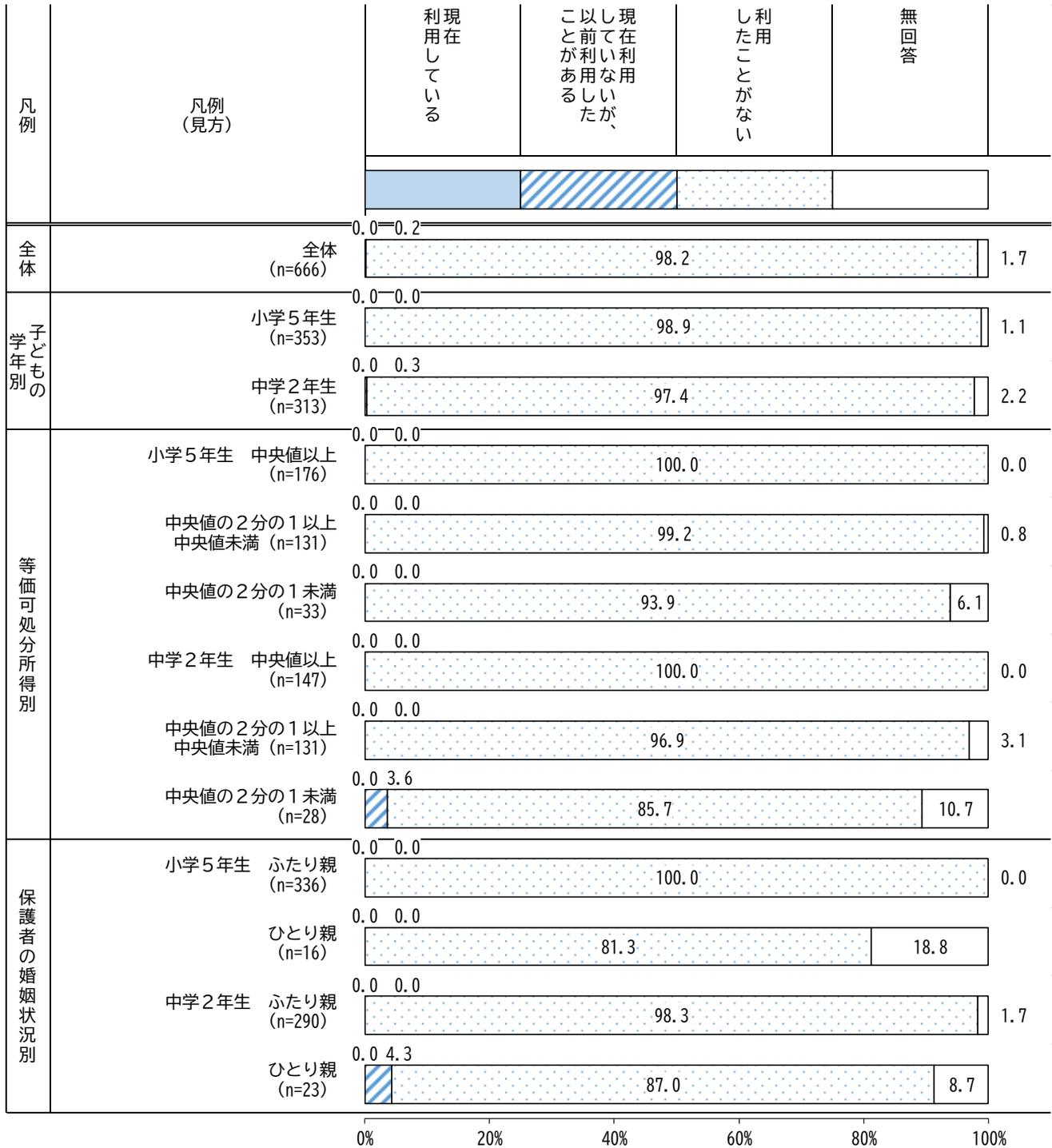
【生活保護の利用がない理由】



問24 (3) 生活困窮者の自立支援相談窓口

- 【全体】
 ○ 生活困窮者自立支援相談の利用状況について、「利用したことがない」が 98.2%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.2%となっています。
- 【子どもの学年別】
 ○ 大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】
 ○ 中学2年生 中央値の2分の1未満は「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.6%となっています。

【生活困窮者自立支援相談の利用状況】



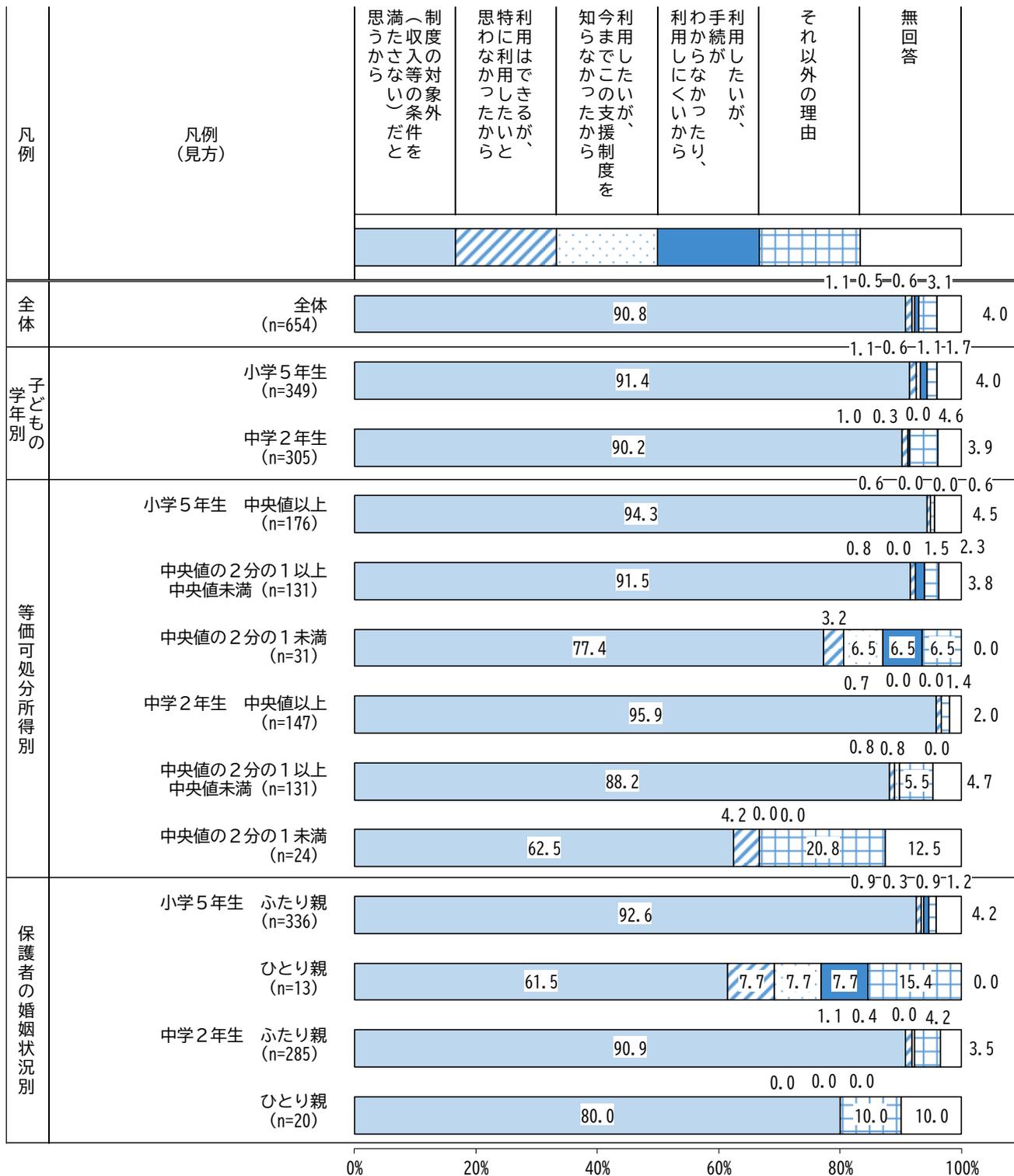
問24 (3) 生活困窮者の自立支援相談窓口【利用したことがない理由】

【全体】
 ○ 生活困窮者自立支援相談の利用がない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が90.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.1%となっています。

【子どもの学年別】
 ○ 「それ以外の理由」は中学2年生が4.6%と小学5年生の1.7%よりやや多くなっています。

【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生 中央値の2分の1未満は「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が6.5%みられます。

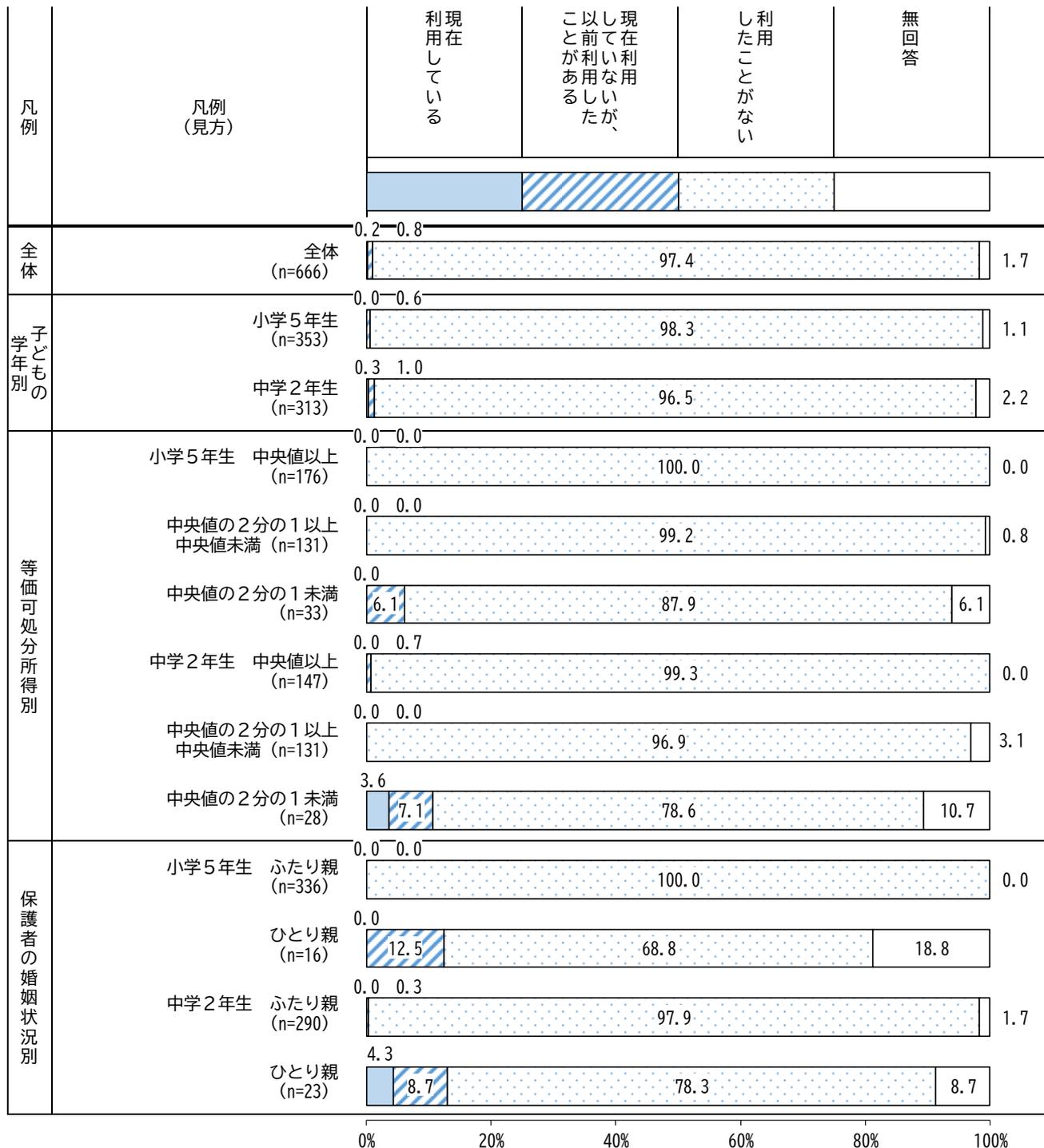
【生活困窮者自立支援相談の利用がない理由】



問24 (4) 母子家庭等就業・自立支援センター

- 【全体】
- 母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況について、「利用したことがない」が97.4%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.8%、「現在利用している」が0.2%となっています。
 - 「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」をあわせた“利用経験がある人”は1.0%となっています。
- 【等価可処分所得別】
- “利用経験がある人”は、小学5年生 中央値の2分の1未満で6.1%、中学2年生 中央値の2分の1未満で10.7%となっています。

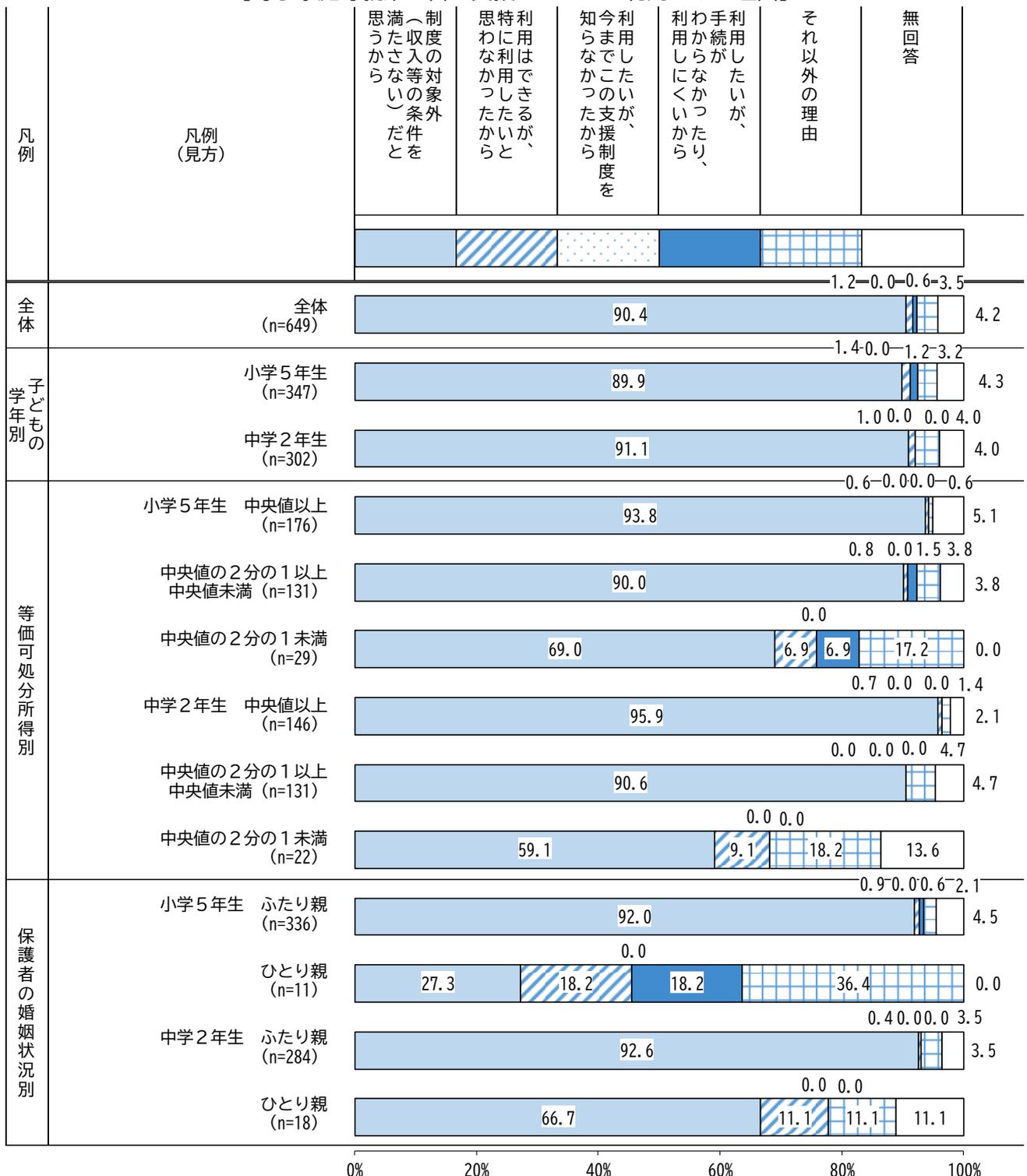
【母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況】



問24 (4) 母子家庭等就業・自立支援センター【利用したことがない理由】

- 【全体】
- 母子家庭等就業・自立支援センターの利用がない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が90.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.2%となっています。
- 【子どもの学年別】
- 大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】
- 「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」は小学5年生 中央値の2分の1未満が6.9%、中学2年生 中央値の2分の1未満が9.1%となっています。
 - 「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」は小学5年生 中央値の2分の1未満で6.9%みられます。

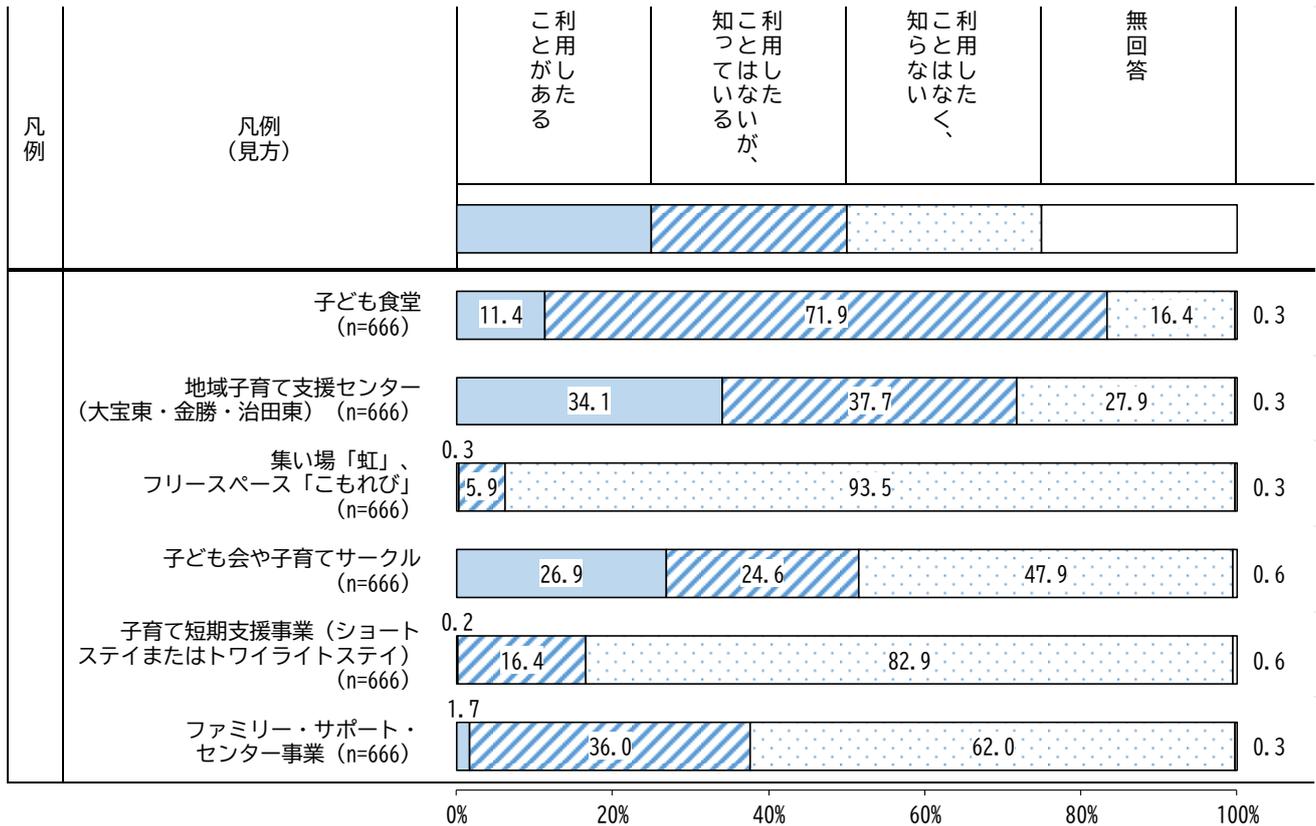
【母子家庭等就業・自立支援センターの利用がない理由】



問25 次の支援制度などを利用したことはありますか。またそれらの支援制度などを知っていますか。

- 【全体】
- 「利用したことがある」は地域子育て支援センター（大宝東・金勝・治田東）で 34.1%、子ども会や子育てサークルで 26.9%と多くなっています。
 - 「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」をあわせた“知っている人”は子ども食堂で 83.3%、地域子育て支援センター（大宝東・金勝・治田東）で 71.8%と多くなっています。

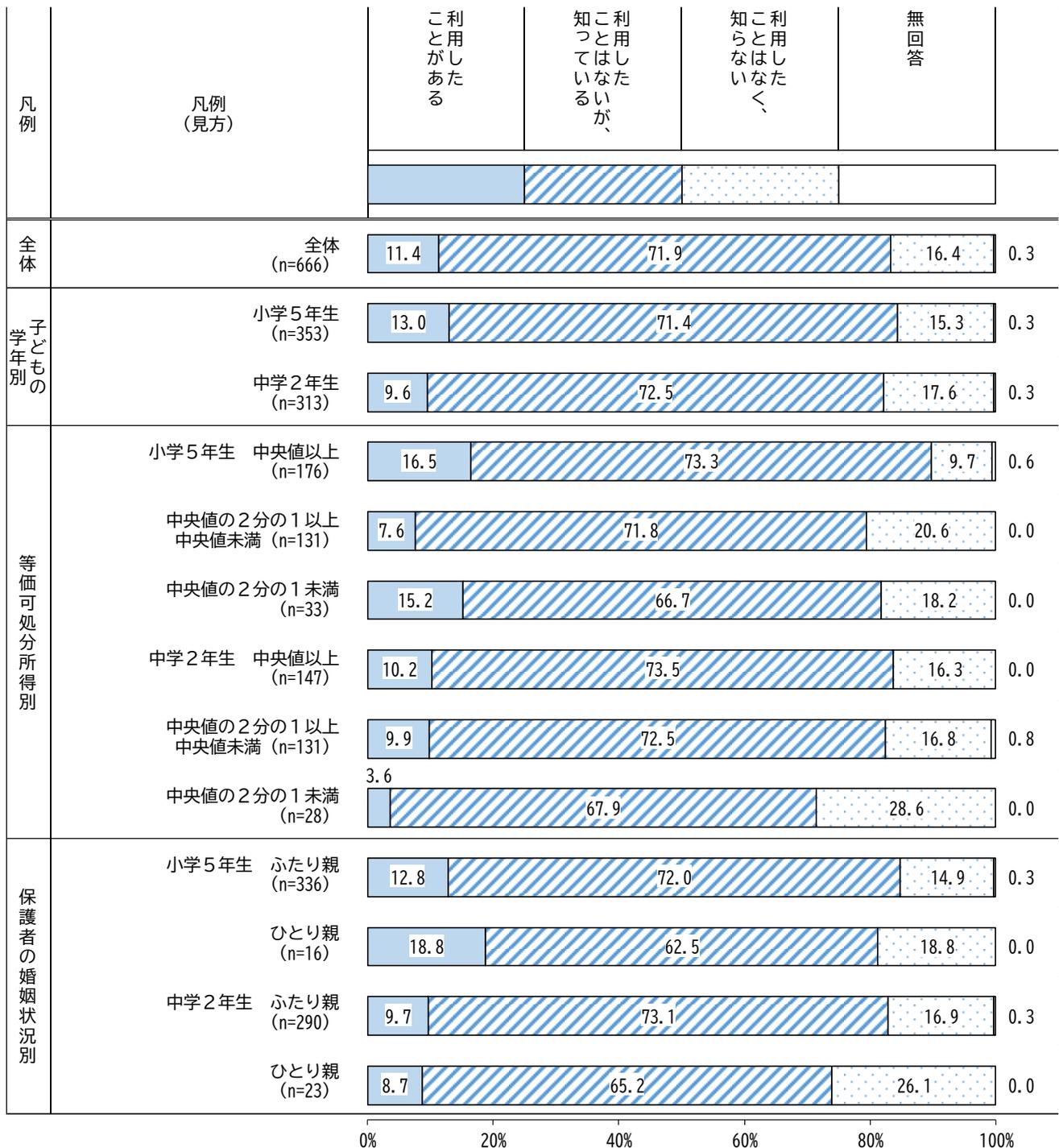
【支援制度などの利用状況】



問25 (1) 子ども食堂

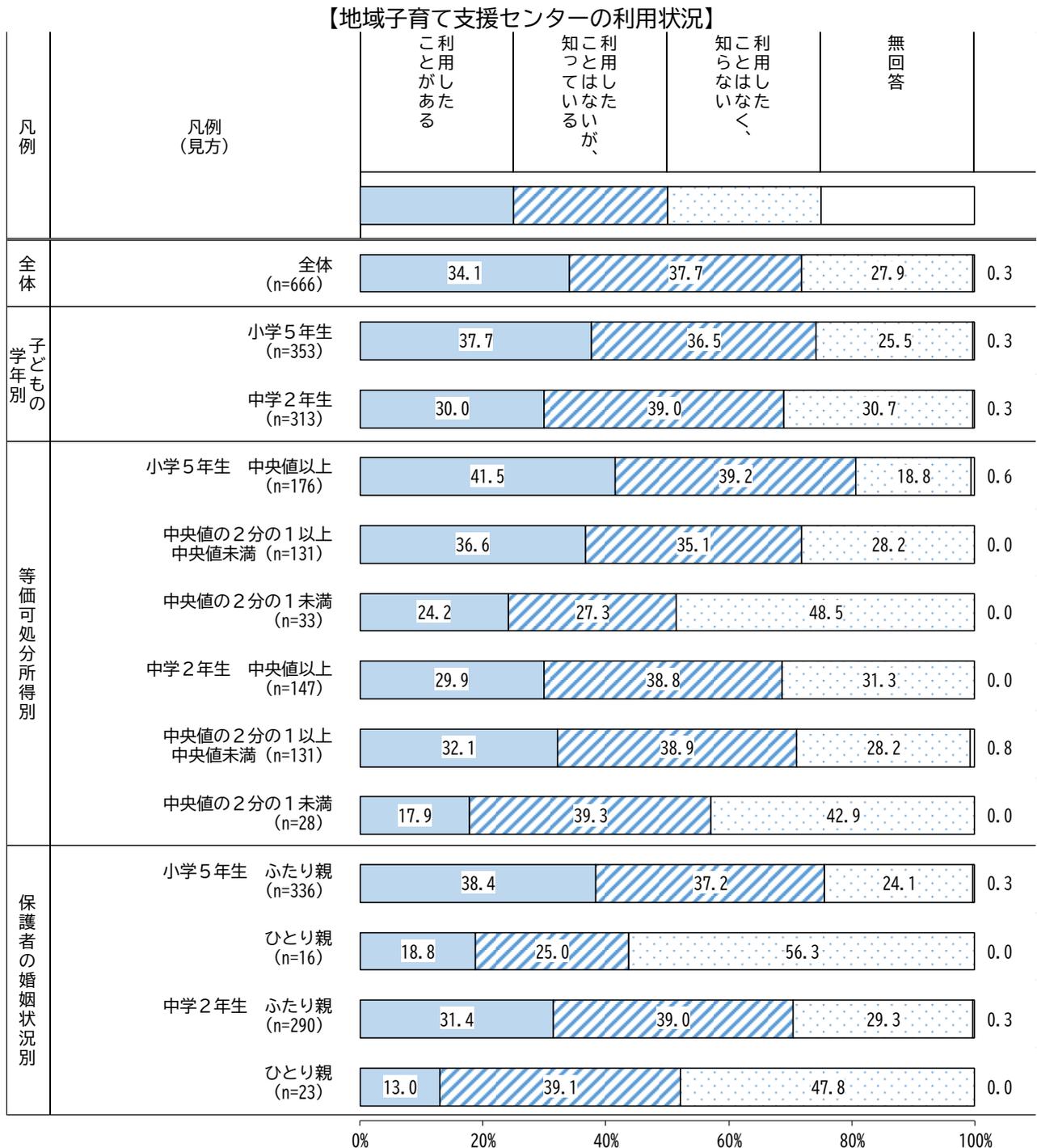
- 【全体】**
- 子ども食堂の利用状況について、「利用したことはないが、知っている」が71.9%で最も多く、次いで「利用したことはなく、知らない」が16.4%、「利用したことがある」が11.4%となっています。
 - 「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」をあわせた“知っている人”は83.3%となっています。
- 【子どもの学年別】**
- 「利用したことがある」は小学5年生が13.0%と中学2年生の9.6%よりやや多くなっています。
- 【等価可処分所得別】**
- 小学5年生、中学2年生ともに中央値以上と比べて中央値の2分の1未満は「利用したことがある」が少なく、「利用したことはなく、知らない」が多くなっています。

【子ども食堂の利用状況】



問25 (2) 地域子育て支援センター (大宝東・金勝・治田東)

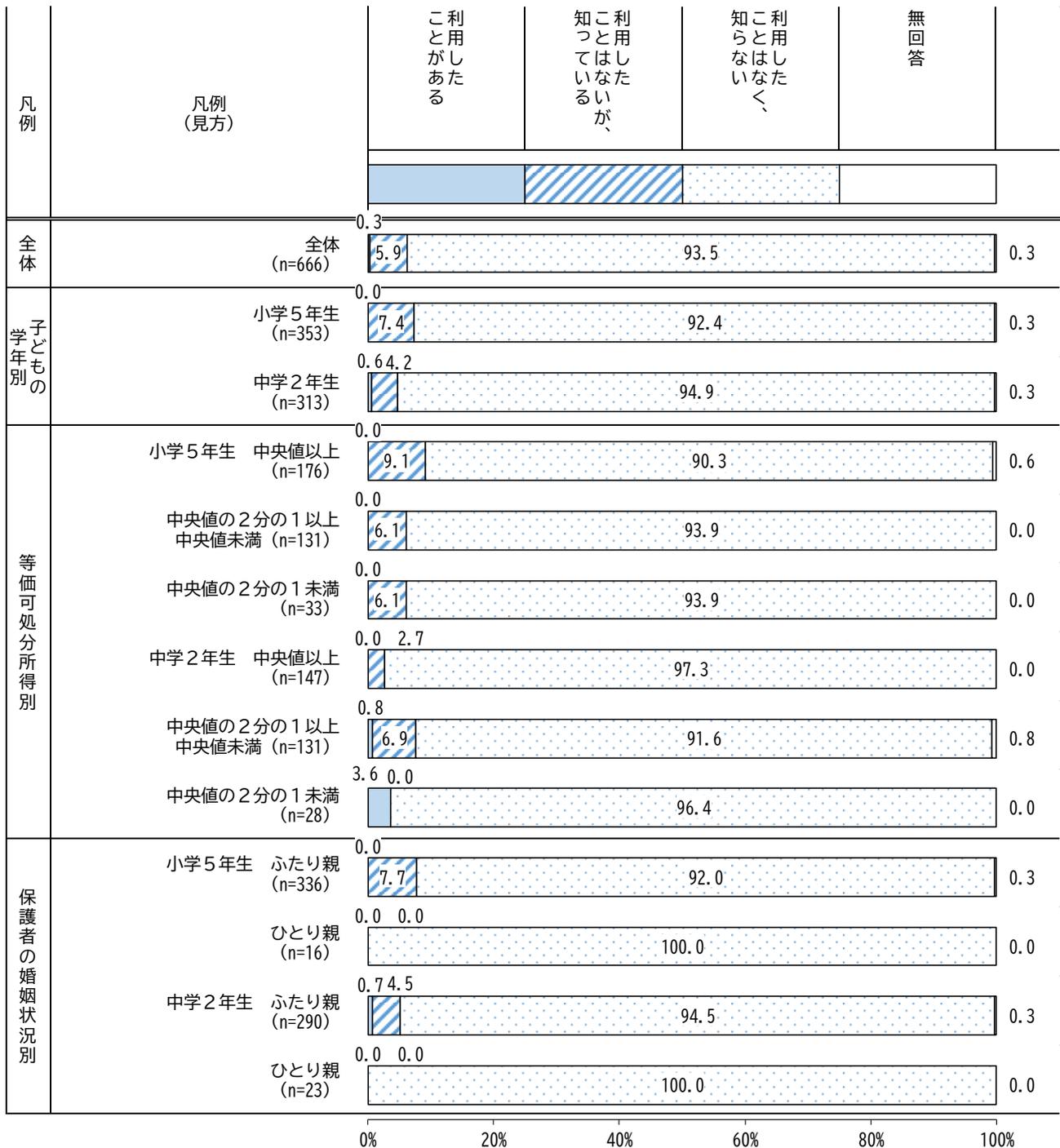
- 【全体】**
- 地域子育て支援センターの利用状況について、「利用したことはないが、知っている」が37.7%で最も多く、次いで「利用したことがある」が34.1%、「利用したことはなく、知らない」が27.9%となっています。
 - 「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」をあわせた“知っている人”は71.8%となっています。
- 【子どもの学年別】**
- 「利用したことがある」は小学5年生が37.7%と中学2年生の30.0%より多くなっている一方、「利用したことはなく、知らない」は中学2年生が30.7%と小学5年生の25.5%より多くなっています。
- 【等価可処分所得別】**
- 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「利用したことはなく、知らない」が他の区分に比べて多くなっています。



問25 (3) 集い場「虹」、フリースペース「こもれび」

- 【全体】**
- 集い場「虹」、フリースペース「こもれび」の利用状況について、「利用したことはなく、知らない」が 93.5%で最も多く、次いで「利用したことはないが、知っている」が 5.9%、「利用したことがある」が 0.3%となっています。
 - 「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」をあわせた“知っている人”は 6.2%となっています。
- 【子どもの学年別】**
- “知っている人”は、小学5年生で 7.4%、中学2年生で 4.8%となっています。
- 【等価可処分所得別】**
- 「利用したことがある」は中学2年生 中央値の2分の1未満で 3.6%と他の区分に比べてやや多くなっています。

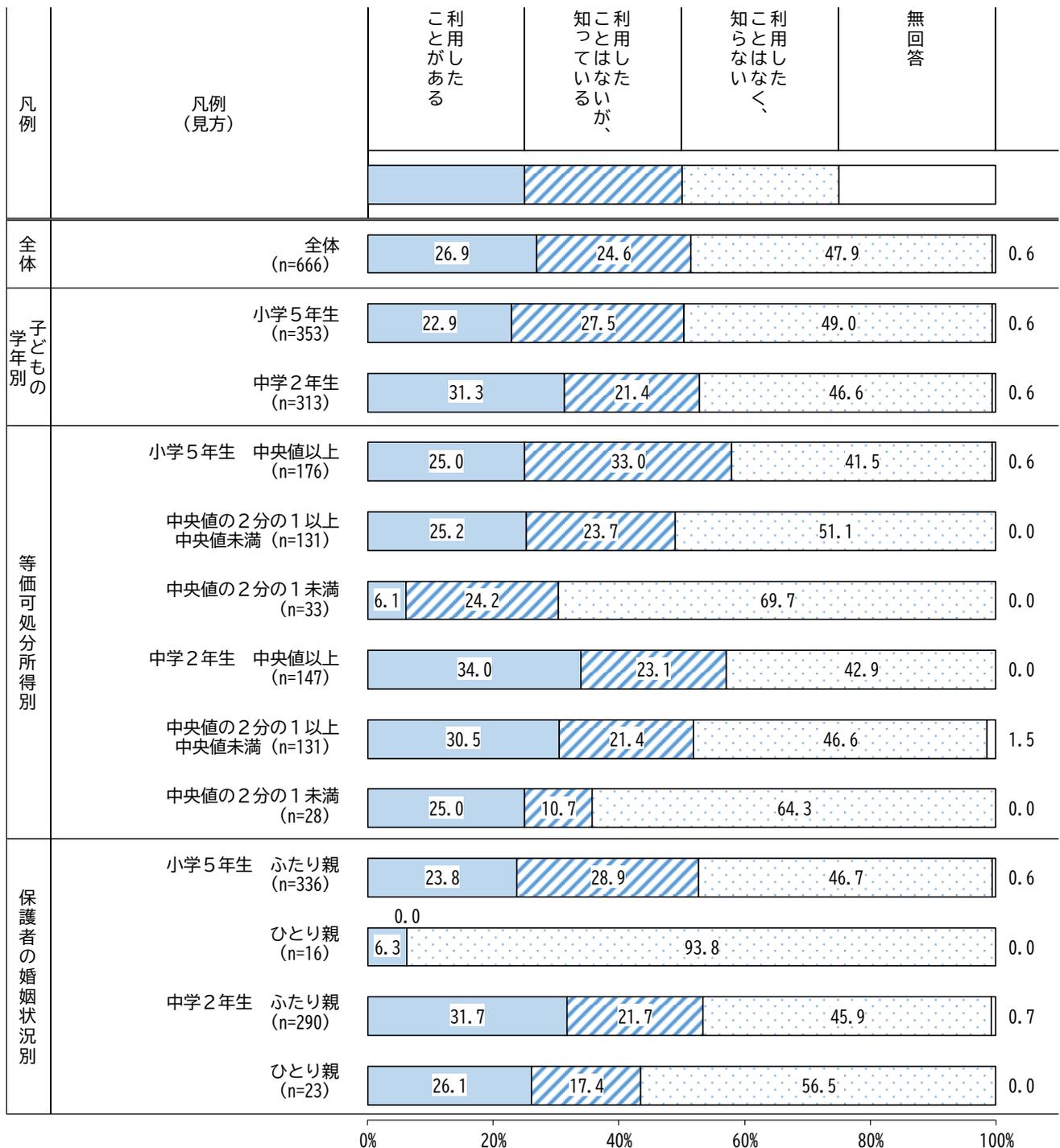
【集い場「虹」、フリースペース「こもれび」の利用状況】



問25 (4) 子ども会や子育てサークル

- 【全体】**
- 子ども会等の利用状況について、「利用したことはなく、知らない」が47.9%で最も多く、次いで「利用したことがある」が26.9%、「利用したことはないが、知っている」が24.6%となっています。
 - 「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」をあわせた“知っている人”は51.5%となっています。
- 【子どもの学年別】**
- 「利用したことがある」は中学2年生が31.3%と小学5年生の22.9%より多くなっています。
- 【等価可処分所得別】**
- 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「利用したことがある」が他の区分に比べて少なくなっています。

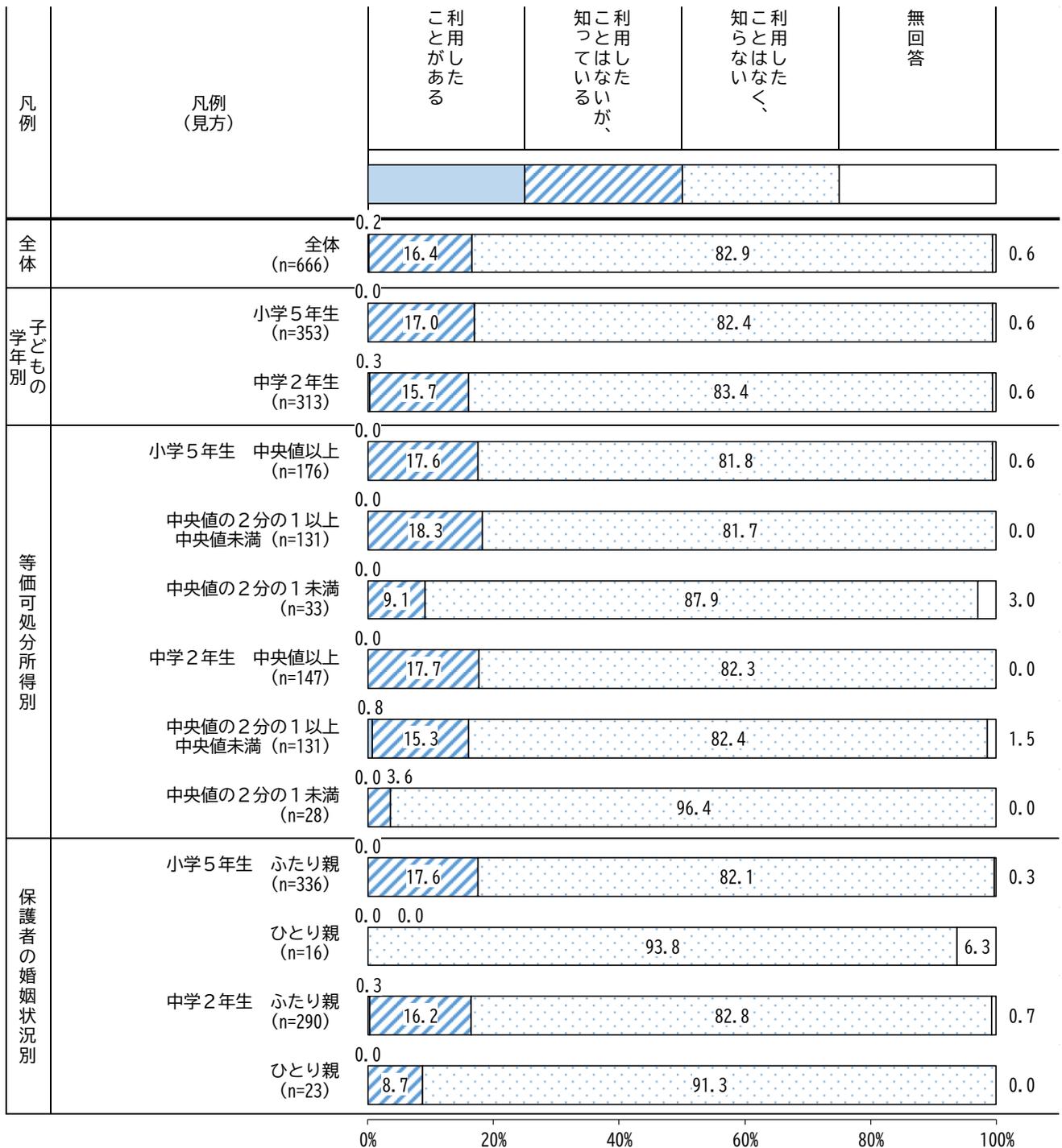
【子ども会等の利用状況】



問25 (5) 子育て短期支援事業（ショートステイまたはトワイライトステイ）

- 【全体】
- 子育て短期支援事業の利用状況について、「利用したことはなく、知らない」が82.9%で最も多く、次いで「利用したことはないが、知っている」が16.4%、「利用したことがある」が0.2%となっています。
 - 「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」をあわせた“知っている人”は16.6%となっています。
- 【子どもの学年別】
- 大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】
- 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「利用したことはないが、知っている」が他の区分に比べて少なくなっています。

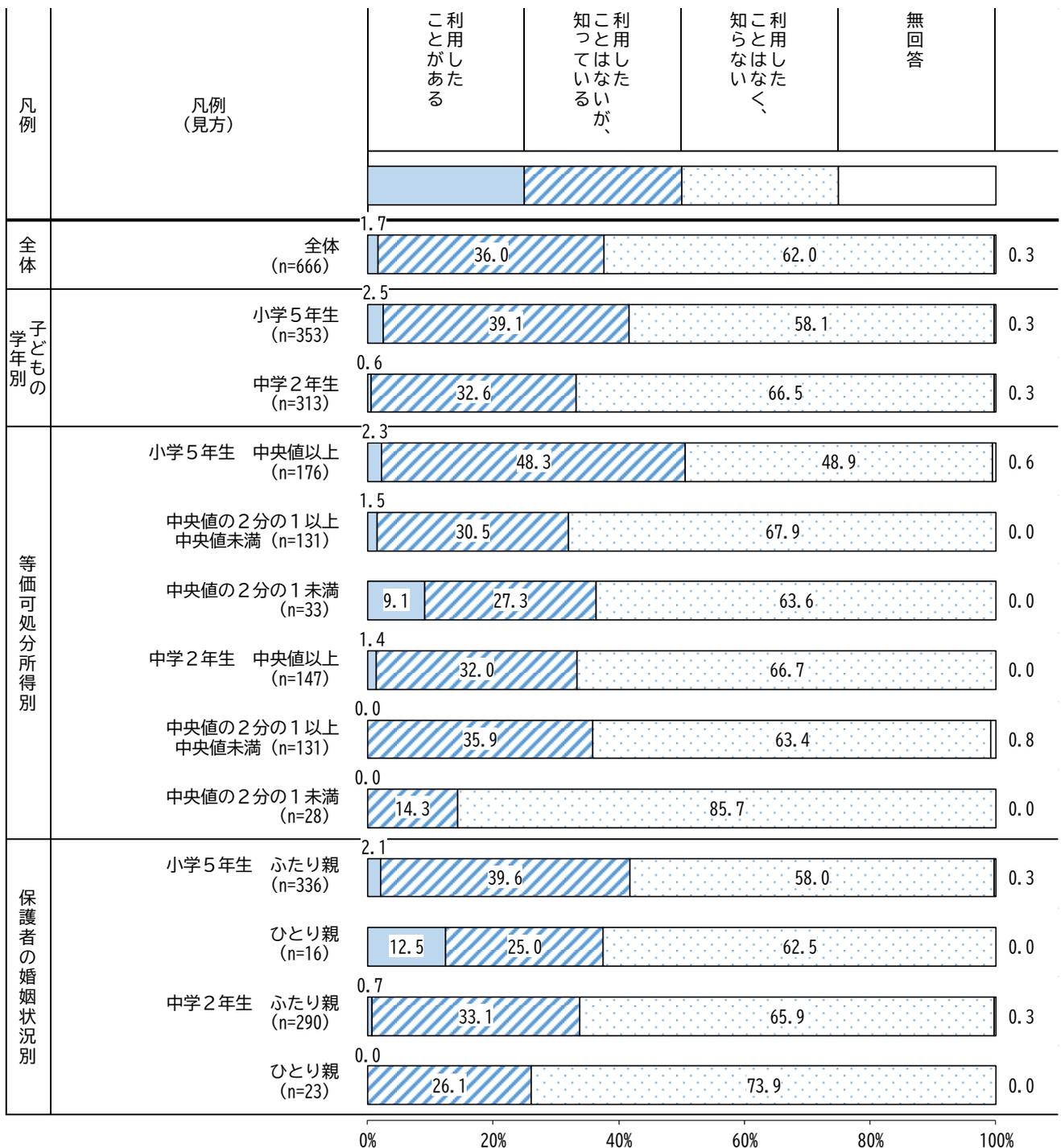
【子育て短期支援事業の利用状況】



問25 (6) ファミリー・サポート・センター事業

- 【全体】
- ファミリー・サポート・センター事業の利用状況について、「利用したことはなく、知らない」が 62.0%で最も多く、次いで「利用したことはないが、知っている」が 36.0%、「利用したことがある」が 1.7%となっています。
 - 「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」をあわせた“知っている人”は 37.7%となっています。
- 【子どもの学年別】
- “知っている人”は小学5年生が 41.6%と中学2年生の 33.2%より多くなっています。
- 【等価可処分所得別】
- 「利用したことがある」は小学5年生 中央値の2分の1未満が 9.1%と他の区分に比べて多くなっています。
 - “知っている人”は小学5年生 中央値以上が 50.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【ファミリー・サポート・センター事業の利用状況】



(6) 保護者の方の心理状態について

問26 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(ひとつだけ○)

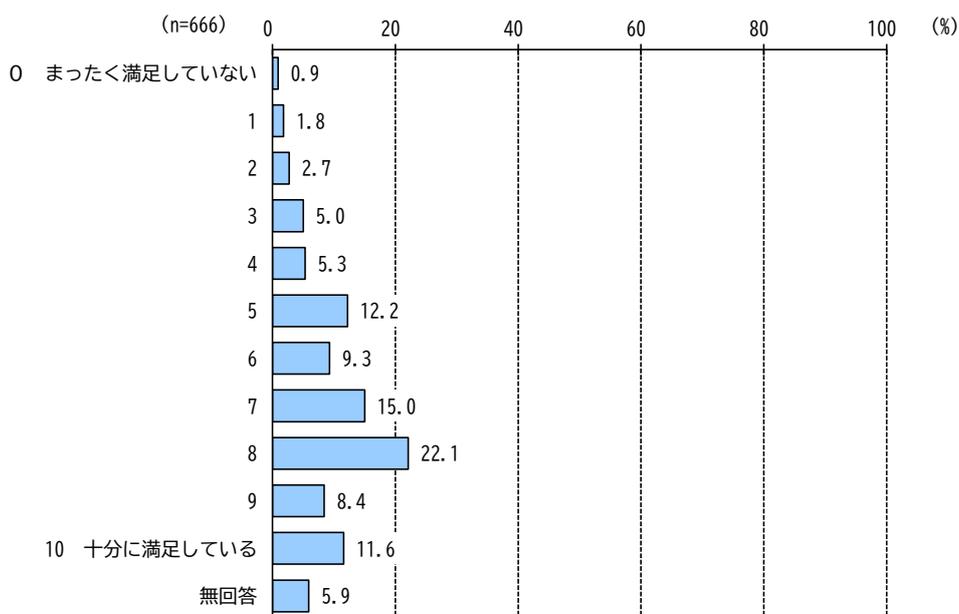
【全体】

- 最近の生活の満足度について、「8」が22.1%で最も多く、次いで「7」が15.0%、「5」が12.2%となっています。

【等価可処分所得別】

- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど生活の満足度が低くなる傾向がみられます。

【最近の生活の満足度】



単位：％

		母数 (n)	最近の生活の満足度					
			満 足 し て い な い	0	1	2	3	4
全体		666	0.9	1.8	2.7	5.0	5.3	12.2
別 学も子 年のど	小学5年生	353	1.1	1.1	2.3	4.5	4.8	12.2
	中学2年生	313	0.6	2.6	3.2	5.4	5.8	12.1
等 価 可 別 処 分	小学5年生 中央値以上	176	-	-	-	3.4	3.4	8.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	-	2.3	3.1	5.3	6.1	16.0
	中央値の2分の1未満	33	9.1	-	6.1	6.1	6.1	18.2
	中学2年生 中央値以上	147	-	1.4	0.7	2.0	2.7	11.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	0.8	3.1	5.3	6.9	7.6	13.0
	中央値の2分の1未満	28	3.6	7.1	7.1	△ 17.9	10.7	14.3
状 況 別 保 護 者 の	小学5年生 ふたり親	336	0.9	1.2	1.5	4.2	4.8	11.9
	ひとり親	16	6.3	-	12.5	12.5	6.3	18.8
	中学2年生 ふたり親	290	0.7	2.4	3.1	4.5	5.2	11.4
	ひとり親	23	-	4.3	4.3	△ 17.4	13.0	21.7

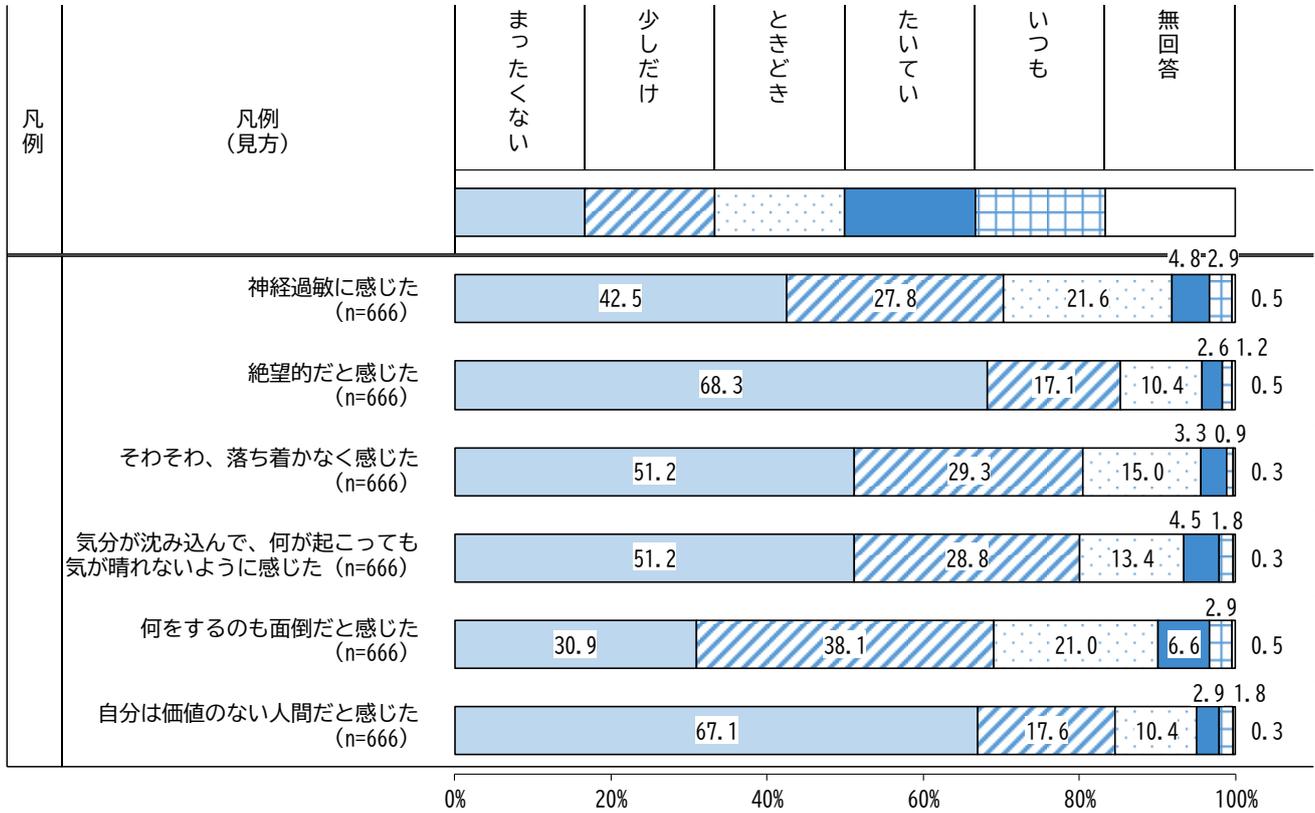
単位：％

		母数 (n)	最近の生活の満足度					
			6	7	8	9	満 十 分 に 足 し て い る	無 回 答
全体		666	9.3	15.0	22.1	8.4	11.6	5.9
別 学も子 年のど	小学5年生	353	8.5	16.1	24.4	9.6	11.0	4.2
	中学2年生	313	10.2	13.7	19.5	7.0	12.1	7.7
等 価 可 別 処 分	小学5年生 中央値以上	176	6.8	14.8	31.8	14.8	13.6	3.4
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	11.5	19.8	19.1	4.6	7.6	4.6
	中央値の2分の1未満	33	9.1	15.2	▼ 12.1	6.1	6.1	6.1
	中学2年生 中央値以上	147	8.8	11.6	25.2	8.8	20.4	6.8
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	12.2	15.3	16.0	6.1	5.3	8.4
	中央値の2分の1未満	28	10.7	14.3	▼ 7.1	-	-	7.1
状 況 別 保 護 者 の	小学5年生 ふたり親	336	8.3	16.7	25.0	10.1	11.3	4.2
	ひとり親	16	12.5	6.3	12.5	-	6.3	6.3
	中学2年生 ふたり親	290	11.0	13.8	19.7	7.2	13.1	7.9
	ひとり親	23	-	13.0	17.4	4.3	-	4.3

問27 この1か月の間、次のような気持ちになることはありましたか。

- 【全体】
- 「まったくない」は絶望的だと感じたで 68.3%、自分は価値のない人間だと感じたで 67.1%となっています。
 - 「いつも」は神経過敏に感じた、何をするのも面倒だと感じたで 2.9%となっています。

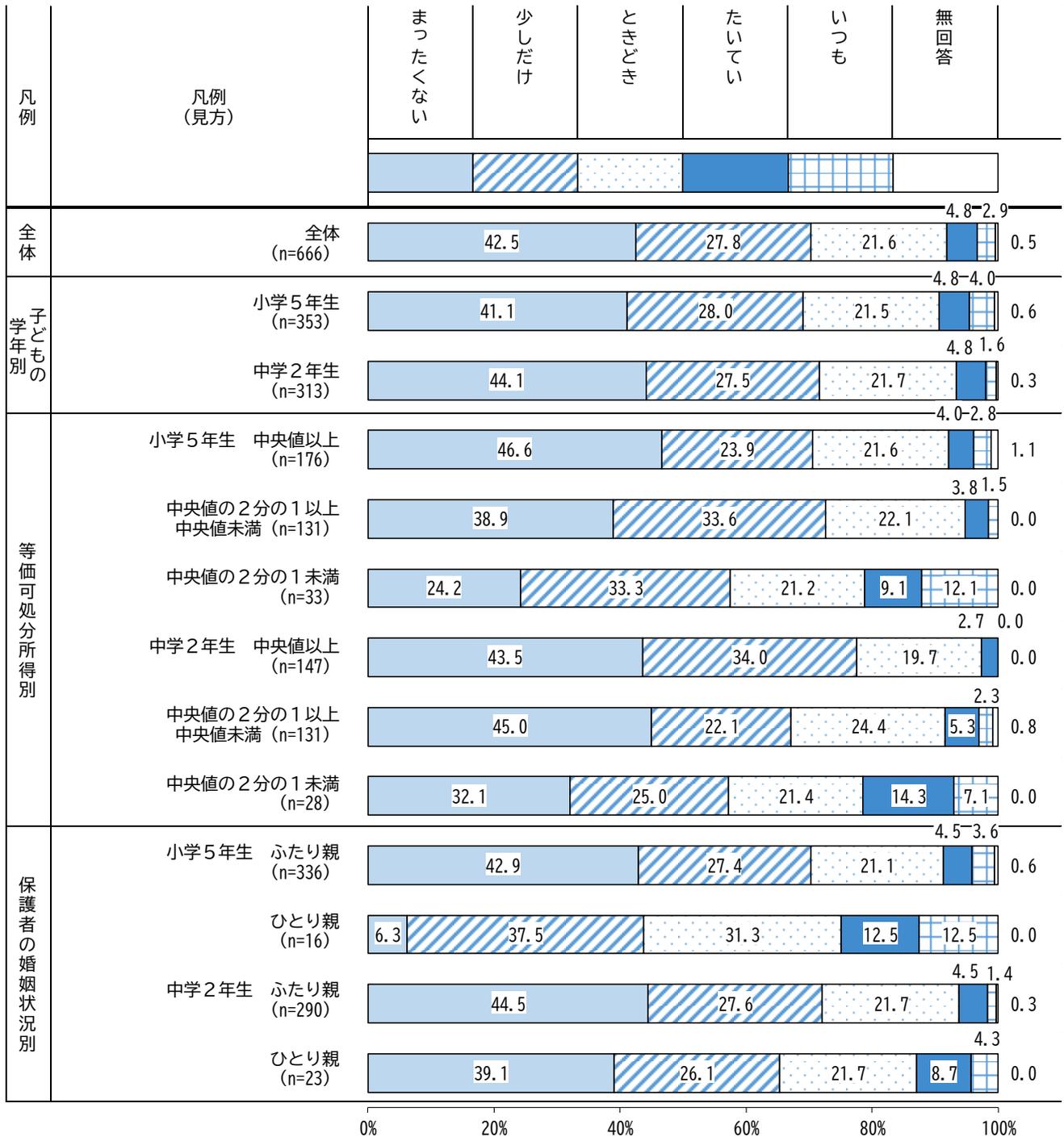
【次のように感じたこと】



問27 (1) 神経過敏に感じた

- 【全体】
 ○ 神経過敏に感じたことの有無について、「まったくない」が42.5%で最も多く、次いで「少しだけ」が27.8%、「ときどき」が21.6%となっています。
- 【子どもの学年別】
 ○ 「まったくない」は中学2年生が44.1%と小学5年生の41.1%よりやや多くなっています。
- 【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は他の区分に比べて「まったくない」が少なく、「たいてい」「いつも」が多くなっています。

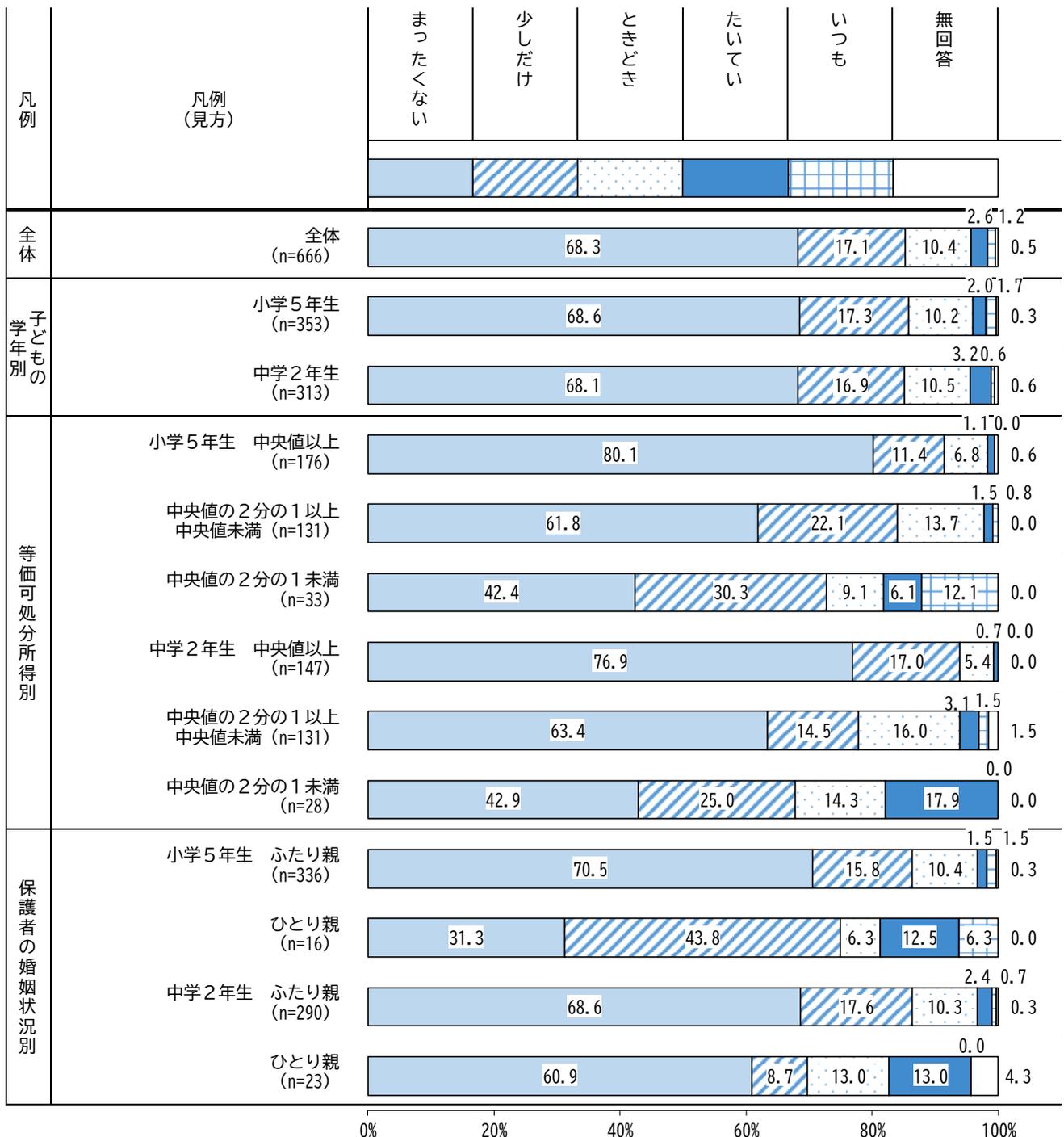
【神経過敏に感じたことの有無】



問27 (2) 絶望的だと感じた

- 【全体】
- 絶望的だと感じたことの有無について、「まったくない」が68.3%で最も多く、次いで「少しだけ」が17.1%、「ときどき」が10.4%となっています。
- 【子どもの学年別】
- 大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】
- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「まったくない」が少なくなる傾向がみられます。
 - 「いつも」は中学5年生 中央値の2分の1未満が12.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【絶望的だと感じたことの有無】



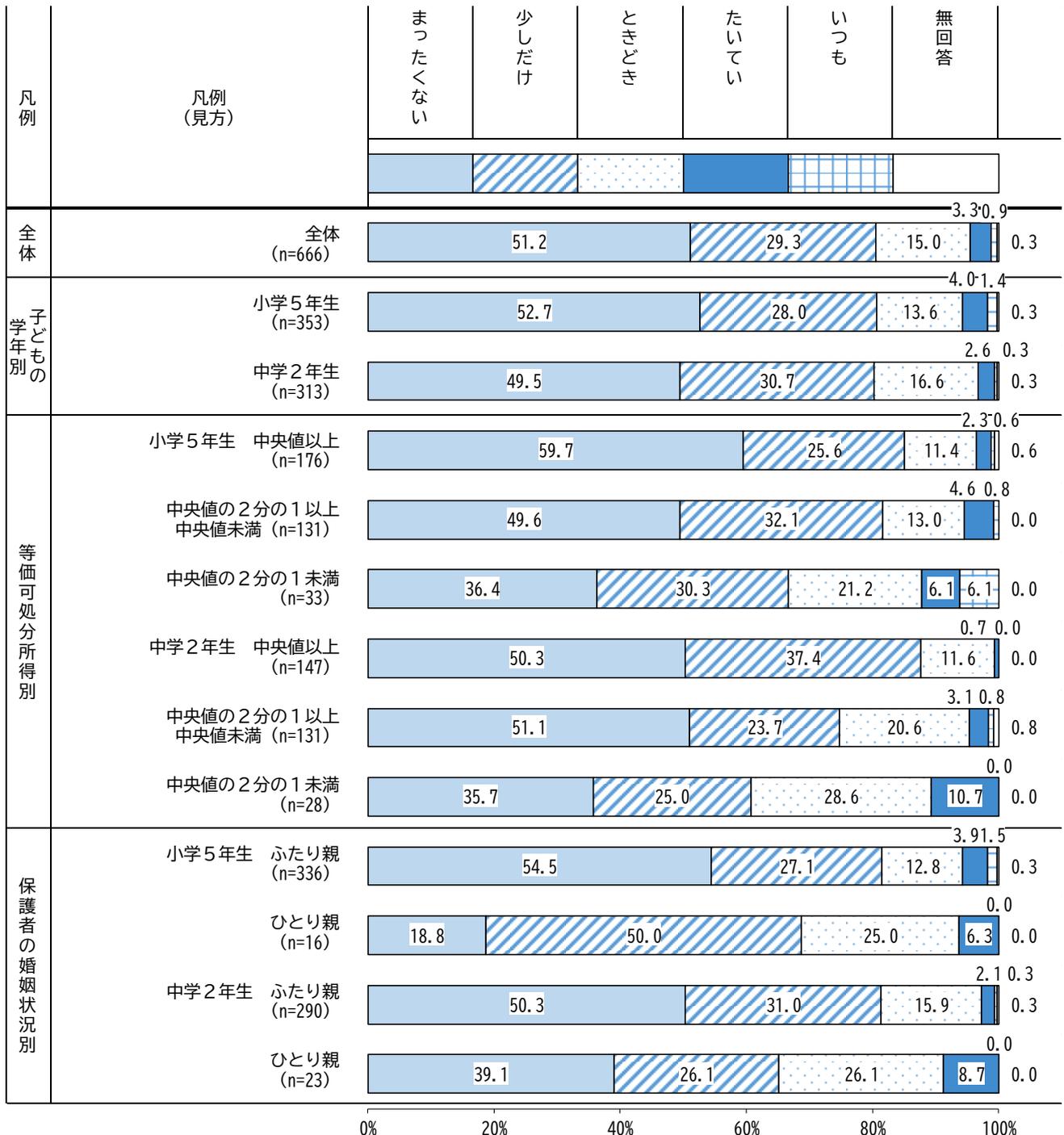
問27 (3) そわそわ、落ち着かなく感じた

【全体】
 ○ そわそわ、落ち着かなく感じたことの有無について、「まったくない」が51.2%で最も多く、次いで「少しだけ」が29.3%、「ときどき」が15.0%となっています。

【子どもの学年別】
 ○ 「まったくない」は小学5年生が52.7%と中学2年生の49.5%よりやや多くなっています。

【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「まったくない」が少なく、「たいてい」が多くなっています。
 ○ 「いつも」は小学5年生 中央値の2分の1未満が6.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【そわそわ、落ち着かなく感じたことの有無】



問27 (4) 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた

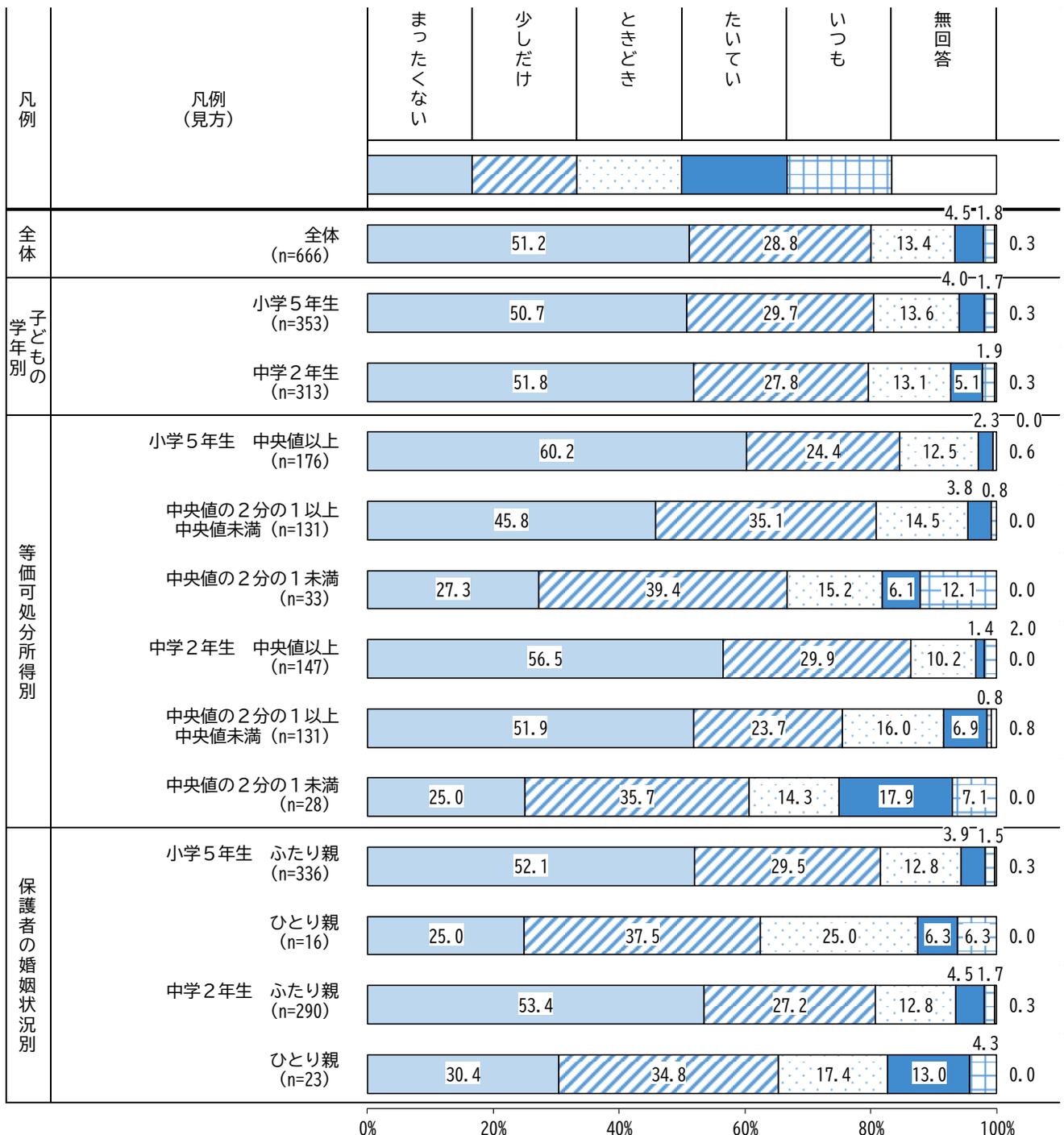
【全体】
 ○ 何が起ころても気が晴れないように感じたことの有無について、「まったくない」が51.2%で最も多く、次いで「少しだけ」が28.8%、「ときどき」が13.4%となっています。

【子どもの学年別】
 ○ 大きな差はみられません。

【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「まったくない」が少なく、「たいてい」が多くなる傾向がみられます。

○ 「いつも」は小学5年生 中央値の2分の1未満が12.1%、中学2年生 中央値の2分の1未満が7.1%と多くなっています。

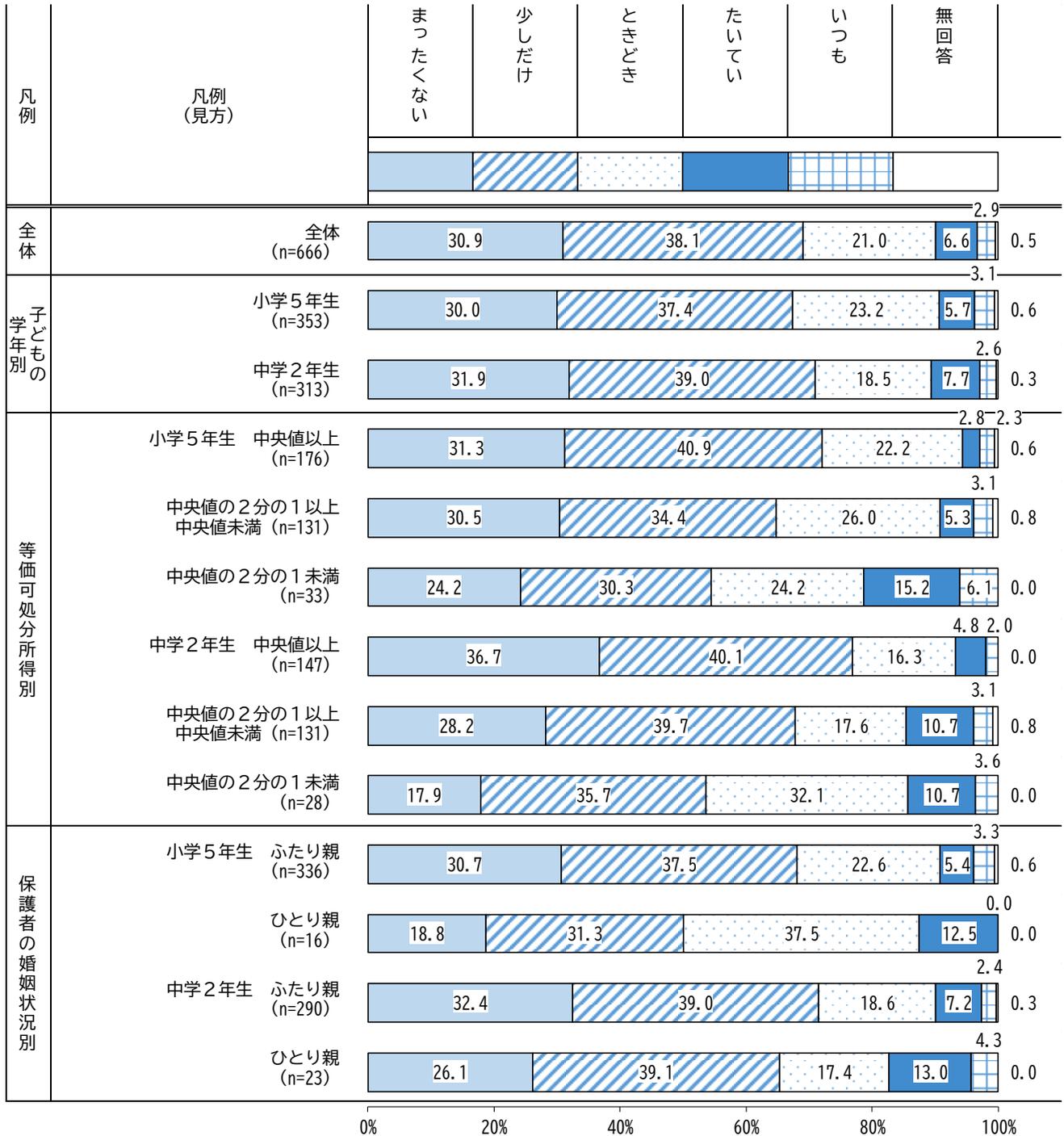
【何が起ころても気が晴れないように感じたことの有無】



問27 (5) 何をするのも面倒だと感じた

- 【全体】
 ○ 何をするのも面倒だと感じたことの有無について、「少しだけ」が38.1%で最も多く、次いで「まったくない」が30.9%、「ときどき」が21.0%となっています。
- 【子どもの学年別】
 ○ 大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「まったくない」が少なくなっています。
 ○ 「たいてい」は小学5年生 中央値の2分の1未満で15.2%と多くなっています。

【何をするのも面倒だと感じたことの有無】



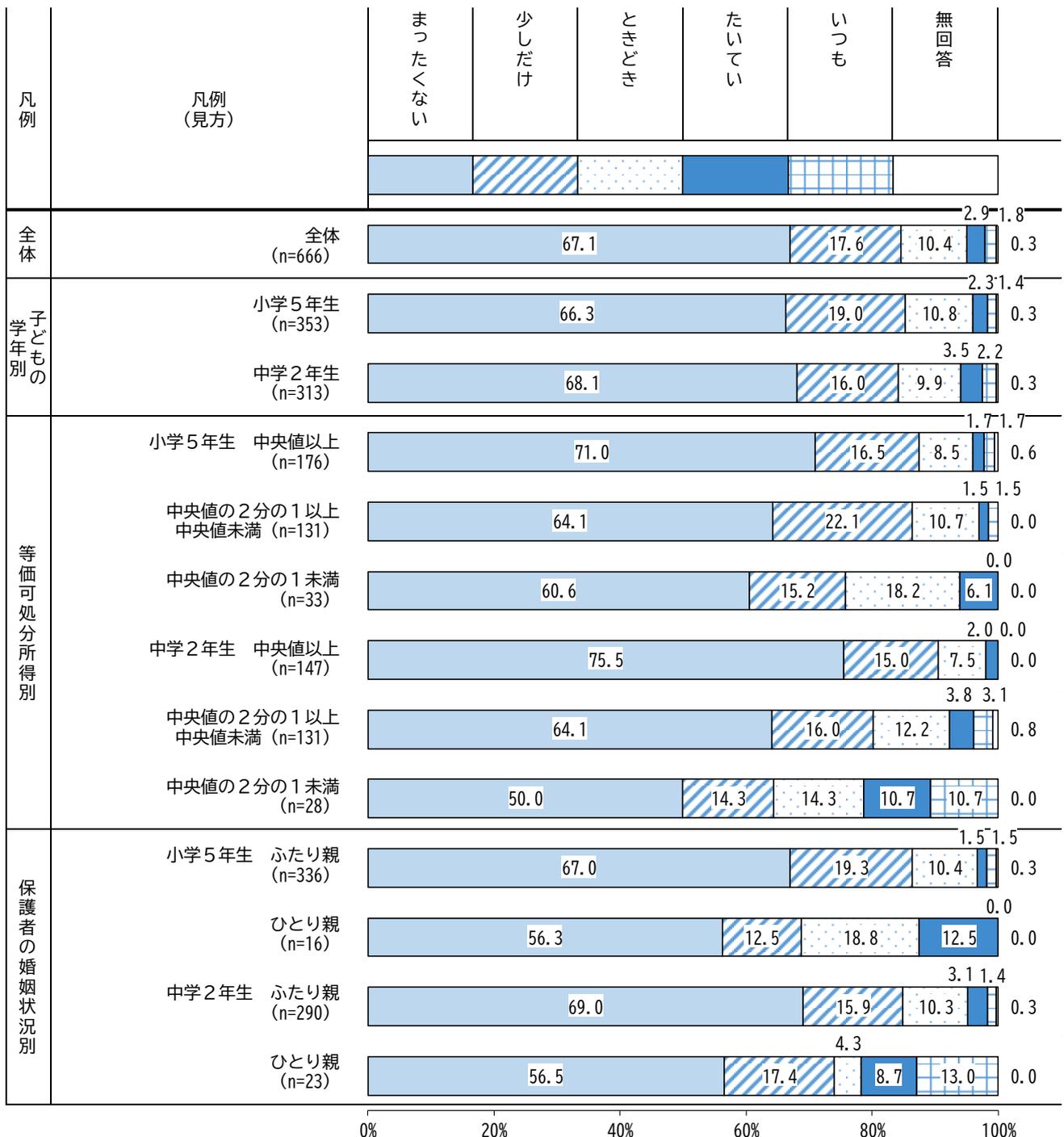
問27 (6) 自分は価値のない人間だと感じた

【全体】
 ○ 価値のない人間だと感じたことの有無について、「まったくない」が67.1%で最も多く、次いで「少しだけ」が17.6%、「ときどき」が10.4%となっています。

【子どもの学年別】
 ○ 「まったくない」は中学2年生が68.1%と小学5年生の66.3%よりやや多くなっています。

【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「まったくない」が少なくなる傾向がみられます。
 ○ 中学2年生 中央値の2分の1未満は「たいてい」が10.7%、「いつも」が10.7%と他の区分に比べて多くなっています。

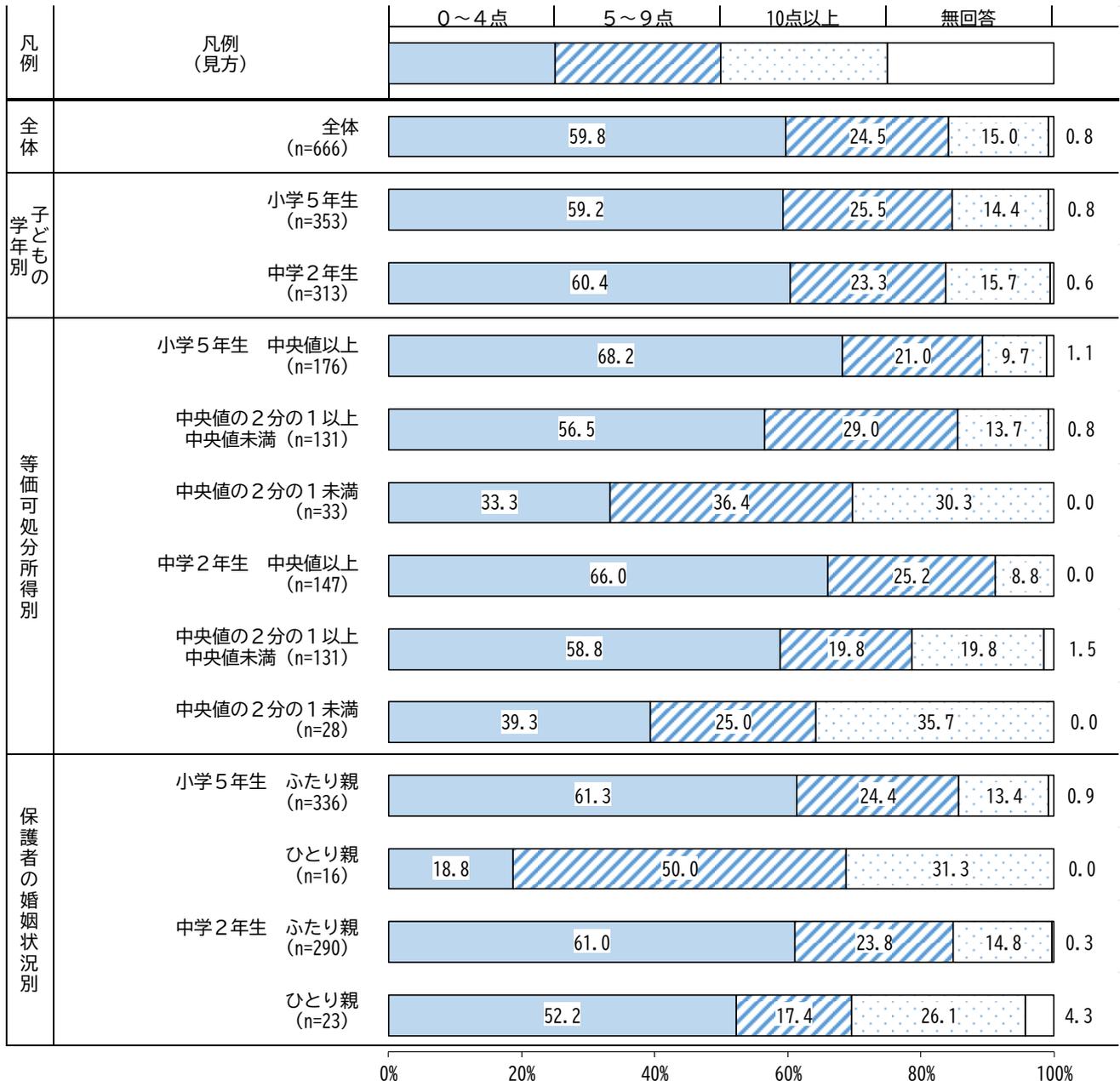
【価値のない人間だと感じたことの有無】



問27 K6指標

- 【全体】
- K6得点について、「0～4点」が59.8%で最も多く、次いで「5～9点」が24.5%、「10点以上」が15.0%となっています。
- 【子どもの学年別】
- 大きな差はみられません。
- 【等価可処分所得別】
- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「0～4点」が少なく、「10点以上」が多くなる傾向がみられます。
 - 「10点以上」は中学2年生 中央値の2分の1未満が35.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【K6指標】



※K6指標とは、うつ病や不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的とし、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されています。

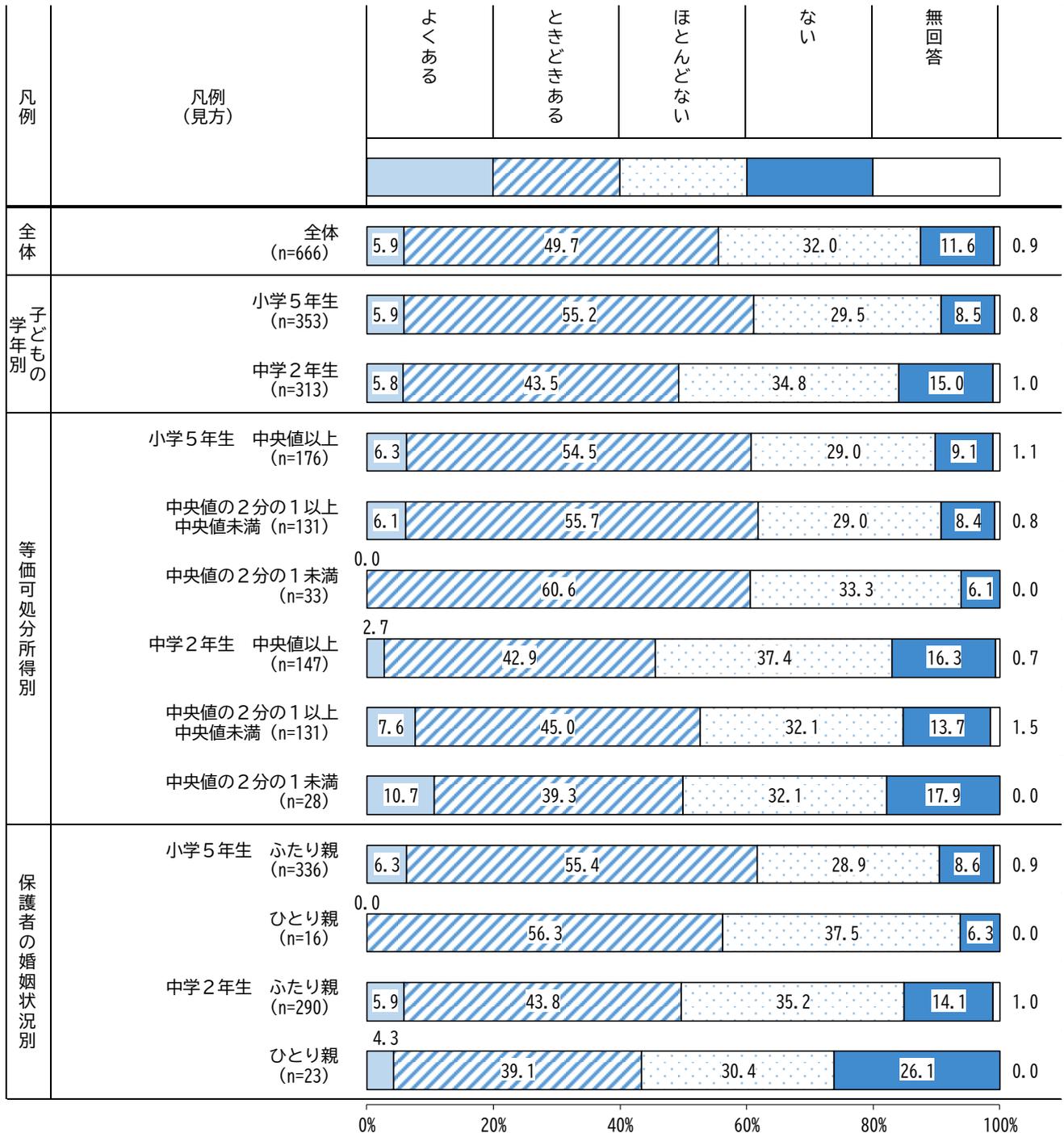
<各項目の合計点による判定>

- 「0～4点」：こころの健康について大きな問題はない
- 「5～9点」：こころにストレスがたまっている
- 「10点以上」：こころが疲労している

問28 不安やイライラなどの感情をお子さんに向けてしまうことがありますか。(ひとつだけ○)

- 【全体】
 ○ 不安やイライラの感情を子どもに向けてしまうことについて、「よくある」「ときどきある」をあわせた“ある人”は 55.6%となっており、「ほとんどない」「ない」をあわせた“ない人”は 43.6%となっています。
- 【子どもの学年別】
 ○ “ある人”は小学5年生が 61.1%と中学2年生の 49.3%より多くなっています。
- 【等価可処分所得別】
 ○ 中学2年生は等価可処分所得が低いほど「よくある」が多くなる傾向がみられます。

【不安やイライラの感情を子どもに向けてしまうこと】

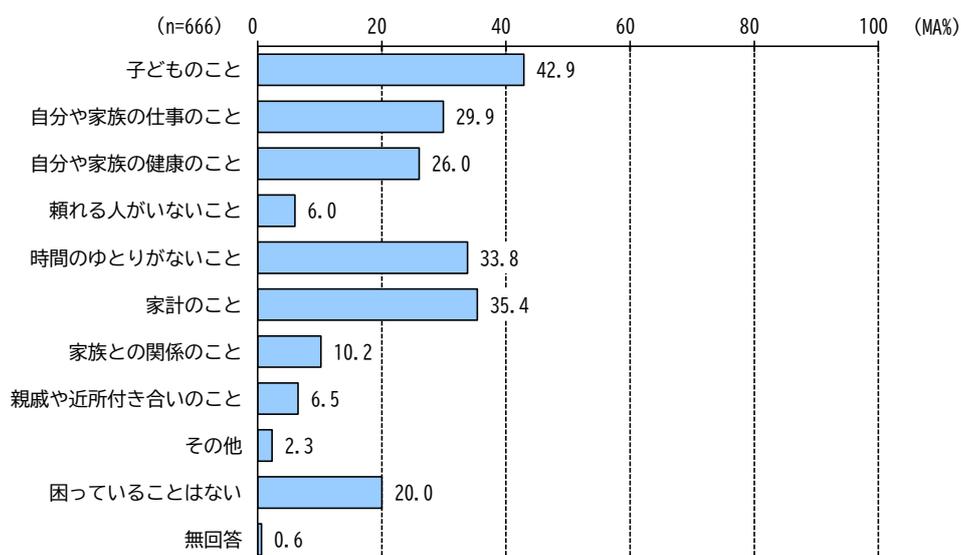


(7) 困り事と頼れる人について

問29 あなたが日常的に困っていることは何ですか。(いくつでも○)

- 【全体】**
- 日常的な困り事について、「子どものこと」が42.9%で最も多く、次いで「家計のこと」が35.4%、「時間のゆとりがないこと」が33.8%となっています。
- 【子どもの学年別】**
- 小学5年生、中学2年生ともに「子どものこと」が最も多く、次いで小学5年生は「時間のゆとりがないこと」、中学2年生は「家計のこと」となっています。
- 【等価可処分所得別】**
- 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「家計のこと」が多く、特に中学2年生 中央値の2分の1未満は71.4%となっています。
 - 中学2年生 中央値の2分の1未満は「頼れる人がいないこと」が17.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【日常的な困り事】



単位：％

	母数 (n)	日常的な困り事						
		子どものこと	自分や家族の 仕事のこと	自分や家族の 健康のこと	頼れない人が いないこと	時間のゆとりが ないこと	家計のこと	
全体	666	42.9	29.9	26.0	6.0	33.8	35.4	
別 学も子 年のど	小学5年生	353	44.2	31.7	24.4	5.7	36.5	32.3
	中学2年生	313	41.5	27.8	27.8	6.4	30.7	39.0
等 価 可 別 処 分	小学5年生 中央値以上	176	39.2	28.4	20.5	4.5	38.6	▼ 15.9
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	50.4	34.4	26.0	5.3	31.3	△ 46.6
	中央値の2分の1未満	33	45.5	△ 42.4	△ 39.4	9.1	△ 45.5	△ 57.6
	中学2年生 中央値以上	147	35.4	21.8	24.5	3.4	30.6	26.5
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	45.0	35.9	29.0	7.6	29.0	△ 46.6
	中央値の2分の1未満	28	△ 53.6	25.0	△ 39.3	△ 17.9	42.9	△ 71.4
状 況 別 保 護 者 の	小学5年生 ふたり親	336	42.9	30.4	22.3	5.1	35.7	30.4
	ひとり親	16	△ 75.0	△ 62.5	△ 68.8	△ 18.8	△ 56.3	△ 68.8
	中学2年生 ふたり親	290	41.0	29.0	27.6	5.9	30.0	37.9
	ひとり親	23	47.8	▼ 13.0	30.4	13.0	39.1	△ 52.2

単位：％

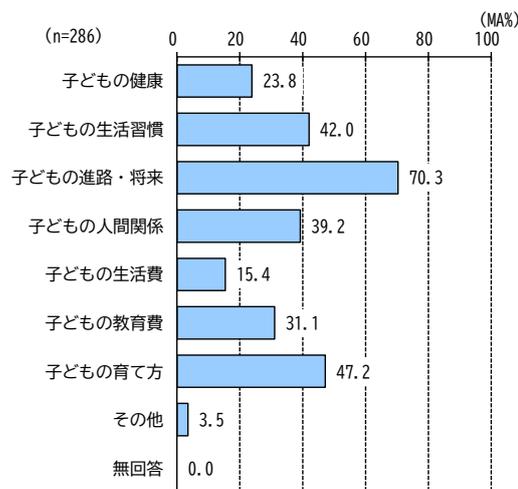
	母数 (n)	日常的な困り事					
		関 係 の こ と	近 親 所 戚 や 付 き 合 い の こ と	そ の 他	困 つ て い る こ と は	無 回 答	
全体	666	10.2	6.5	2.3	20.0	0.6	
別 学も子 年のど	小学5年生	353	7.9	6.8	1.7	21.0	0.6
	中学2年生	313	12.8	6.1	2.9	18.8	0.6
等 価 可 別 処 分	小学5年生 中央値以上	176	5.1	5.1	1.7	26.1	0.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	8.4	8.4	-	16.0	-
	中央値の2分の1未満	33	12.1	9.1	6.1	15.2	-
	中学2年生 中央値以上	147	15.0	2.7	1.4	26.5	-
	中央値の2分の1以上中央値未満	131	11.5	8.4	4.6	13.7	1.5
	中央値の2分の1未満	28	3.6	10.7	-	▼ 3.6	-
状 況 別 保 護 者 の	小学5年生 ふたり親	336	7.7	6.3	1.5	21.7	0.6
	ひとり親	16	12.5	△ 18.8	6.3	▼ 6.3	-
	中学2年生 ふたり親	290	12.8	6.2	3.1	19.3	0.7
	ひとり親	23	13.0	4.3	-	13.0	-

問29-1 問29で「1. 子どものこと」と答えた方にお聞きします。

あなたが子どものことで困っていることは何ですか。(いくつでも○)

- 【全体】
- 子どものことでの困り事について、「子どもの進路・将来」が70.3%で最も多く、次いで「子どもの育て方」が47.2%、「子どもの生活習慣」が42.0%となっています。
- 【子どもの学年別】
- 小学5年生は中学2年生より「子どもの人間関係」「子どもの育て方」などで多くなっています。
 - 中学2年生は小学5年生より「子どもの進路・将来」「子どもの生活費」「子どもの教育費」で多くなっています。
- 【等価可処分所得別】
- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「子どもの生活費」が多くなる傾向がみられます。

【子どものことでの困り事】



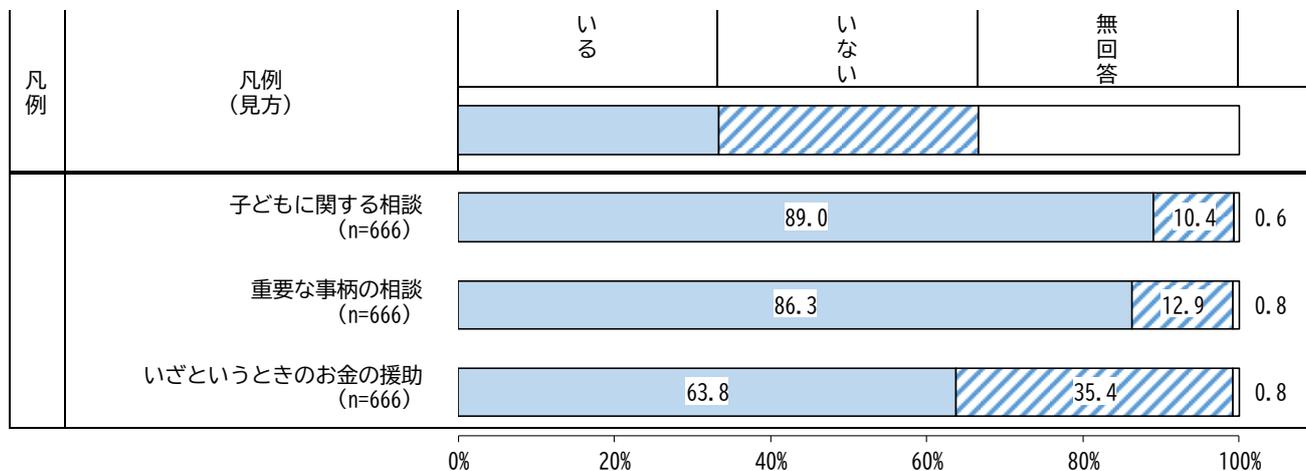
単位：%

別	学年のど	母数 (n)	子どもの事での困り事							
			健子 康ど もの	生 活ど も 慣の	進 路ど も 将 来	人 間ど 関も 係の	生 活ど も 費の	教 育ど も 費の	育 子ど も 方 の	そ の 他
	全体	286	23.8	42.0	70.3	39.2	15.4	31.1	47.2	3.5
学も子 年のど	小学5年生	156	25.0	42.3	62.8	43.6	12.8	30.1	53.8	3.8
	中学2年生	130	22.3	41.5	79.2	33.8	18.5	32.3	39.2	3.1
等 価 可 処 分 所得 別	小学5年生 中央値以上	69	18.8	40.6	60.9	43.5	▼ 4.3	▼ 18.8	53.6	4.3
	中央値の2分の1以上中央値未満	66	24.2	40.9	60.6	39.4	10.6	31.8	50.0	3.0
	中央値の2分の1未満	15	△ 40.0	△ 53.3	73.3	△ 66.7	△ 53.3	△ 66.7	△ 73.3	6.7
	中学2年生 中央値以上	52	21.2	42.3	76.9	▼ 28.8	11.5	▼ 19.2	42.3	1.9
	中央値の2分の1以上中央値未満	59	25.4	42.4	△ 88.1	37.3	23.7	40.7	▼ 35.6	1.7
中央値の2分の1未満	15	20.0	40.0	66.7	33.3	△ 26.7	40.0	40.0	6.7	
保 護 者 の 状 況 別	小学5年生 ふたり親	144	23.6	42.4	61.8	41.0	7.6	27.1	52.1	3.5
	ひとり親	12	△ 41.7	41.7	75.0	△ 75.0	△ 75.0	△ 66.7	△ 75.0	8.3
	中学2年生 ふたり親	119	23.5	41.2	78.2	36.1	18.5	31.1	38.7	3.4
	ひとり親	11	▼ 9.1	45.5	△ 90.9	▼ 9.1	18.2	△ 45.5	45.5	-

問30 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

【全体】
 ○ 「いる」は子どもに関する相談が 89.0%、重要な事柄の相談が 86.3%と多くなっている一方、いざというときのお金の援助は 63.8%と少なくなっています。

【頼れる人の有無】



問30-1 問30で1つでも「1. いる」と答えた方にお聞きします。
 それはだれですか。

【全体】
 ○ すべての設問で「家族・親戚」が最も多く、次いで「友人・知人」となっています。

【頼れる人】

単位：%

	母数 (n)	頼れる人							無回答
		家族・親せき	友人・知人	近所の人	職場の人	児童委員・民生委員	福祉の相談・支援機関	その他	
子どもに関する相談	593	90.6	53.0	9.4	18.5	0.8	5.6	2.7	1.3
重要な事柄の相談	575	94.4	30.6	1.9	4.5	-	1.9	0.5	1.9
いざというときのお金の援助	425	99.1	3.1	0.5	0.5	-	0.5	0.9	0.2

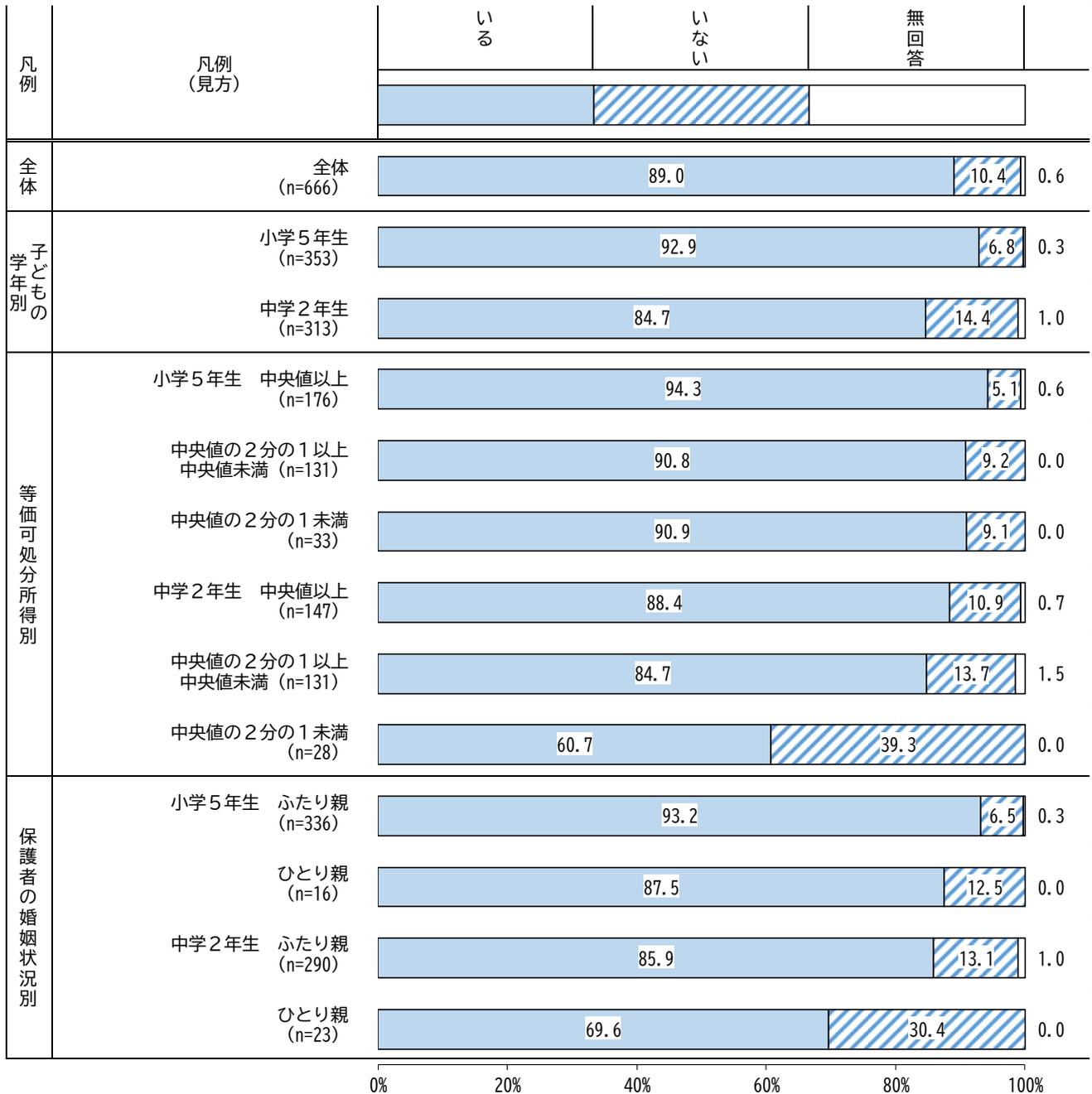
問30 (1) 子どもに関する相談

【全体】
 ○ 子どもに関する相談で頼れる人について、「いる」が 89.0%、「いない」が 10.4%となっています。

【子どもの学年別】
 ○ 「いる」は中学2年生が 84.7%と小学5年生の 92.9%より少なくなっています。

【等価可処分所得別】
 ○ 中学2年生は等価可処分所得が低いほど「いる」が少なく、中学2年生 中央値の2分の1未満は 60.7%となっています。

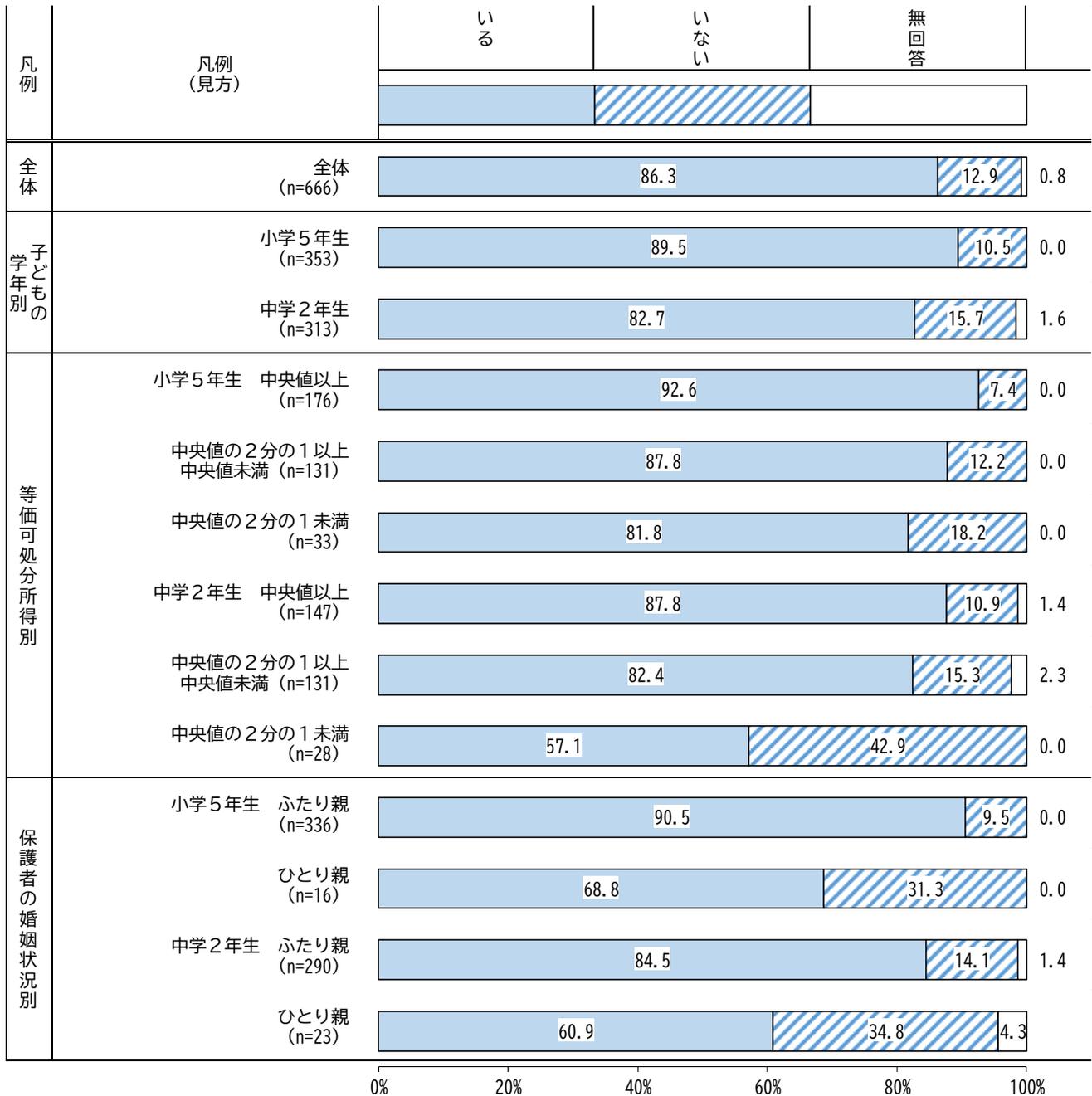
【子どもに関する相談で頼れる人】



問30 (2) 重要な事柄の相談

【全体】
 ○ 重要な事柄の相談で頼れる人について、「いる」が86.3%、「いない」が12.9%となっています。
 【子どもの学年別】
 ○ 「いる」は中学2年生が82.7%と小学5年生の89.5%より少なくなっています。
 【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「いる」が少なく、中学2年生中央値の2分の1未満は57.1%となっています。

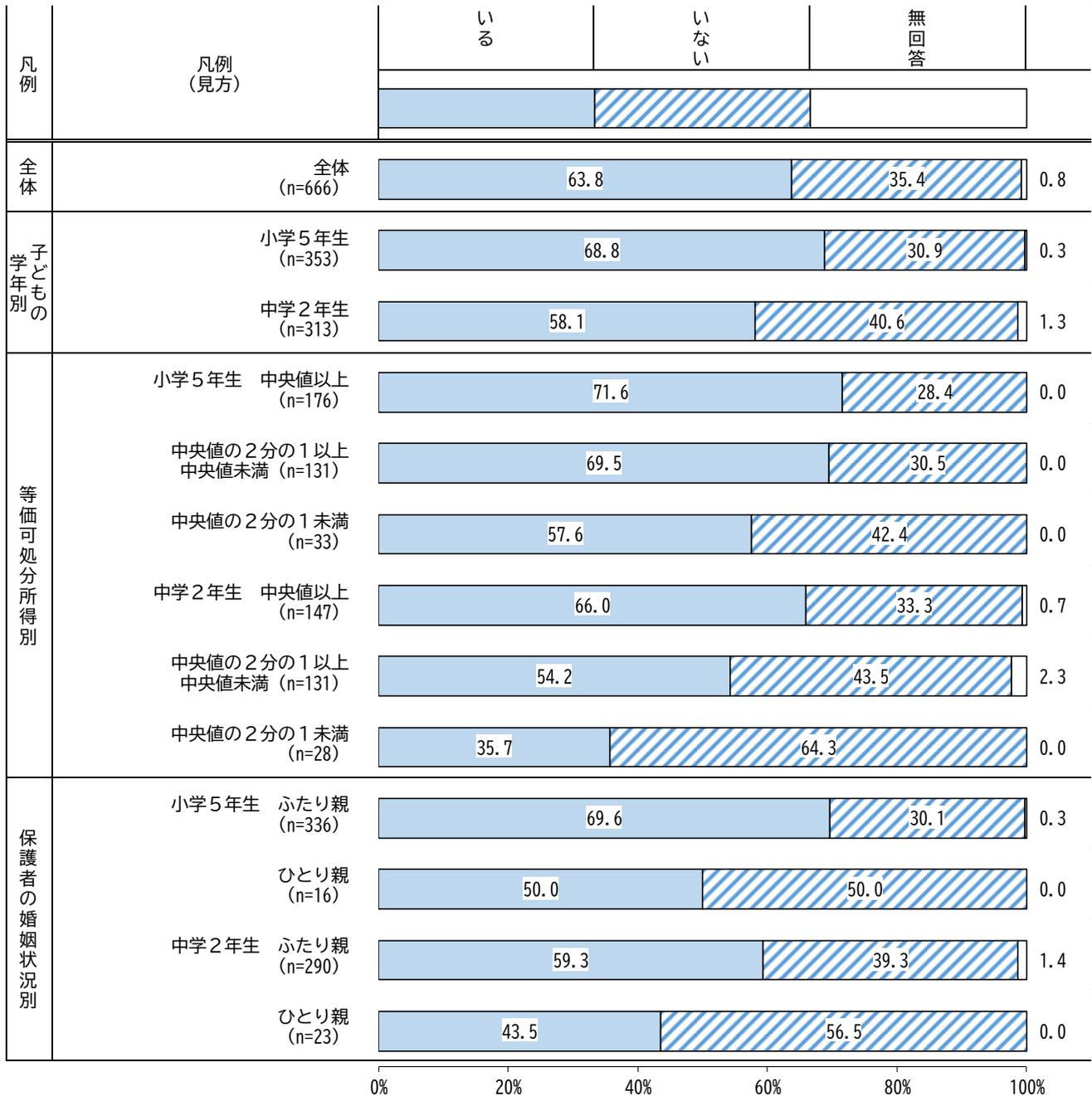
【重要な事柄の相談で頼れる人】



問30 (3) いざというときのお金の援助

【全体】
 ○ いざというときのお金の援助で頼れる人について、「いる」が63.8%、「いない」が35.4%となっています。
 【子どもの学年別】
 ○ 「いる」は中学2年生が58.1%と小学5年生の68.8%より少なくなっています。
 【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「いる」が少なく、中学2年生中央値の2分の1未満は35.7%となっています。

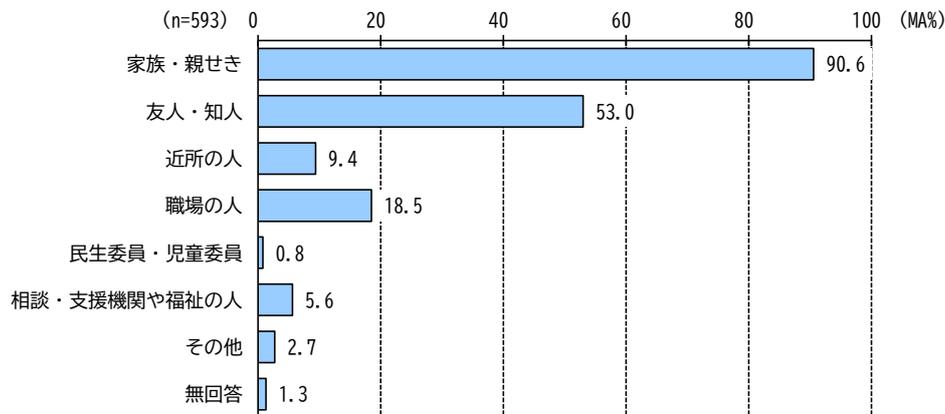
【いざというときのお金の援助で頼れる人】



問30-1 (1) 子どもに関する相談【頼れる人】

- 【全体】
- 子どもに関する相談で頼れる人について、「家族・親せき」が 90.6%で最も多く、次いで「友人・知人」が 53.0%、「職場の人」が 18.5%となっています。
- 【子どもの学年別】
- 小学5年生は中学2年生より「近所の人」「相談・支援機関や福祉の人」などが多くなっています。
 - 中学2年生は小学5年生より「家族・親戚」「職場の人」などで多くなっています。
- 【等価可処分所得別】
- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど「家族・親戚」「友人・知人」が少なくなる傾向がみられます。
 - 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「職場の人」が少なく「相談・支援機関や福祉の人」が多くなっています。

【子どもに関する相談で頼れる人】



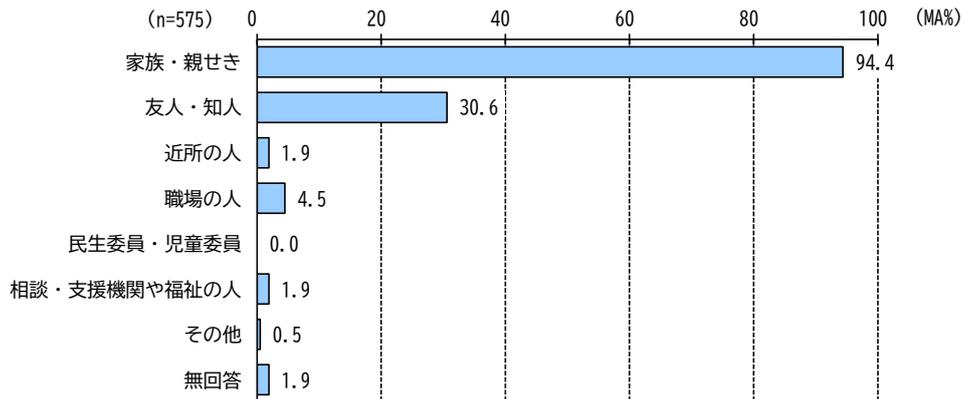
単位：%

別	子ども 年のど	母数 (n)	子どもに関する相談で頼れる人							
			家族・親せき	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
	全体	593	90.6	53.0	9.4	18.5	0.8	5.6	2.7	1.3
学も子 年のど	小学5年生	328	89.3	53.7	10.1	17.7	0.9	6.7	2.1	1.5
	中学2年生	265	92.1	52.1	8.7	19.6	0.8	4.2	3.4	1.1
	小学5年生	166	91.6	60.8	10.8	19.9	1.2	6.6	0.6	0.6
等 所 得 可 処 分	中央値の2分の1以上中央値未満	119	89.9	48.7	10.1	16.8	0.8	5.9	5.0	0.8
	中央値の2分の1未満	30	▼ 80.0	▼ 30.0	6.7	10.0	-	10.0	-	10.0
	中学2年生	130	94.6	53.1	8.5	19.2	-	4.6	3.1	-
	中央値の2分の1以上中央値未満	111	90.1	49.5	10.8	19.8	1.8	3.6	3.6	2.7
	中央値の2分の1未満	17	88.2	47.1	-	11.8	-	5.9	5.9	-
	小学5年生	313	90.1	55.0	10.5	17.9	1.0	6.4	1.9	1.3
保 護 者 の 状 況 別	ふたり親	14	▼ 71.4	▼ 28.6	-	14.3	-	14.3	7.1	7.1
	ひとり親	249	92.4	52.6	9.2	19.7	0.8	4.0	3.6	0.8
	ふたり親	16	87.5	43.8	-	18.8	-	6.3	-	6.3
	ひとり親	16	87.5	43.8	-	18.8	-	6.3	-	6.3

問30-1 (2) 重要な事柄の相談【頼れる人】

- 【全体】
 ○ 重要な事柄の相談で頼れる人について、「家族・親せき」が94.4%で最も多く、次いで「友人・知人」が30.6%、「職場の人」が4.5%となっています。
- 【子どもの学年別】
 ○ 「友人・知人」は中学2年生が32.8%と小学5年生の28.8%よりやや多くなっています。
- 【等価可処分所得別】
 ○ 小学5年生、中学2年生ともに中央値の2分の1未満は「家族・親戚」「友人・知人」が少なくなっています。

【重要な事柄の相談で頼れる人】



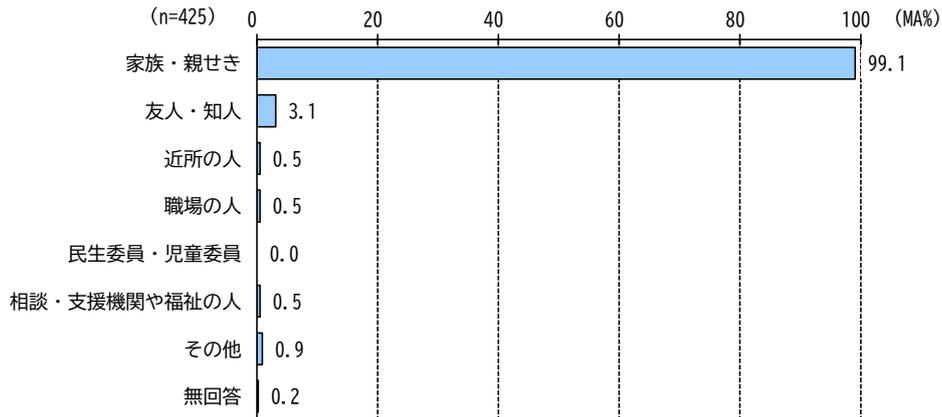
単位：%

別	学年	母数 (n)	重要な事柄の相談で頼れる人							
			家族・親せき	友人・知人	近所の人	職場の人	児童委員・民生委員	福祉の相談・支援機関や	その他	無回答
	全体	575	94.4	30.6	1.9	4.5	-	1.9	0.5	1.9
学も子	小学5年生	316	95.6	28.8	1.9	4.7	-	1.9	0.3	1.3
	中学2年生	259	93.1	32.8	1.9	4.2	-	1.9	0.8	2.7
等価可処分所得別	小学5年生 中央値以上	163	96.9	31.9	1.8	7.4	-	1.8	-	0.6
	中央値の2分の1以上中央値未満	115	97.4	26.1	2.6	2.6	-	1.7	0.9	-
	中央値の2分の1未満	27	▼ 81.5	▼ 18.5	-	-	-	-	-	11.1
	中学2年生 中央値以上	129	93.0	31.8	2.3	3.9	-	1.6	0.8	3.1
状況別 保護者の婚姻	小学5年生 中央値の2分の1以上中央値未満	108	94.4	32.4	1.9	3.7	-	2.8	-	2.8
	中央値の2分の1未満	16	87.5	31.3	-	12.5	-	-	6.3	-
	小学5年生 ふたり親	304	96.1	28.9	2.0	4.9	-	2.0	0.3	1.0
	ひとり親	11	▼ 81.8	27.3	-	-	-	-	-	9.1
状況別 保護者の婚姻	中学2年生 ふたり親	245	93.9	32.2	2.0	3.7	-	2.0	0.8	2.0
	ひとり親	14	▼ 78.6	△ 42.9	-	14.3	-	-	-	14.3

問30-1 (3) いざというときのお金の援助【頼れる人】

- 【全体】
- いざというときのお金の援助で頼れる人について、「家族・親せき」が99.1%で最も多く、次いで「友人・知人」が3.1%、「その他」が0.9%となっています。
- 【子どもの学年別】
- 小学5年生は中学2年生より「家族・親戚」「友人・知人」がやや多くなっています。
- 【等価可処分所得別】
- 小学5年生、中学2年生ともに中央値以上は「相談・支援機関や福祉の人」の回答がみられます。

【いざというときのお金の援助で頼れる人】



単位：%

	母数 (n)	いざというときのお金の援助で頼れる人							
		家族・親せき	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全体	425	99.1	3.1	0.5	0.5	-	0.5	0.9	0.2
学年別	小学5年生	243	99.6	3.7	0.8	0.4	-	0.4	0.4
	中学2年生	182	98.4	2.2	-	0.5	-	0.5	1.6
等価可処分所得別	小学5年生 中央値以上	126	99.2	3.2	0.8	-	-	0.8	-
	中央値の2分の1以上中央値未満	91	100.0	5.5	1.1	1.1	-	-	1.1
	中央値の2分の1未満	19	100.0	-	-	-	-	-	-
	中学2年生 中央値以上	97	99.0	1.0	-	-	-	1.0	1.0
	中央値の2分の1以上中央値未満	71	100.0	4.2	-	1.4	-	-	-
	中央値の2分の1未満	10	▼ 80.0	-	-	-	-	-	△ 20.0
保護者の状況別	小学5年生 ふたり親	234	99.6	3.8	0.9	0.4	-	0.4	-
	ひとり親	8	100.0	-	-	-	-	-	△ 12.5
	中学2年生 ふたり親	172	98.8	1.2	-	0.6	-	0.6	1.2
	ひとり親	10	90.0	△ 20.0	-	-	-	-	10.0